

蕨の未来を見据えた新計画策定のための
市民意識調査結果報告書

平成25年3月

蕨市

《目次》

I. 市民意識調査

■調査の概要

1. 目的	1
2. 調査方法	1
3. 調査項目	1
4. 回収結果	1

■調査の結果

1. 蕨市のイメージ	2
問1 蕨市のイメージ	2
2. 蕨市の将来像	5
問2 蕨市の将来像	5
3. まちへの愛着	8
問3 まちへの愛着	8
問4 まちへの愛着を感じている理由	10
4. 永住意識	13
問5 永住意識	13
問6 住みたいと思う理由	15
問7 住みたいと思わない理由	21
5. 重点施策	27
問8・9 重点施策（重要度・満足度）	27
6. これからのまちづくり課題	37
(1) 子育てについて	37
問10 子育てのしやすさ	37
問11 子育てしやすいまちづくりのために大切なこと	40
(2) 高齢期に大切なことについて	43
問12 高齢期に大切なこと	43
問13 高齢期を生き生きと過ごすために大切な環境	46
(3) 運動・スポーツについて	49
問14 運動・スポーツの種類	49
問15 運動・スポーツの頻度	52
(4) 防災について	55
問16 災害に対する備え	55
(5) まちのにぎわいについて	58
問17 商店街・大型店の利用頻度	58
(6) 市民参画・協働について	63

問 18 地域等での活動（現在の状況、今後の意向）	63
問 19 地域等での活動の参加促進に必要な環境	68
問 20 まちづくりへの参加意向	71
7. 中心市街地	73
問 21 中心市街地のイメージ	73
（1）蕨市の「中心市街地」について	75
問 22 蕨市の中心市街地の区域で期待すること	75
問 23 蕨市の中心市街地の商業に期待すること	78
8. 公共施設のあり方	80
問 24 公共施設の整備のあり方	80
9. 公共交通	82
問 25 公共交通機関を利用しやすくするために大切なこと	82
10. 情報	84
問 26 市に関する情報入手の方法	84
11. 属性	86
12. 自由意見（蕨市の未来のまちづくりへの提言）	93

II. 高校生意識調査

■調査の概要

1. 目的	95
2. 調査方法	95
3. 調査項目	95
4. 回収結果	95

■調査の結果

1. あなた自身のこと	96
性別・学年・居住地	96
2. 蕨ってどんなところ？	97
問 1 蕨市のイメージ	97
問 2 蕨市の良いところ・悪いところ	99
問 3 市の特徴で知っているもの	101
3. あなたにとっての蕨とは？	102
問 4 まちへの愛着	102
4. 自由意見（蕨の未来にひとこと）	102
問 5 自由意見	102

本冊子をご覧いただくうえでの注意事項

- 図表中の（ $n = *$ ）の数值は、集計母数を表しています。
- 回答の比率（％）は、その設問の回答者数を母数として算出しています。そのため、複数回答の場合、選択肢ごとの割合を合計すると100％を超えることがあります。
- 回答の比率（％）は、小数点以下第2位を四捨五入しています。そのため、属性ごとの回答比率の合計が、100％にならないことがあります。
- <属性別>の図表中の上段は実数、下段は比率（％）を表しています。

I. 市民意識調査

■調査の概要

1. 目的

この調査は、平成 26 年度よりスタートする蕨市の行政運営に係る長期計画（仮称）「コンパクトシティ蕨」将来ビジョンの策定にあたり、市民の市政に対する意見や活動の実態等を把握するために実施しました。

2. 調査方法

- (1) 調査期間 平成 24 年 7 月～8 月
- (2) 調査対象 市内在住の満 20 歳以上の男女
- (3) 対象者数 3,000 人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から各地区の年齢層別の人口比率に基づき、男女別は無作為抽出
- (5) 調査方法 行政連絡員による送付、郵便による回答

3. 調査項目

- (1) 蕨市のイメージ
- (2) 蕨市の将来像
- (3) まちへの愛着
- (4) 永住意識
- (5) 重点施策（重要度、満足度）
- (6) これからのまちづくり課題（子育てについて、高齢期に大切なことについて、運動・スポーツについて、防災について、まちのにぎわいについて、市民参画・協働について）
- (7) 中心市街地（蕨市の「中心市街地」について）
- (8) 公共施設のあり方
- (9) 公共交通
- (10) 情報
- (11) 自由意見（蕨市の未来のまちづくりへの提言）

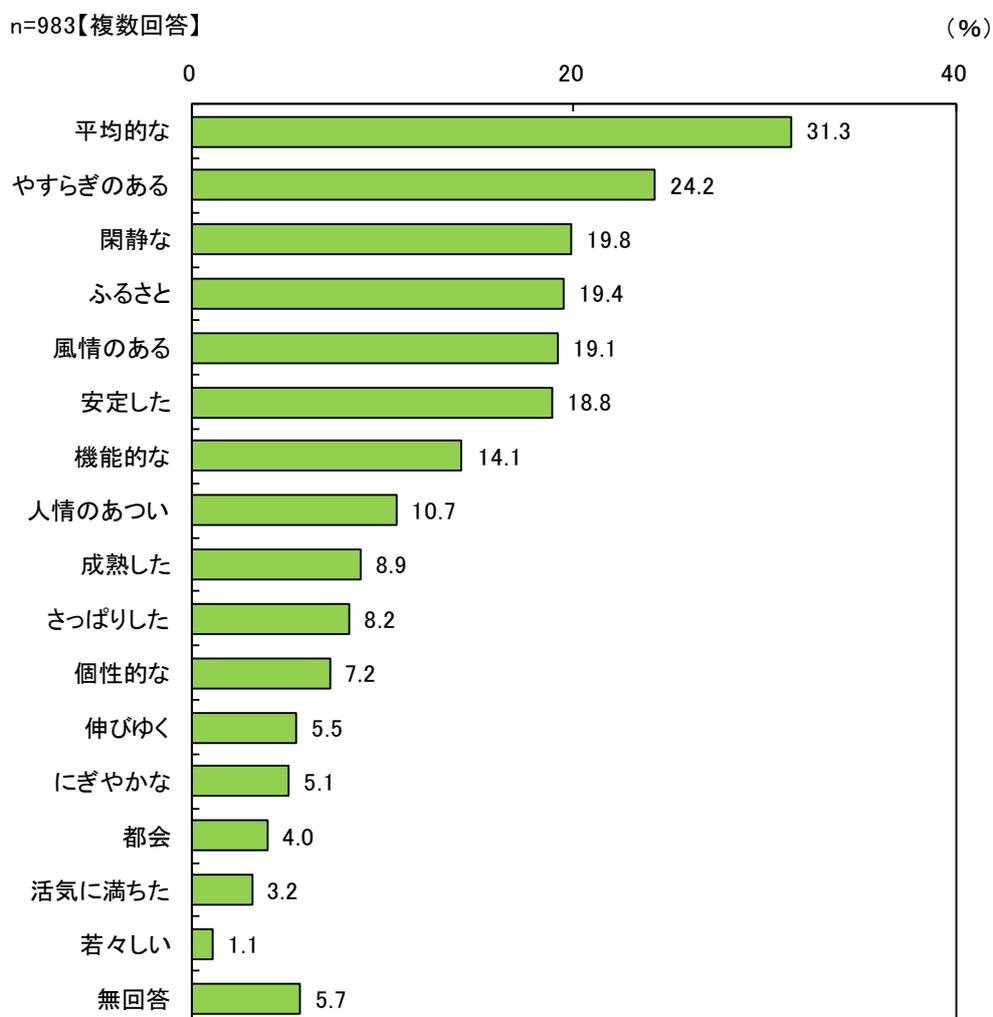
4. 回収結果

- (1) 配布数 3,000 票
- (2) 回収数 984 票
- (3) 回収率 32.8%
- (4) 有効回答数 983 票（白票 1 票）

■調査の結果

1. 蕨市のイメージ

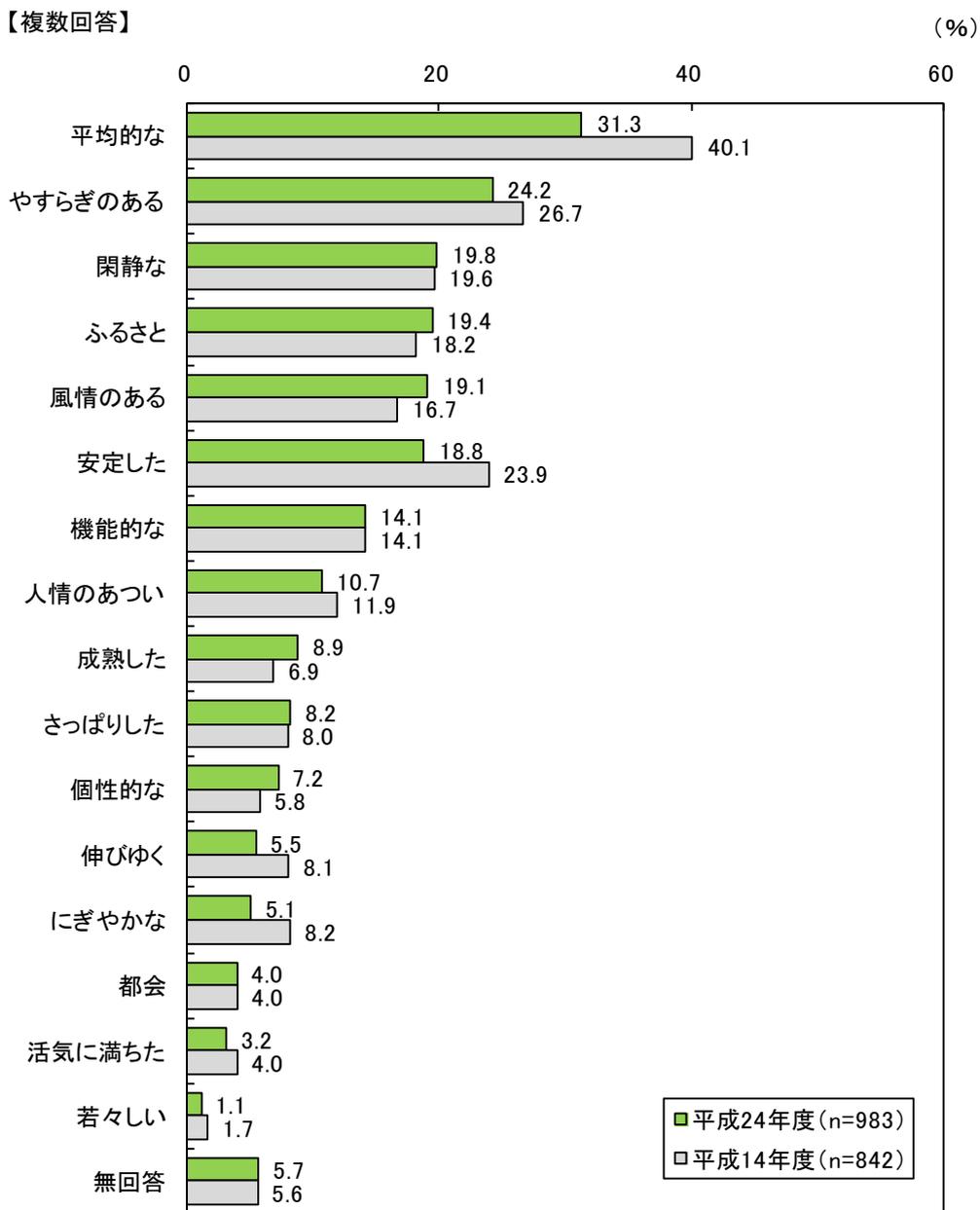
問1 あなたは、蕨市に対してどのようなイメージを持っていますか。（○印は3つ以内）



蕨市に対するイメージとしては、「平均的な」が 31.3%と最も多く、次いで「やすらぎのある」が 24.2%となっています。このほか、「閑静な」（19.8%）、「ふるさと」（19.4%）、「風情のある」（19.1%）、「安定した」（18.8%）が 20%程度となっています。

全般的に、“個性的、活気、都会、にぎやか”といった動的なイメージよりも、“平均的、やすらぎ、ふるさと、閑静”といった静的なイメージが強くなっています。

<経年比較>



平成 14 年度と比較すると、回答傾向に大きな違いはみられず、「平均的な」が最も多く、次いで「やすらぎのある」が多くなっています。しかし、平成 14 年度の上位 3 項目（平均的な・やすらぎのある・安定した）はいずれも回答割合が減少しており、特に「平均的な」は 8.8 ポイント、「安定した」は 5.1 ポイント減少しています。

<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

		全体	平均的な	やすらぎのある	閑静な	ふるさと	風情のある	安定した	機能的な	人情のあつい	成熟した	さっぱりした	個性的な	伸びゆく	にぎやかな	都会	活気に満ちた	若々しい	無回答
全体		983 100.0	308 31.3	238 24.2	195 19.8	191 19.4	188 19.1	185 18.8	139 14.1	105 10.7	87 8.9	81 8.2	71 7.2	54 5.5	50 5.1	39 4.0	31 3.2	11 1.1	56 5.7
性別	男	427 100.0	141 33.0	100 23.4	96 22.5	85 19.9	70 16.4	77 18.0	65 15.2	44 10.3	57 13.3	34 8.0	30 7.0	18 4.2	17 4.0	20 4.7	15 3.5	7 1.6	27 6.3
	女	538 100.0	163 30.3	136 25.3	97 18.0	103 19.1	117 21.7	103 19.1	71 13.2	59 11.0	29 5.4	42 7.8	40 7.4	34 6.3	32 5.9	19 3.5	15 2.8	4 0.7	27 5.0
年齢	20～29歳	101 100.0	24 23.8	25 24.8	16 15.8	25 24.8	16 15.8	13 12.9	13 12.9	8 7.9	8 7.9	13 12.9	11 10.9	2 2.0	7 6.9	2 2.0	3 3.0	2 2.0	2 2.0
	30～39歳	141 100.0	32 22.7	24 17.0	31 22.0	21 14.9	28 19.9	28 19.9	12 8.5	13 9.2	22 15.6	10 7.1	12 8.5	5 3.5	8 5.7	4 2.8	2 1.4	1 0.7	10 7.1
	40～49歳	164 100.0	50 30.5	39 23.8	35 21.3	34 20.7	44 26.8	28 17.1	16 9.8	17 10.4	14 8.5	7 4.3	6 3.7	11 6.7	11 6.7	10 6.1	6 3.7	1 0.6	9 5.5
	50～59歳	152 100.0	48 31.6	32 21.1	30 19.7	24 15.8	29 19.1	24 15.8	31 20.4	12 7.9	13 8.6	9 5.9	13 8.6	6 3.9	8 5.3	4 2.6	3 2.0	4 2.6	7 4.6
	60～69歳	181 100.0	72 39.8	44 24.3	35 19.3	36 19.9	29 16.0	31 17.1	31 17.1	12 6.6	17 9.4	15 8.3	16 8.8	9 5.0	8 4.4	9 5.0	8 4.4	-	11 6.1
	70歳以上	232 100.0	76 32.8	73 31.5	47 20.3	48 20.7	41 17.7	58 25.0	35 15.1	41 17.7	12 5.2	25 10.8	12 5.2	20 8.6	8 3.4	10 4.3	9 3.9	3 1.3	16 6.9
	地区	錦町	132 100.0	44 33.3	27 20.5	25 18.9	27 20.5	34 25.8	16 12.1	12 9.1	10 7.6	12 9.1	5 3.8	11 8.3	18 13.6	4 3.0	2 1.5	2 1.5	1 0.8
北町		170 100.0	49 28.8	36 21.2	28 16.5	36 21.2	48 28.2	33 19.4	26 15.3	25 14.7	20 11.8	16 9.4	10 5.9	8 4.7	10 5.9	7 4.1	5 2.9	2 1.2	6 3.5
中央		274 100.0	82 29.9	59 21.5	45 16.4	55 20.1	49 17.9	48 17.5	54 19.7	29 10.6	21 7.7	24 8.8	20 7.3	8 2.9	14 5.1	16 5.8	6 2.2	2 0.7	18 6.6
南町		172 100.0	58 33.7	57 33.1	42 24.4	31 18.0	23 13.4	40 23.3	16 9.3	15 8.7	19 11.0	13 7.6	7 4.1	5 2.9	5 2.9	6 3.5	6 3.5	2 1.2	12 7.0
塚越		222 100.0	71 32.0	58 26.1	54 24.3	39 17.6	33 14.9	45 20.3	30 13.5	24 10.8	14 6.3	20 9.0	22 9.9	14 6.3	17 7.7	7 3.2	12 5.4	4 1.8	7 3.2

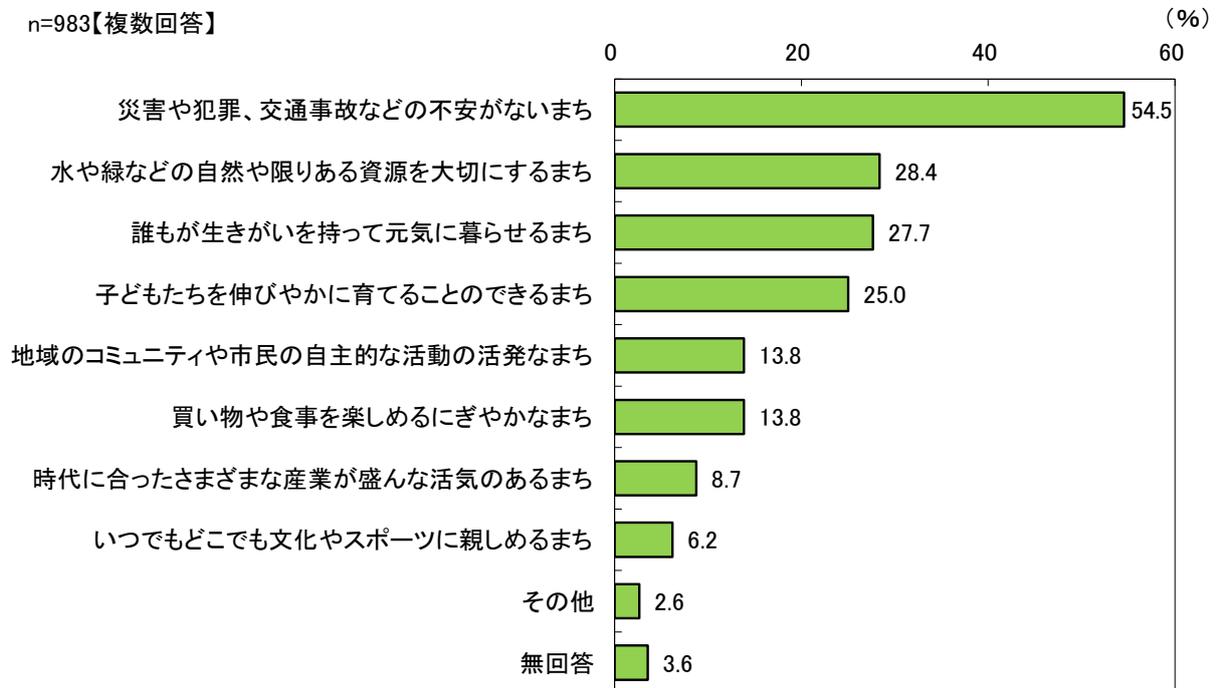
性別にみて、回答傾向に大きな違いはみられません。

年齢別にみると、20歳代では「やすらぎのある」と「ふるさと」が24.8%で、最も多くなっています。40歳代では「風情のある」、70歳以上では「やすらぎのある」と「安定した」がそれぞれ25%を超え、全体の回答割合を6ポイント以上上回り、他の年代に比べて多くなっています。

地区別にみて、回答傾向に大きな違いはみられませんが、南町地区と塚越地区では「やすらぎのある」、また、錦町地区と北町地区では「風情のある」がそれぞれ25%を超えており、他地区に比べて多くなっています。中央地区では、「機能的な」が19.7%で、全体の回答割合を5.6ポイント上回り、他の地区に比べて多くなっています。一方、錦町地区では「安定した」が12.1%で、全体の回答傾向を6.7ポイント下回り、他の地区より少ないという特徴があります。

2. 蕨市の将来像

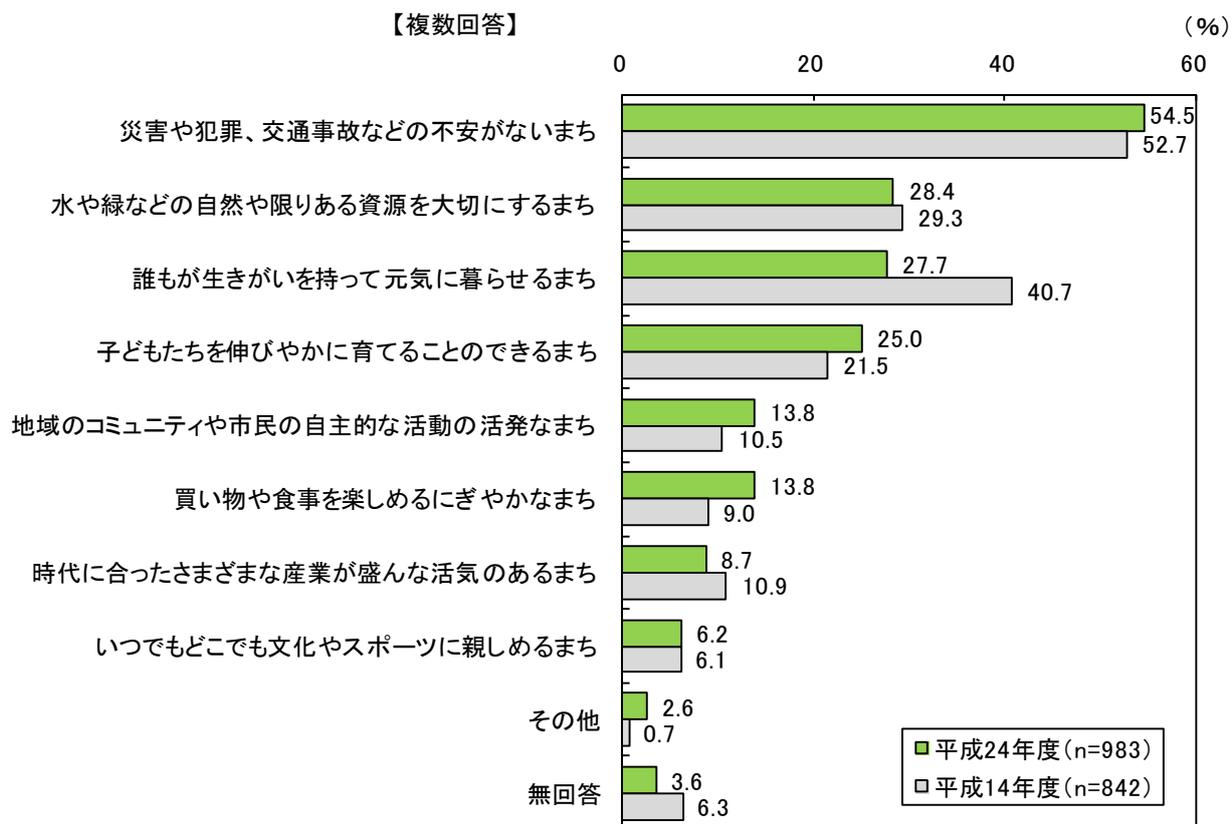
問2 あなたは、将来の蕨市がどのようなまちになってほしいと思いますか。
(○印は2つ以内)



蕨市の将来像としては、「災害や犯罪、交通事故などの不安がないまち」が54.5%と半数を超えて最も多くなっています。次いで、「水や緑などの自然や限りある資源を大切にすまち」(28.4%)、「誰もが生きがいを持って元気に暮らせるまち」(27.7%)、「子どもたちを伸びやかに育てることのできるまち」(25.0%)となっています。

全般的にみて、安全に暮らせるまち、自然があるまち、子どもから高齢者まで誰もが住みよいまちとなることが望まれています。

<経年比較>



平成 14 年度と比較すると、「災害や犯罪、交通事故などの不安がないまち」が半数を超えて最も多いことには変わりはありませんが、第 2 位であった「誰もが生きがいを持って元気に暮らせるまち」は 13 ポイント減少し、第 3 位となっています。

<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

		全体	災害や犯罪、交通事故などの不安がないまち	水や緑などの自然や限りある資源を大切にするまち	誰もが生きがいを持って元気に暮らせるまち	子どもたちを伸びやかに育てることのできるまち	地域のコミュニティや市民の自主的な活動の活発なまち	買い物や食事を楽しめるにぎやかなまち	時代に合ったさまざまな産業が盛んな活気のあるまち	いつでもどこでも文化やスポーツに親しめるまち	その他	無回答
全体		983 100.0	536 54.5	279 28.4	272 27.7	246 25.0	136 13.8	136 13.8	86 8.7	61 6.2	26 2.6	35 3.6
性別	男	427 100.0	218 51.1	113 26.5	119 27.9	107 25.1	72 16.9	60 14.1	34 8.0	34 8.0	15 3.5	14 3.3
	女	538 100.0	311 57.8	161 29.9	148 27.5	138 25.7	60 11.2	72 13.4	50 9.3	25 4.6	10 1.9	20 3.7
年齢	20～29歳	101 100.0	47 46.5	26 25.7	17 16.8	36 35.6	14 13.9	19 18.8	11 10.9	10 9.9	3 3.0	2 2.0
	30～39歳	141 100.0	75 53.2	32 22.7	15 10.6	79 56.0	9 6.4	22 15.6	12 8.5	9 6.4	2 1.4	4 2.8
	40～49歳	164 100.0	103 62.8	44 26.8	33 20.1	40 24.4	20 12.2	33 20.1	17 10.4	5 3.0	6 3.7	5 3.0
	50～59歳	152 100.0	89 58.6	42 27.6	43 28.3	28 18.4	22 14.5	19 12.5	18 11.8	10 6.6	8 5.3	2 1.3
	60～69歳	181 100.0	89 49.2	61 33.7	62 34.3	31 17.1	30 16.6	24 13.3	11 6.1	14 7.7	3 1.7	9 5.0
	70歳以上	232 100.0	127 54.7	71 30.6	99 42.7	32 13.8	38 16.4	17 7.3	16 6.9	11 4.7	2 0.9	13 5.6
地区	錦町	132 100.0	66 50.0	40 30.3	41 31.1	40 30.3	17 12.9	8 6.1	13 9.8	5 3.8	3 2.3	5 3.8
	北町	170 100.0	95 55.9	59 34.7	44 25.9	33 19.4	28 16.5	25 14.7	12 7.1	12 7.1	5 2.9	2 1.2
	中央	274 100.0	150 54.7	65 23.7	68 24.8	69 25.2	38 13.9	50 18.2	21 7.7	18 6.6	9 3.3	12 4.4
	南町	172 100.0	96 55.8	47 27.3	57 33.1	33 19.2	26 15.1	22 12.8	18 10.5	11 6.4	5 2.9	8 4.7
	塚越	222 100.0	122 55.0	65 29.3	59 26.6	70 31.5	24 10.8	29 13.1	21 9.5	13 5.9	2 0.9	8 3.6

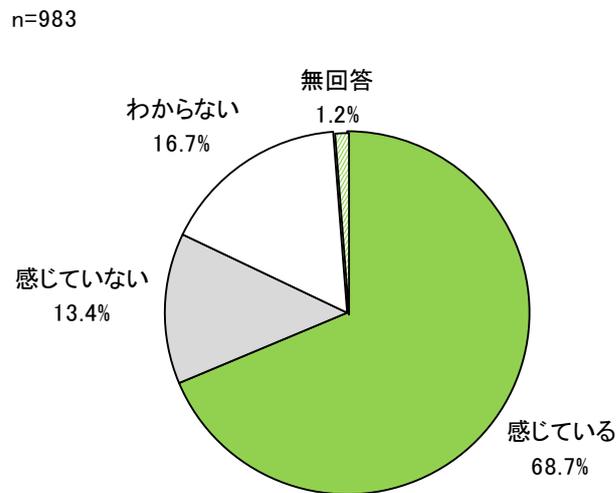
性別にみると、女性は「災害や犯罪、交通事故などの不安がないまち」が男性を6.7ポイント上回っており、一方、男性は「地域のコミュニティや市民の自主的な活動の活発なまち」が女性を5.7ポイント上回っています。

年齢別にみると、30歳代では、「子どもたちを伸びやかに育てることのできるまち」が56.0%で最も多く、全体の回答割合を31ポイント上回っており、他の年代と比べても多くなっています。また、40歳代では、「災害や犯罪、交通事故などの不安がないまち」が62.8%で、全体の回答割合を8.3ポイント上回り、60歳代および70歳以上は「誰もが生きがいを持って元気に暮らせるまち」が30%を超え、全体の回答割合を6ポイント以上上回っており、他の年代と比べて多くなっています。

地区別にみると、錦町地区と塚越地区では「子どもたちを伸びやかに育てることのできるまち」が30%を超え、全体の回答割合を5ポイント以上上回り、他の地区と比べて多くなっています。

3. まちへの愛着

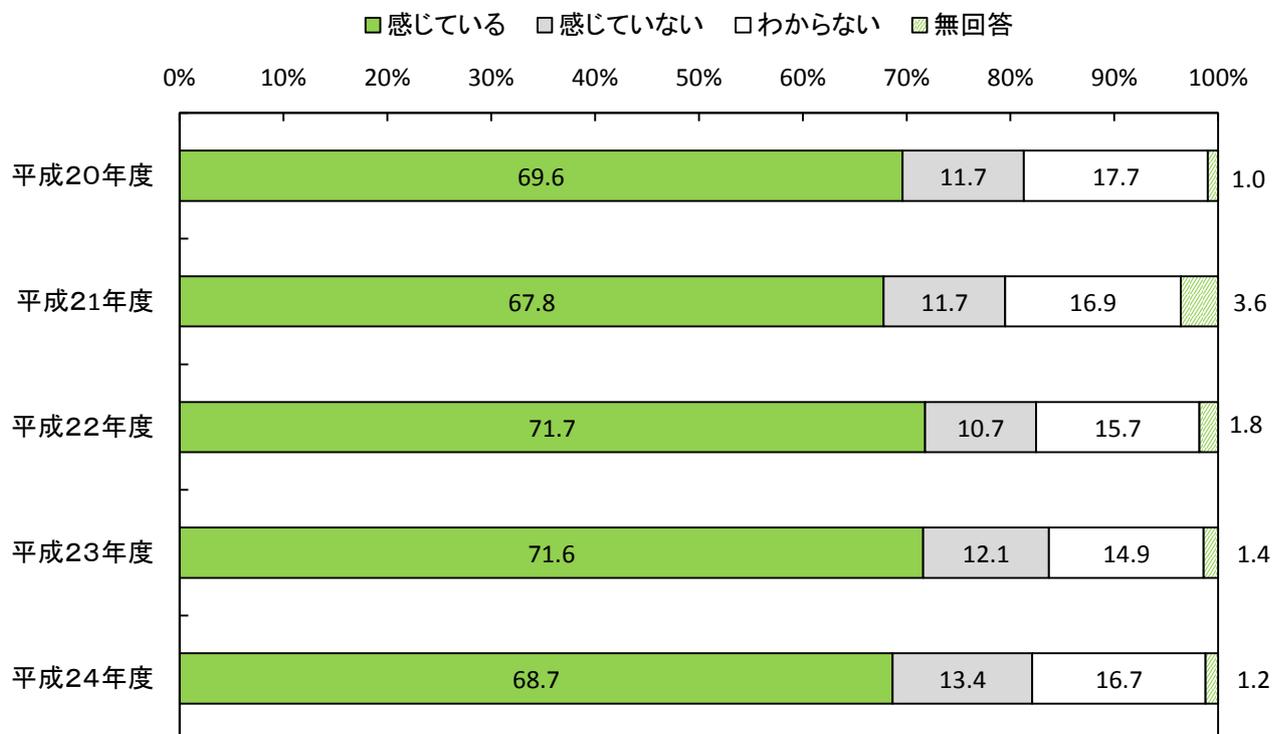
問3 あなたは、蕨市に「自分のまち」としての愛着を感じていますか。（○印は1つ）



蕨市への愛着については、「感じている」が68.7%で、約70%の市民が蕨市に愛着を感じています。一方、「感じていない」は13.4%、「わからない」は16.7%となっています。

<経年比較>

●まちへの愛着(平成20年度からの推移)



平成20年度からの推移をみると、蕨市に愛着を「感じている」割合は、70%前後で推移しています。

<属性別> ※網掛けは各属性での最上位を表す

		全体	感じている	感じていない	わからない	無回答
全体		983 100.0	675 68.7	132 13.4	164 16.7	12 1.2
性別	男	427 100.0	292 68.4	61 14.3	71 16.6	3 0.7
	女	538 100.0	374 69.5	69 12.8	88 16.4	7 1.3
年齢	20～29歳	101 100.0	52 51.5	18 17.8	31 30.7	- -
	30～39歳	141 100.0	80 56.7	26 18.4	34 24.1	1 0.7
	40～49歳	164 100.0	111 67.7	28 17.1	25 15.2	- -
	50～59歳	152 100.0	106 69.7	21 13.8	24 15.8	1 0.7
	60～69歳	181 100.0	135 74.6	24 13.3	22 12.2	- -
	70歳以上	232 100.0	184 79.3	12 5.2	26 11.2	10 4.3
地区	錦町	132 100.0	79 59.8	27 20.5	25 18.9	1 0.8
	北町	170 100.0	125 73.5	18 10.6	26 15.3	1 0.6
	中央	274 100.0	193 70.4	36 13.1	43 15.7	2 0.7
	南町	172 100.0	117 68.0	19 11.0	32 18.6	4 2.3
	塚越	222 100.0	154 69.4	29 13.1	36 16.2	3 1.4

性別にみて、回答傾向に大きな違いはみられません。

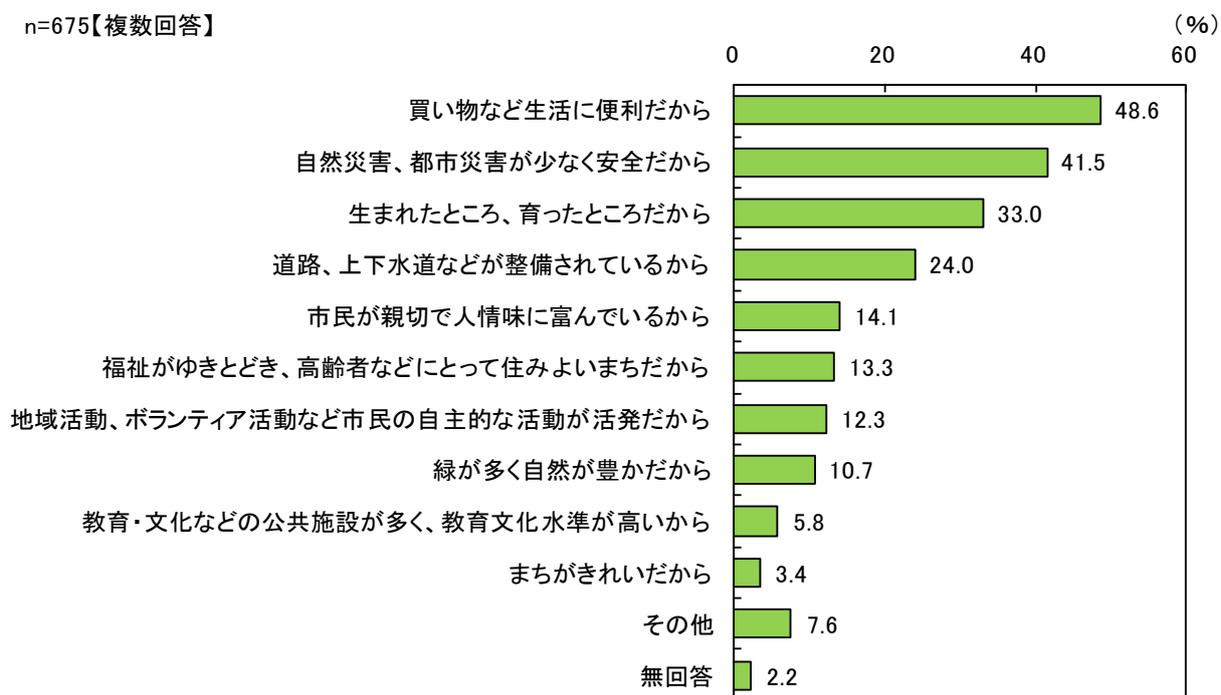
年齢別にみると、蕨市に愛着を「感じている」割合は、20～30歳代が50%台、40～50歳代が60%台、60～70歳代以上が70%台と、年齢が上がるほど多くなっています。

地区別にみると、錦町地区では、蕨市に愛着を「感じている」割合が59.8%で、半数を超えているものの、全体の回答割合を8.9ポイント下回っており、他の地区と比べて少なくなっています。これは比較的、居住年数が少ない市民が多い地区であることが影響していると考えられます。

問3で「1 感じている」と答えた方のみご回答ください。

問4 愛着を感じている理由は何ですか。（〇印は3つ以内）

n=675【複数回答】



蕨市に愛着を感じている理由としては、「買い物など生活に便利だから」が48.6%で最も多く、次いで「自然災害、都市災害が少なく安全だから」（41.5%）、「生まれたところ、育ったところだから」（33.0%）となっています。このほか、「道路、上下水道などが整備されているから」（24.0%）が続いています。

まちへの愛着の主な理由としては、生活の利便性と災害の少なさが挙げられています。

<経年比較>

●愛着を感じている理由上位5位(平成20年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成20年度	買い物など生活に便利だから 55.6%	生まれたところ、育ったところだから 34.3%	自然災害、都市災害が少なく安全だから 30.2%	道路、上下水道などが整備されているから 23.5%	市民が親切で人情味に富んでいるから 13.4%
平成21年度	買い物など生活に便利だから 60.9%	自然災害、都市災害が少なく安全だから 34.9%	生まれたところ、育ったところだから 31.4%	道路、上下水道などが整備されているから 27.6%	市民が親切で人情味に富んでいるから 12.3%
平成22年度	買い物など生活に便利だから 56.6%	自然災害、都市災害が少なく安全だから 33.2%	生まれたところ、育ったところだから 31.8%	道路、上下水道などが整備されているから 24.1%	市民が親切で人情味に富んでいるから 15.7%
平成23年度	買い物など生活に便利だから 59.6%	自然災害、都市災害が少なく安全だから 35.1%	生まれたところ、育ったところだから 30.8%	道路、上下水道などが整備されているから 20.9%	緑が多く自然が豊かだから 13.2%
平成24年度	買い物など生活に便利だから 48.6%	自然災害、都市災害が少なく安全だから 41.5%	生まれたところ、育ったところだから 33.0%	道路、上下水道などが整備されているから 24.0%	市民が親切で人情味に富んでいるから 14.1%

平成20年度からの推移をみると、第1位が「買い物など生活に便利だから」となっていることには変わりはありませんが、平成24年度調査では、第2位の「自然災害、都市災害が少なく安全だから」が41.5%で、過去の調査に比べて多くなっているのが特徴です。

<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

		全体	買い物など生活に便利だから	自然災害、都市災害が少なく安全だから	生まれたところ、育ったところだから	道路、上下水道などが整備されているから	市民が親切で人情味に富んでいるから	福祉がゆきとどき、高齢者などにとって住みよいまちだから	地域の自主的な活動が活発だから	緑が多く自然が豊かだから	教育・文化などの公共施設が多く、教育文化水準が高いから	まちがきれいだから	その他	無回答
全体		675 100.0	328 48.6	280 41.5	223 33.0	162 24.0	95 14.1	90 13.3	83 12.3	72 10.7	39 5.8	23 3.4	51 7.6	15 2.2
性別	男	292 100.0	124 42.5	116 39.7	111 38.0	81 27.7	46 15.8	35 12.0	39 13.4	30 10.3	21 7.2	14 4.8	19 6.5	1 0.3
	女	374 100.0	202 54.0	159 42.5	111 29.7	79 21.1	48 12.8	51 13.6	43 11.5	41 11.0	18 4.8	8 2.1	32 8.6	13 3.5
年齢	20～29歳	52 100.0	25 48.1	7 13.5	38 73.1	3 5.8	6 11.5	1 1.9	3 5.8	2 3.8	1 1.9	-	3 5.8	2 3.8
	30～39歳	80 100.0	37 46.3	18 22.5	39 48.8	4 5.0	10 12.5	3 3.8	8 10.0	6 7.5	4 5.0	4 5.0	10 12.5	2 2.5
	40～49歳	111 100.0	52 46.8	29 26.1	45 40.5	12 10.8	21 18.9	4 3.6	16 14.4	12 10.8	4 3.6	7 6.3	12 10.8	4 3.6
	50～59歳	106 100.0	46 43.4	36 34.0	31 29.2	25 23.6	18 17.0	12 11.3	13 12.3	15 14.2	9 8.5	4 3.8	10 9.4	3 2.8
	60～69歳	135 100.0	74 54.8	73 54.1	36 26.7	40 29.6	16 11.9	18 13.3	17 12.6	19 14.1	5 3.7	1 0.7	11 8.1	1 0.7
	70歳以上	184 100.0	92 50.0	113 61.4	33 17.9	77 41.8	23 12.5	49 26.6	25 13.6	17 9.2	16 8.7	6 3.3	5 2.7	3 1.6
地区	錦町	79 100.0	26 32.9	39 49.4	24 30.4	15 19.0	13 16.5	7 8.9	16 20.3	8 10.1	4 5.1	1 1.3	5 6.3	3 3.8
	北町	125 100.0	65 52.0	56 44.8	48 38.4	20 16.0	18 14.4	17 13.6	20 16.0	7 5.6	10 8.0	2 1.6	4 3.2	3 2.4
	中央	193 100.0	111 57.5	74 38.3	66 34.2	41 21.2	26 13.5	23 11.9	20 10.4	15 7.8	11 5.7	6 3.1	12 6.2	4 2.1
	南町	117 100.0	49 41.9	41 35.0	37 31.6	39 33.3	16 13.7	19 16.2	13 11.1	16 13.7	7 6.0	7 6.0	15 12.8	2 1.7
	塚越	154 100.0	75 48.7	66 42.9	47 30.5	46 29.9	21 13.6	21 13.6	13 8.4	25 16.2	7 4.5	6 3.9	15 9.7	3 1.9

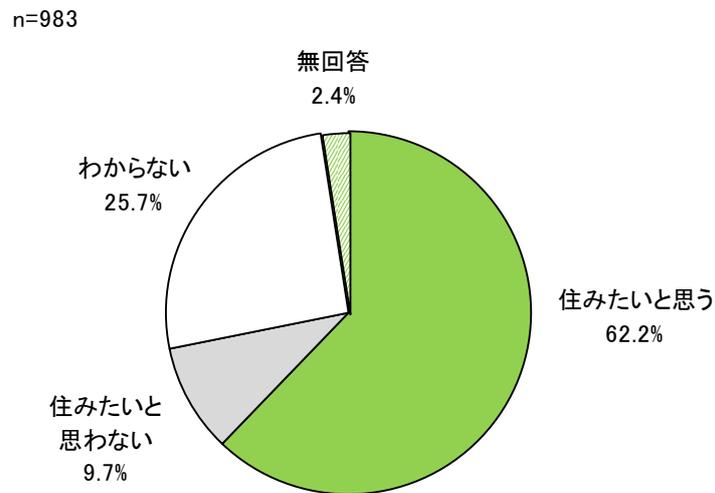
性別にみると、男性は「生まれたところ、育ったところだから」が女性より 8.3 ポイント多く、一方、女性は「買い物など生活に便利だから」が男性より 11.5 ポイント多くなっています。

年齢別にみると、20～30 歳代では「生まれたところ、育ったところだから」が最も多く、一方、年齢が上がるほど「自然災害、都市災害が少なく安全だから」「道路、上下水道などが整備されているから」「福祉がゆきとどき、高齢者などにとって住みよいまちだから」が多い傾向がみられます。

地区別にみると、錦町地区では「自然災害、都市災害が少なく安全だから」が最も多いという特徴があります。また、中央地区では「買い物など生活に便利だから」が 57.5%で、全体の回答割合を 8.9 ポイント上回り、他の地区に比べて多くなっています。

4. 永住意識

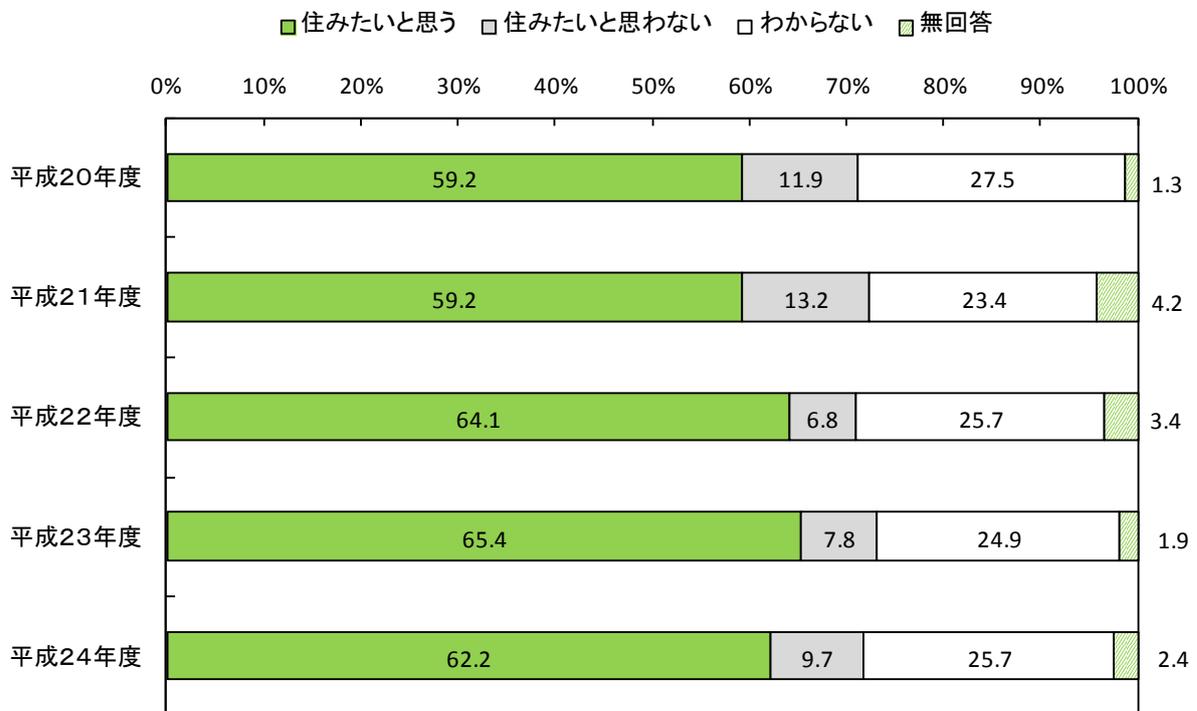
問5 あなたは、これからもずっと蕨市に住みたいと思いますか。（〇印は1つ）



これからも蕨市に「住みたい」が62.2%で、60%以上の市民が蕨市に住み続けたいと思っています。一方、「住みたいと思わない」は9.7%、「わからない」は25.7%となっています。

<経年比較>

●永住意識(平成20年度からの推移)



平成20年度からの推移をみると、回答傾向に大きな違いはみられず、「住みたいと思う」割合は、60%前後で推移しています。

<属性別> ※網掛けは各属性での最上位を表す

		全体	住みたいと思う	住みたいと思わない	わからない	無回答
全体		983 100.0	611 62.2	95 9.7	253 25.7	24 2.4
性別	男	427 100.0	271 63.5	39 9.1	109 25.5	8 1.9
	女	538 100.0	327 60.8	56 10.4	140 26.0	15 2.8
年齢	20～29歳	101 100.0	29 28.7	24 23.8	45 44.6	3 3.0
	30～39歳	141 100.0	62 44.0	17 12.1	59 41.8	3 2.1
	40～49歳	164 100.0	93 56.7	18 11.0	49 29.9	4 2.4
	50～59歳	152 100.0	92 60.5	15 9.9	44 28.9	1 0.7
	60～69歳	181 100.0	132 72.9	12 6.6	34 18.8	3 1.7
	70歳以上	232 100.0	195 84.1	8 3.4	19 8.2	10 4.3
地区	錦町	132 100.0	69 52.3	19 14.4	42 31.8	2 1.5
	北町	170 100.0	113 66.5	25 14.7	30 17.6	2 1.2
	中央	274 100.0	166 60.6	18 6.6	78 28.5	12 4.4
	南町	172 100.0	107 62.2	14 8.1	48 27.9	3 1.7
	塚越	222 100.0	148 66.7	17 7.7	52 23.4	5 2.3

性別にみて、回答傾向に大きな違いはみられません。

年齢別にみると、これからも蕨市に「住みたいと思う」割合は、年齢が上がるほど多くなっています。一方、20～30歳代は「わからない」が40%を超え、他の年代に比べて多くなっています。

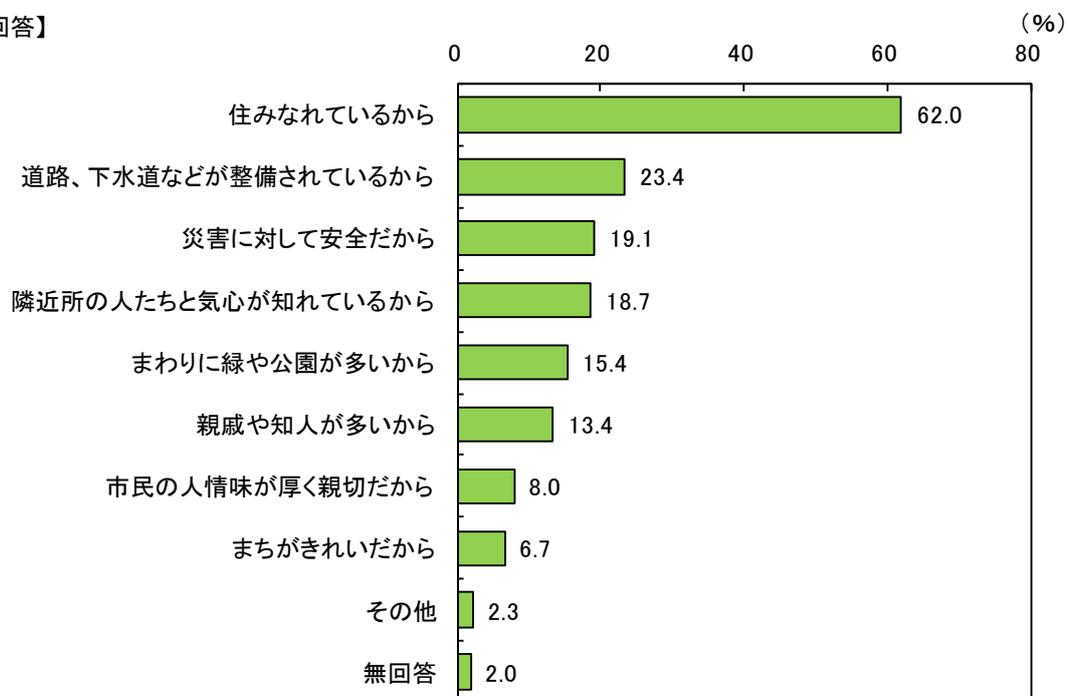
地区別にみると、錦町地区では、これからも蕨市に「住みたいと思う」が52.3%で、半数を超えているものの、全体の回答割合を9.9ポイント下回っており、他の地区と比べて少なくなっています。これは比較的、居住年数が少ない市民が多い地区であることが影響していると考えられます。

問5で「1 住みたいと思う」と答えた方のみご回答ください。

問6 住みたいと思う理由はなんですか。最も近い理由を下欄の「環境上の理由」「生活上の理由」からそれぞれお選びください。（○印はそれぞれ2つ以内）

●環境上の理由

n=611【複数回答】



蕨市に住みたいと思う環境上の理由としては、「住みなれているから」が62.0%で最も多くなっています。このほか、「道路、下水道などが整備されているから」（23.4%）、「災害に対して安全だから」（19.1%）、「隣近所の人たちと気心が知れているから」（18.7%）などが続いており、回答が分散しています。

<経年比較>

●住みたいと思う環境上の理由上位5位(平成20年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成20年度	住みなれているから 64.0%	道路、下水道などが整備されているから 25.9%	隣近所の人たちと気心が知れているから 24.1%	親戚や知人が多いから 13.2%	災害に対して安全だから/まわりに緑や公園が多いから 12.3%
平成21年度	住みなれているから 58.3%	道路、下水道などが整備されているから 22.8%	隣近所の人たちと気心が知れているから まわりに緑や公園が多いから 19.7%		災害に対して安全だから 14.0%
平成22年度	住みなれているから 61.2%	隣近所の人たちと気心が知れているから 21.6%	道路、下水道などが整備されているから 20.4%	親戚や知人が多いから 15.1%	まわりに緑や公園が多いから 14.3%
平成23年度	住みなれているから 60.9%	道路、下水道などが整備されているから 21.4%	災害に対して安全だから 20.3%	隣近所の人たちと気心が知れているから 19.6%	親戚や知人が多いから 15.9%
平成24年度	住みなれているから 62.0%	道路、下水道などが整備されているから 23.4%	災害に対して安全だから 19.1%	隣近所の人たちと気心が知れているから 18.7%	まわりに緑や公園が多いから 15.4%

平成20年度からの推移をみると、回答傾向に大きな違いはみられませんが、平成23年度以降は、「災害に対して安全だから」が20%程度挙げられており、過去の調査より多くなっています。

<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

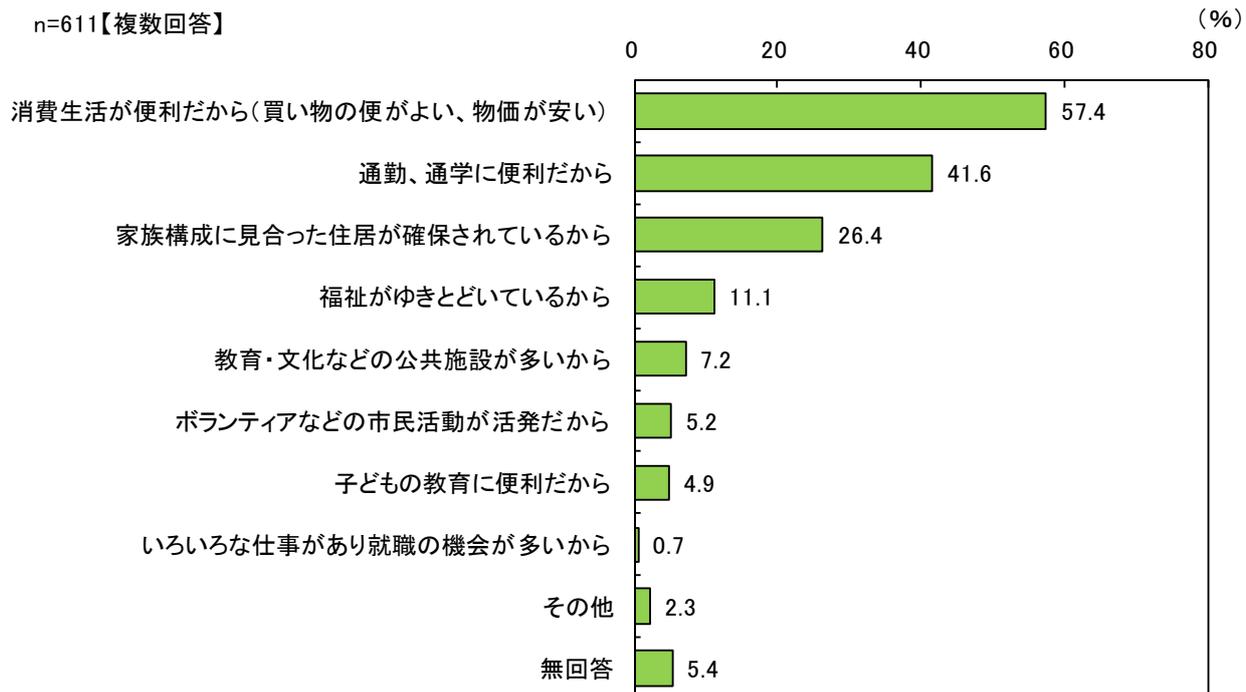
		全体	住みなれているから	道路、下水道などが整備されているから	災害に対して安全だから	隣近所の人たちと心が知れているから	まわりに緑や公園が多いから	親戚や知人が多いから	市民の人情味が厚く親切だから	まちがきれいだから	その他	無回答
全体		611 100.0	379 62.0	143 23.4	117 19.1	114 18.7	94 15.4	82 13.4	49 8.0	41 6.7	14 2.3	12 2.0
性別	男	271 100.0	164 60.5	67 24.7	50 18.5	42 15.5	36 13.3	42 15.5	21 7.7	24 8.9	3 1.1	6 2.2
	女	327 100.0	207 63.3	72 22.0	62 19.0	71 21.7	58 17.7	40 12.2	27 8.3	16 4.9	11 3.4	5 1.5
年齢	20～29歳	29 100.0	23 79.3	5 17.2	1 3.4	3 10.3	4 13.8	7 24.1	2 6.9	1 3.4	-	-
	30～39歳	62 100.0	37 59.7	2 3.2	3 4.8	9 14.5	15 24.2	18 29.0	6 9.7	7 11.3	4 6.5	2 3.2
	40～49歳	93 100.0	63 67.7	12 12.9	11 11.8	14 15.1	12 12.9	17 18.3	12 12.9	12 12.9	4 4.3	1 1.1
	50～59歳	92 100.0	57 62.0	21 22.8	14 15.2	16 17.4	10 10.9	16 17.4	7 7.6	5 5.4	3 3.3	2 2.2
	60～69歳	132 100.0	89 67.4	35 26.5	38 28.8	23 17.4	20 15.2	10 7.6	6 4.5	3 2.3	1 0.8	2 1.5
	70歳以上	195 100.0	103 52.8	66 33.8	47 24.1	48 24.6	33 16.9	14 7.2	16 8.2	12 6.2	2 1.0	5 2.6
地区	錦町	69 100.0	42 60.9	12 17.4	21 30.4	12 17.4	3 4.3	10 14.5	7 10.1	5 7.2	3 4.3	2 2.9
	北町	113 100.0	78 69.0	27 23.9	21 18.6	25 22.1	10 8.8	15 13.3	10 8.8	7 6.2	2 1.8	-
	中央	166 100.0	109 65.7	34 20.5	35 21.1	26 15.7	16 9.6	23 13.9	13 7.8	11 6.6	4 2.4	4 2.4
	南町	107 100.0	60 56.1	31 29.0	9 8.4	24 22.4	23 21.5	13 12.1	9 8.4	9 8.4	-	4 3.7
	塚越	148 100.0	83 56.1	37 25.0	28 18.9	26 17.6	42 28.4	21 14.2	10 6.8	8 5.4	5 3.4	2 1.4

性別にみて、回答傾向に大きな違いはみられません。

年齢別にみると、回答割合に大きな違いはありませんが、20～30歳代は「親戚や知人が多いから」が全体の回答割合より10ポイント以上上回っており、また、特に30歳代は「まわりに緑や公園が多いから」が24.2%で、全体の回答割合を8.8ポイント上回り、他の年代と比べて多くなっています。一方、概ね年齢が上がるほど「道路、下水道などが整備されているから」が多い傾向がみられます。

地区別にみると、錦町地区では「災害に対して安全だから」が全体の回答割合を11.3ポイント上回っている一方、南町地区では全体の回答割合を10.7ポイント下回っています。また、南町地区と塚越地区では「まわりに緑や公園が多いから」が全体の回答割合を、6～13ポイント程度上回っている一方、錦町地区・北町地区・中央地区では全体の回答割合を5～13ポイント程度下回っており、地区による環境の違いが表れています。

●生活上の理由



蕨市に住みたいと思う生活上の理由としては、「消費生活が便利だから（買い物の便がよい、物価が安い）」が57.4%で最も多くなっています。次いで、「通勤、通学に便利だから」（41.6%）、「家族構成に見合った住居が確保されているから」（26.4%）となっています。

<経年比較>

●住みたいと思う生活上の理由上位5位(平成20年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成20年度	消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い) 56.1%	通勤、通学に便利だから 45.6%	家族構成に見合った住居が確保されているから 26.8%	福祉がゆきとどいているから 5.7%	子どもの教育に便利だから/教育・文化などの公共施設が多いから/ボランティアなどの社会活動が活発だから 3.9%
平成21年度	消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い) 54.8%	通勤、通学に便利だから 46.5%	家族構成に見合った住居が確保されているから 28.1%	子どもの教育に便利だから 6.6%	福祉がゆきとどいているから 6.1%
平成22年度	消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い) 61.6%	通勤、通学に便利だから 49.4%	家族構成に見合った住居が確保されているから 29.0%	福祉がゆきとどいているから 8.2%	教育・文化などの公共施設が多いから 4.5%
平成23年度	消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い) 59.8%	通勤、通学に便利だから 48.6%	家族構成に見合った住居が確保されているから 25.0%	福祉がゆきとどいているから 9.1%	子どもの教育に便利だから 6.5%
平成24年度	消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い) 57.4%	通勤、通学に便利だから 41.6%	家族構成に見合った住居が確保されているから 26.4%	福祉がゆきとどいているから 11.1%	教育・文化などの公共施設が多いから 7.2%

平成20年度以降の調査と比較して、回答傾向に大きな違いはみられません。

<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

		全体	消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い)	通勤、通学に便利だから	家族構成に見合った住居が確保されているから	福祉がゆきとどいていてから	教育・文化などの公共施設が多いから	ボランティアなどの市民活動が活発だから	子どもの教育に便利だから	いろいろな仕事があり就職の機会が多いから	その他	無回答
	全体	611 100.0	351 57.4	254 41.6	161 26.4	68 11.1	44 7.2	32 5.2	30 4.9	4 0.7	14 2.3	33 5.4
性別	男	271 100.0	146 53.9	124 45.8	61 22.5	29 10.7	21 7.7	17 6.3	18 6.6	2 0.7	6 2.2	15 5.5
	女	327 100.0	200 61.2	129 39.4	94 28.7	37 11.3	22 6.7	14 4.3	12 3.7	2 0.6	8 2.4	15 4.6
年齢	20～29歳	29 100.0	18 62.1	23 79.3	2 6.9	- -	1 3.4	1 3.4	1 3.4	1 3.4	- -	- -
	30～39歳	62 100.0	29 46.8	38 61.3	13 21.0	1 1.6	2 3.2	1 1.6	8 12.9	2 3.2	2 3.2	5 8.1
	40～49歳	93 100.0	47 50.5	50 53.8	24 25.8	6 6.5	6 6.5	3 3.2	10 10.8	1 1.1	3 3.2	1 1.1
	50～59歳	92 100.0	48 52.2	49 53.3	28 30.4	8 8.7	2 2.2	4 4.3	2 2.2	- -	1 1.1	4 4.3
	60～69歳	132 100.0	86 65.2	47 35.6	40 30.3	15 11.4	7 5.3	8 6.1	5 3.8	- -	2 1.5	5 3.8
	70歳以上	195 100.0	119 61.0	47 24.1	48 24.6	37 19.0	25 12.8	15 7.7	4 2.1	- -	6 3.1	18 9.2
地区	錦町	69 100.0	28 40.6	23 33.3	22 31.9	10 14.5	8 11.6	7 10.1	5 7.2	1 1.4	1 1.4	3 4.3
	北町	113 100.0	60 53.1	43 38.1	26 23.0	16 14.2	11 9.7	11 9.7	5 4.4	1 0.9	4 3.5	4 3.5
	中央	166 100.0	106 63.9	74 44.6	38 22.9	12 7.2	9 5.4	8 4.8	8 4.8	- -	4 2.4	9 5.4
	南町	107 100.0	55 51.4	44 41.1	29 27.1	13 12.1	7 6.5	4 3.7	4 3.7	1 0.9	2 1.9	9 8.4
	塚越	148 100.0	98 66.2	70 47.3	40 27.0	16 10.8	8 5.4	2 1.4	8 5.4	1 0.7	3 2.0	8 5.4

性別にみると、男性は「通勤、通学に便利だから」が女性を6.4ポイント上回っており、一方、女性は「消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い)」が男性を7.3ポイント上回っています。

年齢別にみると、20～50歳代は「通勤、通学に便利だから」が最も多く、60歳代および70歳以上は「消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い)」が最も多いという違いがみられます。なお、20歳代では「家族構成に見合った住居が確保されているから」が他の年代に比べて少なくなっていますが、これは他の年代に比べて独身者が多いためと考えられます。

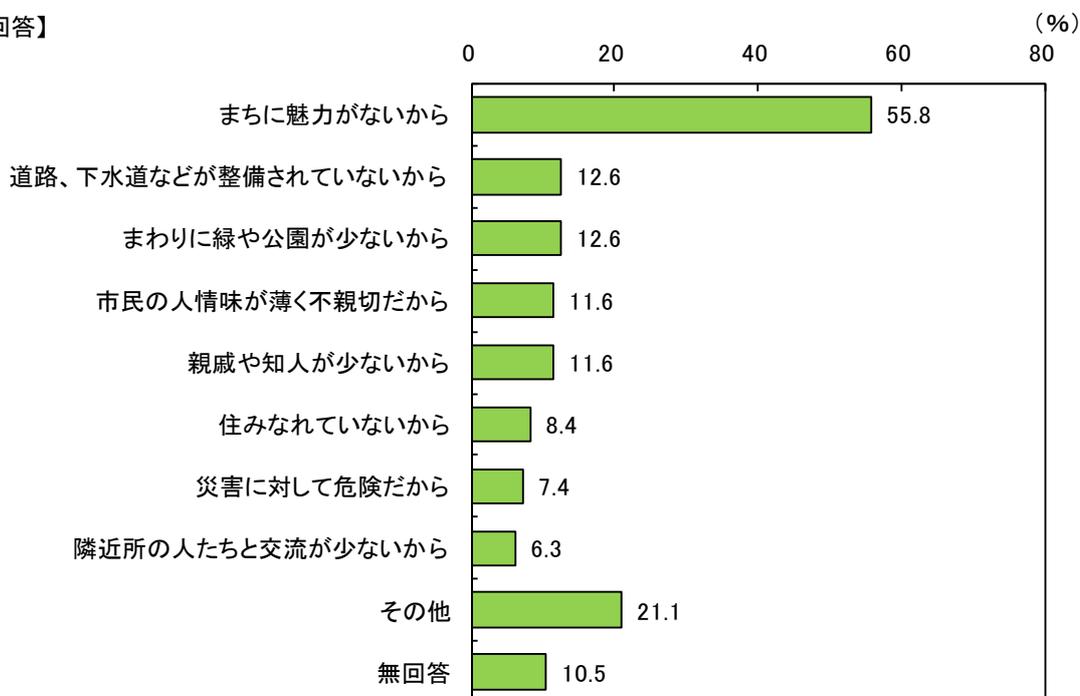
地区別にみると、中央地区と塚越地区では「消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い)」が全体の回答割合より6～8ポイント程度上回っており、他の地区に比べて多くなっています。また、塚越地区では「通勤、通学に便利だから」も全体の回答割合より5.7ポイント上回っており、他の地区に比べて多くなっています。

問5で「2 住みたいと思わない」と答えた方のみご回答ください。

問7 住みたいと思わない理由はなんですか。最も近い理由を下欄の「環境上の理由」「生活上の理由」からそれぞれお選びください。（○印はそれぞれ2つ以内）

●環境上の理由

n=95【複数回答】



蕨市に住みたいと思わない環境上の理由としては、「まちに魅力がないから」が55.8%で半数を超え、最も多くなっています。このほか、「道路、下水道などが整備されていないから」（12.6%）、「まわりに緑や公園が少ないから」（12.6%）などが続いており、回答が分散しています。

都市基盤の整備やコミュニティに関することよりも、まち全体の魅力が問題とされています。

<経年比較>

●住みたいと思わない環境上の理由上位 5 位(平成 20 年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成20年度	まちに魅力がないから 47.8%	まわりに緑や公園が少ないから 26.1%	親戚や知人が少ないから 15.2%	道路、下水道などが整備されていないから 住みなれていないから 13.0%	
平成21年度	まちに魅力がないから 47.1%	まわりに緑や公園が少ないから 親戚や知人が少ないから 13.7%		道路、下水道などが整備されていないから 11.8%	住みなれていないから 7.8%
平成22年度	まちに魅力がないから 61.5%	まわりに緑や公園が少ないから 23.1%	親戚や知人が少ないから 15.4%	道路、下水道などが整備されていないから 住みなれていないから 7.7%	
平成23年度	まちに魅力がないから 57.6%	住みなれていないから 21.2%	親戚や知人が少ないから 15.2%	隣近所の人たちと交流が少ないから 9.1%	まわりに緑や公園が少ないから/道路、下水道などが整備されていないから/災害に対して危険だから 6.1%
平成24年度	まちに魅力がないから 55.8%	道路、下水道などが整備されていないから まわりに緑や公園が少ないから 12.6%		市民の人情味が薄く不親切だから 親戚や知人が少ないから 11.6%	

※「その他」は除く

母数が少ないことを考慮する必要がありますが、平成 20 年度からの推移をみると、回答傾向に大きな違いはみられません。

<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

		全体	まちに魅力がないから	道路、下水道などが整備されていないから	まわりに緑や公園が少ないから	市民の人情味が薄く不親切だから	親戚や知人が少ないから	住みなれていないから	災害に対して危険だから	隣近所の人たちと交流が少ないから	その他	無回答
全体		95 100.0	53 55.8	12 12.6	12 12.6	11 11.6	11 11.6	8 8.4	7 7.4	6 6.3	20 21.1	10 10.5
性別	男	39 100.0	21 53.8	5 12.8	6 15.4	5 12.8	6 15.4	5 12.8	2 5.1	1 2.6	8 20.5	2 5.1
	女	56 100.0	32 57.1	7 12.5	6 10.7	6 10.7	5 8.9	3 5.4	5 8.9	5 8.9	12 21.4	8 14.3
年齢	20～29歳	24 100.0	9 37.5	3 12.5	3 12.5	2 8.3	4 16.7	3 12.5	1 4.2	-	6 25.0	4 16.7
	30～39歳	17 100.0	9 52.9	3 17.6	2 11.8	2 11.8	6 35.3	2 11.8	-	-	5 29.4	-
	40～49歳	18 100.0	11 61.1	2 11.1	2 11.1	2 11.1	1 5.6	2 11.1	2 11.1	-	5 27.8	1 5.6
	50～59歳	15 100.0	11 73.3	-	1 6.7	2 13.3	-	-	3 20.0	3 20.0	2 13.3	1 6.7
	60～69歳	12 100.0	6 50.0	1 8.3	1 8.3	2 16.7	-	-	1 8.3	3 25.0	2 16.7	3 25.0
	70歳以上	8 100.0	6 75.0	3 37.5	2 25.0	1 12.5	-	1 12.5	-	-	-	-
地区	錦町	19 100.0	10 52.6	4 21.1	2 10.5	1 5.3	4 21.1	2 10.5	3 15.8	1 5.3	4 21.1	-
	北町	25 100.0	16 64.0	2 8.0	3 12.0	3 12.0	2 8.0	-	2 8.0	1 4.0	4 16.0	4 16.0
	中央	18 100.0	10 55.6	3 16.7	3 16.7	1 5.6	1 5.6	1 5.6	1 5.6	2 11.1	4 22.2	3 16.7
	南町	14 100.0	7 50.0	1 7.1	3 21.4	1 7.1	-	1 7.1	-	1 7.1	6 42.9	1 7.1
	塚越	17 100.0	9 52.9	2 11.8	1 5.9	4 23.5	4 23.5	4 23.5	1 5.9	1 5.9	1 5.9	2 11.8

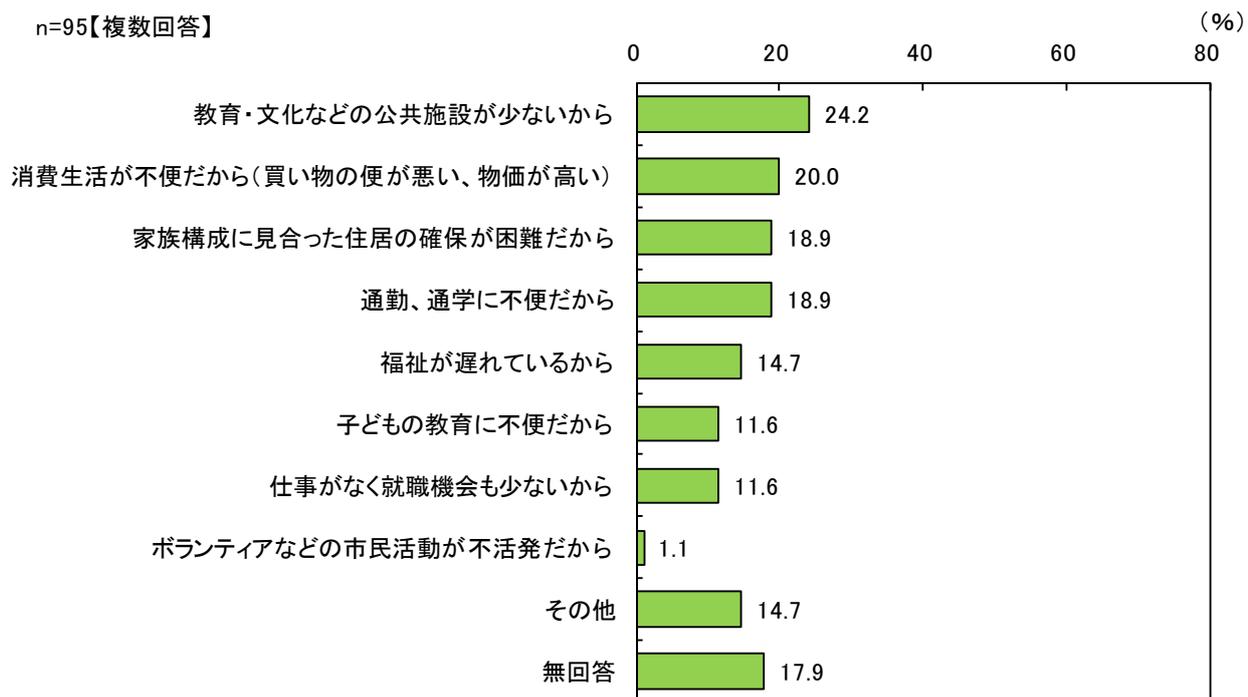
母数が少ないことを考慮する必要がありますが、性別にみて、回答傾向に大きな違いはみられません。

年齢別にみると、30歳代以上では、「まちに魅力がないから」が50%を超えています。また、30歳代では「親戚や知人が少ないから」が30%を超え、他の年代に比べて多い傾向がみられます。

地区別にみると、錦町地区では「道路、下水道などが整備されていないから」や「親戚や知人が少ないから」、南町地区では「まわりに緑や公園が少ないから」、塚越地区では「市民の人情味が薄く不親切だから」「親戚や知人が少ないから」「住みなれていないから」が20%を超え、他の地区に比べて多い傾向がみられます。

●生活上の理由

n=95【複数回答】



蕨市に住みたいと思わない生活上の理由としては、「教育・文化などの公共施設が少ないから」が 24.2%、次いで、「消費生活が不便だから（買い物の便が悪い、物価が高い）」（20.0%）、「家族構成に見合った住居の確保が困難だから」（18.9%）、「通勤、通学に不便だから」（18.9%）が続いています。

<経年比較>

●住みたいと思わない生活上の理由上位5位(平成20年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成20年度	教育・文化などの公共施設が少ないから 26.1%	消費生活が不便だから(買い物の便が悪い物価が高い) 23.9%	福祉が遅れているから 17.4%	子どもの教育に不便だから 15.2%	家族構成に見合った住居の確保が困難だから 10.9%
平成21年度	消費生活が不便だから(買い物の便が悪い物価が高い) 23.5%	教育・文化などの公共施設が少ないから 通勤、通学に不便だから 17.6%	福祉が遅れているから 仕事も少なく就職機会も少ないから 11.8%		
平成22年度	教育・文化などの公共施設が少ないから 42.3%	福祉が遅れているから 23.1%	消費生活が不便だから(買い物の便が悪い、物価が高い) 19.2%	子どもの教育に不便だから 家族構成に見合った住居の確保が困難だから 15.4%	
平成23年度	消費生活が不便だから(買い物の便が悪い、物価が高い) 24.2%	福祉が遅れているから 21.2%	教育・文化などの公共施設が少ないから 家族構成に見合った住居の確保が困難だから 18.2%	仕事がなく就職機会も少ないから 15.2%	
平成24年度	教育・文化などの公共施設が少ないから 24.2%	消費生活が不便だから(買い物の便が悪い、物価が高い) 20.0%	家族構成に見合った住居の確保が困難だから 通勤、通学に不便だから 18.9%	福祉が遅れているから 14.7%	

母数が少ないことを考慮する必要がありますが、平成20年度以降の調査と比較して、回答傾向に大きな違いはみられません。

<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

	全体	教育・文化などの公共施設が少ないから	消費生活が不便だから(買い物の方が悪い、物価が高い)	家族構成に見合った住居の確保が困難だから	通勤、通学に不便だから	福祉が遅れているから	子どもの教育に不便だから	仕事がなく就職機会も少ないから	ボランティアなどの市民活動が不活発だから	その他	無回答	
全体	95 100.0	23 24.2	19 20.0	18 18.9	18 18.9	14 14.7	11 11.6	11 11.6	1 1.1	14 14.7	17 17.9	
性別	男	39 100.0	10 25.6	8 20.5	6 15.4	7 17.9	7 17.9	6 15.4	5 12.8	1 2.6	8 20.5	4 10.3
	女	56 100.0	13 23.2	11 19.6	12 21.4	11 19.6	7 12.5	5 8.9	6 10.7	-	6 10.7	13 23.2
年齢	20～29歳	24 100.0	6 25.0	5 20.8	2 8.3	8 33.3	2 8.3	5 20.8	2 8.3	-	3 12.5	4 16.7
	30～39歳	17 100.0	5 29.4	5 29.4	5 29.4	4 23.5	2 11.8	3 17.6	2 11.8	-	1 5.9	1 5.9
	40～49歳	18 100.0	4 22.2	3 16.7	5 27.8	4 22.2	4 22.2	-	2 11.1	-	3 16.7	4 22.2
	50～59歳	15 100.0	4 26.7	2 13.3	2 13.3	1 6.7	3 20.0	2 13.3	2 13.3	-	3 20.0	2 13.3
	60～69歳	12 100.0	1 8.3	2 16.7	2 16.7	1 8.3	1 8.3	1 8.3	1 8.3	1 8.3	3 25.0	4 33.3
	70歳以上	8 100.0	3 37.5	2 25.0	2 25.0	-	2 25.0	-	2 25.0	-	-	2 25.0
地区	錦町	19 100.0	3 15.8	5 26.3	5 26.3	3 15.8	5 26.3	3 15.8	3 15.8	-	1 5.3	2 10.5
	北町	25 100.0	7 28.0	5 20.0	2 8.0	4 16.0	6 24.0	3 12.0	2 8.0	-	3 12.0	4 16.0
	中央	18 100.0	2 11.1	4 22.2	4 22.2	2 11.1	-	2 11.1	3 16.7	1 5.6	4 22.2	5 27.8
	南町	14 100.0	1 7.1	4 28.6	3 21.4	7 50.0	-	1 7.1	2 14.3	-	2 14.3	2 14.3
	塚越	17 100.0	10 58.8	1 5.9	3 17.6	2 11.8	3 17.6	2 11.8	1 5.9	-	3 17.6	4 23.5

母数が少ないことを考慮する必要がありますが、性別にみると、女性は「家族構成に見合った住居の確保が困難だから」が男性より多く、一方、男性は「福祉が遅れているから」「子どもの教育に不便だから」が女性より多い傾向がみられます。

年齢別にみると、20歳代では「通勤、通学に不便だから」、30歳代・50歳代・70歳以上では「教育・文化などの公共施設が少ないから」が最も多くなっています。

地区別にみると、南町地区では「通勤、通学に不便だから」、塚越地区では「教育・文化などの公共施設が少ないから」が50%を超え、他の地区に比べて多い傾向がみられます。

5. 重点施策

(1) 重要度

問8 あなたにとって、次のような市の施策はどのくらい重要ですか。1～34の各項目について、あなたの気持ちに近いものをそれぞれ1つずつお選びください。

- 1:重要である 2:どちらかといえば重要である 3:どちらともいえない
4:どちらかといえば重要ではない 5:重要ではない 6:わからない

《集計方法とグラフの見方》

重点施策について評価の結果をわかりやすく示すために、加重平均による分析を行いました。

問8については、「重要である・どちらかといえば重要である・どちらともいえない・どちらかといえば重要ではない・重要ではない」の回答数に、それぞれ「5・4・3・2・1」点を与え、その合計を全回答数（「わからない」「無回答」を除く）で除して評価点としました。

したがって、5に近いほど肯定的な評価、1に近いほど否定的な評価とみることができます。

重要度の評価点の平均は 3.92 となっています。

【福祉・医療・保健】分野は、いずれの施策の評価点も平均を上回っており、特に「6）市立病院の充実」（4.40）は施策全体の第3位に位置し、重要度が高くなっています。

【教育・文化】分野は、「7）学校教育の充実」（4.35）と「8）青少年の健全育成」（4.21）の評価点が施策全体の上位10位以内に位置しており、重要度が高くなっています。

【都市基盤】分野は、「16）下水道の整備・雨水対策」（4.27）と「15）道路・歩道の整備」（4.12）の評価点が高く、特に前者は施策全体の第6位に位置し、重要度が高くなっています。一方、特に「18）市営住宅の整備」（3.16）は施策全体でも最下位となっており、重要度が低くなっています。

【市民生活・環境・産業】分野は、評価点の高い項目が多く、特に「23）防犯対策」（4.56）が施策全体の第1位、「21）防災・消防・救急体制」（4.52）が第2位、「22）交通安全対策」（4.35）が第4位で、重要度が高くなっています。

【その他】分野は、「30）危機管理の強化」（4.09）のみが評価点の平均を上回っており、他の施策は相対的に重要度が低くなっています。特に「29）国際交流の推進」（3.19）は施策全体の第33位となっており、重要度が低くなっています。

■重要度の評価点と順位 ※濃い網掛けは上位 10 位、薄い網掛けは下位 10 位を表す

		重要度	
		評価点	順位(昨年順位)
【福祉・医療・保健】	1)子育て支援	4.18	9 (13)
	2)高齢者の社会参加や生きがいづくり	4.08	15 (17)
	3)介護サービスの充実	4.26	7 (4)
	4)健康づくりや介護予防	4.10	12 (14)
	5)障害者支援	4.09	14 (12)
	6)市立病院の充実	4.40	3 (3)
【教育・文化】	7)学校教育の充実	4.35	5 (5)
	8)青少年の健全育成	4.21	8 (10)
	9)生涯学習の充実	3.78	22 (25)
	10)文化活動の振興	3.66	26 (27)
	11)スポーツ・レクリエーション活動の推進	3.56	28 (28)
【都市基盤】	12)蕨駅周辺の整備	4.02	17 (11)
	13)区画整理	3.71	25 (24)
	14)コミュニティバスなどの公共交通の充実	3.82	21 (21)
	15)道路・歩道の整備	4.12	11 (9)
	16)下水道の整備・雨水対策	4.27	6 (8)
	17)公園緑地の整備・緑化推進	4.03	16 (15)
	18)市営住宅の整備	3.16	34 (33)
	19)都市景観の整備	3.53	29 (29)
【市民生活・環境・産業】	20)ごみの減量とリサイクル	4.17	10 (7)
	21)防災・消防・救急体制	4.52	2 (2)
	22)交通安全対策	4.35	4 (6)
	23)防犯対策	4.56	1 (1)
	24)消費者保護	3.97	19 (19)
	25)産業育成	3.75	23 (23)
	26)商店街の活性化	4.01	18 (18)
【その他】	27)ボランティア・NPO・市民活動の支援	3.47	30 (30)
	28)男女共同参画の推進	3.24	32 (32)
	29)国際交流の推進	3.19	33 (34)
	30)危機管理の強化	4.09	13 (16)
	31)公共施設の改修・改築	3.74	24 (22)
	32)情報技術を活用した行政サービスの推進	3.65	27 (26)
	33)公共施設のバリアフリー化	3.83	20 (20)
	34)市民参画の機会の充実	3.37	31 (31)
重要度平均		3.92	—

<属性別>（重要度その1） ※濃い網掛けは上位10位、薄い網掛けは下位10位を表す

	全体	性別		年齢						
		男	女	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	
【福祉・医療・保健】	1)子育て支援	4.18	4.17	4.18	4.47	4.67	4.04	3.79	4.05	4.19
	2)高齢者の社会参加や生きがいづくり	4.08	4.03	4.12	3.84	4.03	4.13	4.10	4.10	4.18
	3)介護サービスの充実	4.26	4.12	4.37	3.88	4.12	4.21	4.38	4.32	4.47
	4)健康づくりや介護予防	4.10	4.02	4.16	3.83	4.12	4.04	4.11	4.13	4.25
	5)障害者支援	4.09	4.02	4.15	3.71	4.13	3.99	4.14	4.17	4.28
	6)市立病院の充実	4.40	4.30	4.47	4.39	4.53	4.26	4.26	4.38	4.57
【教育・文化】	7)学校教育の充実	4.35	4.24	4.44	4.26	4.65	4.15	4.17	4.37	4.49
	8)青少年の健全育成	4.21	4.09	4.32	4.07	4.45	4.07	4.10	4.26	4.34
	9)生涯学習の充実	3.78	3.67	3.88	3.55	3.86	3.54	3.88	3.80	4.01
	10)文化活動の振興	3.66	3.61	3.71	3.42	3.70	3.48	3.73	3.70	3.89
	11)スポーツ・レクリエーション活動の推進	3.56	3.57	3.55	3.48	3.57	3.42	3.50	3.60	3.77
【都市基盤】	12)蕨駅周辺の整備	4.02	3.87	4.13	4.11	4.07	3.88	4.03	3.92	4.14
	13)区画整理	3.71	3.61	3.78	3.64	3.63	3.67	3.63	3.69	3.96
	14)コミュニティバスなどの公共交通の充実	3.82	3.66	3.95	3.55	3.72	3.76	3.78	3.79	4.23
	15)道路・歩道の整備	4.12	4.03	4.20	3.89	4.10	4.11	4.01	4.09	4.41
	16)下水道の整備・雨水対策	4.27	4.21	4.33	4.01	4.24	4.29	4.20	4.37	4.41
	17)公園緑地の整備・緑化推進	4.03	3.95	4.09	3.95	4.07	4.00	4.03	3.99	4.15
	18)市営住宅の整備	3.16	3.08	3.22	3.04	2.95	2.91	3.06	3.33	3.62
	19)都市景観の整備	3.53	3.43	3.61	3.66	3.36	3.36	3.47	3.54	3.83
【市民生活・環境・産業】	20)ごみの減量とリサイクル	4.17	4.08	4.25	4.00	3.99	4.10	4.21	4.28	4.37
	21)防災・消防・救急体制	4.52	4.46	4.58	4.47	4.63	4.48	4.54	4.49	4.57
	22)交通安全対策	4.35	4.26	4.44	4.22	4.49	4.37	4.31	4.30	4.45
	23)防犯対策	4.56	4.50	4.62	4.50	4.69	4.65	4.52	4.46	4.56
	24)消費者保護	3.97	3.88	4.04	4.12	3.98	3.91	3.87	3.87	4.15
	25)産業育成	3.75	3.68	3.81	3.70	3.70	3.64	3.76	3.74	3.99
	26)商店街の活性化	4.01	3.97	4.04	3.96	3.89	3.89	3.91	4.09	4.27
【その他】	27)ボランティア・NPO・市民活動の支援	3.47	3.39	3.54	3.29	3.17	3.21	3.54	3.65	3.85
	28)男女共同参画の推進	3.24	3.16	3.31	3.08	3.05	2.99	3.33	3.34	3.63
	29)国際交流の推進	3.19	3.10	3.26	3.01	3.04	2.96	3.26	3.28	3.54
	30)危機管理の強化	4.09	4.06	4.12	3.96	4.03	4.02	4.24	4.12	4.15
	31)公共施設の改修・改築	3.74	3.62	3.84	3.78	3.64	3.65	3.72	3.67	4.01
	32)情報技術を活用した行政サービスの推進	3.65	3.65	3.66	3.72	3.60	3.53	3.62	3.65	3.87
	33)公共施設のバリアフリー化	3.83	3.72	3.93	3.73	3.84	3.75	3.92	3.77	3.99
	34)市民参画の機会の充実	3.37	3.37	3.36	3.29	3.18	3.13	3.50	3.49	3.61
重要度平均	3.92	3.84	3.98	3.81	3.91	3.81	3.90	3.93	4.12	

性別にみて、回答傾向に大きな違いはみられませんが、女性は男性よりも、施策全体を通して重要度が高くなっています。

年齢別にみると、20～30歳代では「1)子育て支援」、30歳代ではさらに「7)学校教育の充実」の重要度が高くなっています。50～70歳以上では「3)介護サービスの充実」、60～70歳以上ではさらに「16)下水道の整備・雨水対策」の重要度が高くなっています。なお、特に70歳以上では施策全体を通して重要度が他の年代に比べて高くなっています。

<属性別>（重要度その2） ※濃い網掛けは上位10位、薄い網掛けは下位10位を表す

	全体	地区					
		錦町	北町	中央	南町	塚越	
【福祉・医療・保健】	1)子育て支援	4.18	4.27	4.20	4.13	4.12	4.22
	2)高齢者の社会参加や生きがいづくり	4.08	4.07	4.04	4.10	4.19	4.04
	3)介護サービスの充実	4.26	4.28	4.25	4.24	4.34	4.22
	4)健康づくりや介護予防	4.10	4.13	4.14	4.02	4.22	4.05
	5)障害者支援	4.09	4.02	4.11	4.06	4.14	4.13
	6)市立病院の充実	4.40	4.45	4.60	4.29	4.40	4.35
【教育・文化】	7)学校教育の充実	4.35	4.40	4.41	4.29	4.35	4.35
	8)青少年の健全育成	4.21	4.22	4.30	4.16	4.22	4.23
	9)生涯学習の充実	3.78	3.68	3.94	3.75	3.82	3.77
	10)文化活動の振興	3.66	3.65	3.86	3.60	3.59	3.68
【都市基盤】	11)スポーツ・レクリエーション活動の推進	3.56	3.56	3.72	3.46	3.58	3.56
	12)蕨駅周辺の整備	4.02	3.95	4.07	4.01	3.87	4.12
	13)区画整理	3.71	4.09	3.75	3.64	3.57	3.62
	14)コミュニティバスなどの公共交通の充実	3.82	4.04	3.83	3.78	3.88	3.73
	15)道路・歩道の整備	4.12	4.39	4.14	4.08	4.16	3.98
	16)下水道の整備・雨水対策	4.27	4.42	4.29	4.21	4.28	4.25
	17)公園緑地の整備・緑化推進	4.03	4.16	4.14	3.98	3.88	4.05
【市民生活・環境・産業】	18)市営住宅の整備	3.16	3.31	3.19	3.05	3.24	3.13
	19)都市景観の整備	3.53	3.70	3.64	3.37	3.47	3.61
	20)ごみの減量とリサイクル	4.17	4.23	4.19	4.12	4.20	4.19
	21)防災・消防・救急体制	4.52	4.59	4.55	4.47	4.55	4.53
	22)交通安全対策	4.35	4.41	4.38	4.28	4.41	4.38
	23)防犯対策	4.56	4.61	4.64	4.49	4.56	4.58
	24)消費者保護	3.97	4.12	3.93	3.87	4.01	4.03
【その他】	25)産業育成	3.75	3.85	3.72	3.71	3.77	3.78
	26)商店街の活性化	4.01	4.10	4.04	3.92	4.05	4.04
	27)ボランティア・NPO・市民活動の支援	3.47	3.48	3.49	3.40	3.58	3.46
	28)男女共同参画の推進	3.24	3.26	3.37	3.13	3.27	3.29
	29)国際交流の推進	3.19	3.17	3.25	3.13	3.21	3.23
	30)危機管理の強化	4.09	4.08	4.10	4.07	4.15	4.08
	31)公共施設の改修・改築	3.74	3.74	3.98	3.62	3.65	3.79
	32)情報技術を活用した行政サービスの推進	3.65	3.68	3.63	3.60	3.74	3.69
33)公共施設のバリアフリー化	3.83	3.77	3.89	3.81	3.84	3.88	
34)市民参画の機会の充実	3.37	3.38	3.46	3.27	3.46	3.37	
重要度平均	3.92	3.98	3.98	3.86	3.94	3.92	

地区別にみると、錦町地区では、「13)区画整理」「15)道路・歩道の整備」「16)下水道の整備・雨水対策」の重要度が他の地区と比べて高くなっています。また、市立病院のある北町地区では「6)市立病院の充実」の重要度が高くなっています。

(2) 満足度

問9 問8でお答えいただいた市の施策について、あなたは今、どのくらい満足していますか。
1～34の各項目について、あなたの気持ちに近いものをそれぞれ1つずつお選びください。

- 1:満足している 2:どちらかといえば満足している 3:どちらともいえない
4:どちらかといえば満足していない 5:満足していない 6:わからない

《集計方法とグラフの見方》

重点施策について評価の結果をわかりやすく示すために、加重平均による分析を行いました。
問9については、「満足している・どちらかといえば満足している・どちらともいえない・どちらかといえば満足していない・満足していない」の回答数に、それぞれ「5・4・3・2・1」点を与え、その合計を全回答数（「わからない」「無回答」を除く）で除して評価点としました。
したがって、5に近いほど肯定的な評価、1に近いほど否定的な評価とみることができます。

満足度の評価点の平均は 3.02 となっています。

【福祉・医療・保健】分野は、「1）子育て支援」（3.27）が施策全体の第2位、「2）高齢者の社会参加や生きがいづくり」（3.22）が第4位に位置し、満足度が高くなっています。一方、「6）市立病院の充実」（2.71）は施策全体の第32位で、満足度が低くなっています。

【教育・文化】分野は、「11）スポーツ・レクリエーション活動の推進」（3.16）、「9）生涯学習の充実」（3.15）の評価点が施策全体の第10位以内に位置しており、満足度が高くなっています。

【都市基盤】分野は、「14）コミュニティバスなどの公共交通の充実」（3.28）が施策全体の第1位で満足度が高い一方、「12）蕨駅周辺の整備」（2.67）は施策全体の第33位で満足度が低くなっています。

【市民生活・環境・産業】分野は、「21）防災・消防・救急体制」（3.24）が施策全体の第3位、「20）ごみの減量とリサイクル」（3.21）が第5位に位置し、満足度が高い一方、「26）商店街の活性化」（2.41）は施策全体の最下位で満足度が低くなっています。

【その他】分野は、評価点が平均より低い施策が多く、特に「30）危機管理の強化」（2.86）や「32）情報技術を活用した行政サービスの推進」（2.86）の満足度が低くなっています。

■満足度の評価点と順位 ※濃い網掛けは上位 10 位、薄い網掛けは下位 10 位を表す

		満足度	
		評価点	順位(昨年順位)
【福祉・医療・保健】	1)子育て支援	3.27	2 (3)
	2)高齢者の社会参加や生きがいづくり	3.22	4 (11)
	3)介護サービスの充実	3.14	10 (14)
	4)健康づくりや介護予防	3.14	11 (7)
	5)障害者支援	3.08	17 (22)
	6)市立病院の充実	2.71	32 (33)
【教育・文化】	7)学校教育の充実	3.07	18 (21)
	8)青少年の健全育成	3.01	22 (24)
	9)生涯学習の充実	3.15	9 (10)
	10)文化活動の振興	3.14	12 (8)
	11)スポーツ・レクリエーション活動の推進	3.16	7 (9)
【都市基盤】	12)蕨駅周辺の整備	2.67	33 (31)
	13)区画整理	2.83	30 (20)
	14)コミュニティバスなどの公共交通の充実	3.28	1 (2)
	15)道路・歩道の整備	3.04	19 (12)
	16)下水道の整備・雨水対策	3.16	6 (1)
	17)公園緑地の整備・緑化推進	3.15	8 (6)
	18)市営住宅の整備	3.02	20 (17)
	19)都市景観の整備	2.90	27 (29)
【市民生活・環境・産業】	20)ごみの減量とリサイクル	3.21	5 (4)
	21)防災・消防・救急体制	3.24	3 (5)
	22)交通安全対策	3.10	13 (13)
	23)防犯対策	2.94	26 (27)
	24)消費者保護	3.02	21 (26)
	25)産業育成	2.78	31 (32)
	26)商店街の活性化	2.41	34 (34)
【その他】	27)ボランティア・NPO・市民活動の支援	3.09	15 (16)
	28)男女共同参画の推進	3.10	14 (18)
	29)国際交流の推進	3.08	16 (15)
	30)危機管理の強化	2.86	29 (30)
	31)公共施設の改修・改築	2.94	25 (25)
	32)情報技術を活用した行政サービスの推進	2.86	28 (28)
	33)公共施設のバリアフリー化	2.95	24 (19)
	34)市民参画の機会の充実	2.97	23 (23)
満足度平均		3.02	—

<属性別> (満足度その1) ※濃い網掛けは上位10位、薄い網掛けは下位10位を表す

	全体	性別		年齢						
		男	女	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	
【福祉・医療・保健】	1)子育て支援	3.27	3.19	3.32	2.96	3.09	3.52	3.21	3.28	3.39
	2)高齢者の社会参加や生きがいづくり	3.22	3.17	3.26	3.19	3.21	3.26	3.08	3.13	3.38
	3)介護サービスの充実	3.14	3.12	3.16	3.13	3.13	3.12	3.06	3.11	3.28
	4)健康づくりや介護予防	3.14	3.12	3.15	3.00	3.10	3.17	3.02	3.12	3.31
	5)障害者支援	3.08	3.07	3.07	3.02	3.07	3.14	2.79	3.07	3.30
	6)市立病院の充実	2.71	2.72	2.70	2.65	2.64	2.67	2.38	2.68	3.11
【教育・文化】	7)学校教育の充実	3.07	3.05	3.08	3.21	2.90	3.03	2.86	3.04	3.40
	8)青少年の健全育成	3.01	2.96	3.05	2.96	2.98	2.95	2.87	2.99	3.30
	9)生涯学習の充実	3.15	3.10	3.18	3.09	3.00	3.11	3.09	3.09	3.40
	10)文化活動の振興	3.14	3.10	3.17	3.22	2.99	3.13	3.00	3.13	3.34
	11)スポーツ・レクリエーション活動の推進	3.16	3.11	3.20	3.18	3.09	3.20	3.03	3.10	3.34
【都市基盤】	12)蕨駅周辺の整備	2.67	2.60	2.73	2.56	2.45	2.63	2.51	2.71	3.04
	13)区画整理	2.83	2.78	2.89	2.70	2.70	2.80	2.75	2.81	3.18
	14)コミュニティバスなどの公共交通の充実	3.28	3.27	3.28	3.22	3.30	3.17	3.18	3.30	3.44
	15)道路・歩道の整備	3.04	3.04	3.03	3.16	2.96	2.95	2.91	3.05	3.22
	16)下水道の整備・雨水対策	3.16	3.19	3.14	3.15	3.09	3.01	2.95	3.24	3.47
	17)公園緑地の整備・緑化推進	3.15	3.09	3.19	3.02	3.14	3.07	3.04	3.25	3.31
	18)市営住宅の整備	3.02	3.04	2.98	3.07	2.94	3.01	2.91	3.02	3.16
	19)都市景観の整備	2.90	2.89	2.90	2.90	2.83	2.93	2.77	2.94	2.99
【市民生活・環境・産業】	20)ごみの減量とリサイクル	3.21	3.22	3.18	2.78	3.17	3.04	3.11	3.28	3.57
	21)防災・消防・救急体制	3.24	3.24	3.24	2.99	3.19	2.97	3.04	3.37	3.68
	22)交通安全対策	3.10	3.07	3.11	2.95	3.05	2.84	3.04	3.14	3.44
	23)防犯対策	2.94	2.90	2.96	2.69	2.73	2.72	2.92	3.02	3.36
	24)消費者保護	3.02	3.01	3.01	2.89	2.94	2.96	2.94	3.02	3.26
	25)産業育成	2.78	2.71	2.83	2.63	2.62	2.81	2.70	2.86	2.95
	26)商店街の活性化	2.41	2.42	2.39	2.52	2.30	2.46	2.21	2.32	2.61
【その他】	27)ボランティア・NPO・市民活動の支援	3.09	3.07	3.09	3.12	3.01	3.03	2.92	3.12	3.27
	28)男女共同参画の推進	3.10	3.11	3.08	3.15	3.07	3.09	2.99	3.14	3.13
	29)国際交流の推進	3.08	3.07	3.09	3.03	3.08	3.10	2.96	3.16	3.12
	30)危機管理の強化	2.86	2.83	2.88	2.77	2.80	2.76	2.64	2.97	3.09
	31)公共施設の改修・改築	2.94	2.97	2.92	2.78	2.76	2.93	2.74	3.05	3.27
	32)情報技術を活用した行政サービスの推進	2.86	2.81	2.91	2.73	2.67	2.94	2.70	2.97	3.07
	33)公共施設のバリアフリー化	2.95	2.88	3.00	2.91	2.84	3.00	2.88	3.01	3.00
	34)市民参画の機会の充実	2.97	2.90	3.03	3.01	3.01	3.06	2.83	2.92	3.02
満足度平均	3.02	2.99	3.04	2.95	2.94	2.99	2.88	3.04	3.24	

性別にみて、回答傾向に大きな違いはみられませんが、女性は男性よりも、施策全体を通して満足度が高く、特に「1)子育て支援」「2)高齢者の社会参加や生きがいづくり」が男性より高くなっています。年齢別にみると、20歳代では「7)学校教育の充実」、40歳代では「1)子育て支援」、70歳代では「20)ごみの減量とリサイクル」「21)防災・消防・救急体制」が、それぞれ他の年代と比べ満足度が高くなっています。一方、年齢が下がるほど「23)防犯対策」の満足度が低くなっているという特徴がみられます。

なお、特に70歳以上では施策全体を通して満足度が他の年代に比べて高くなっています。

<属性別>（満足度その2） ※濃い網掛けは上位10位、薄い網掛けは下位10位を表す

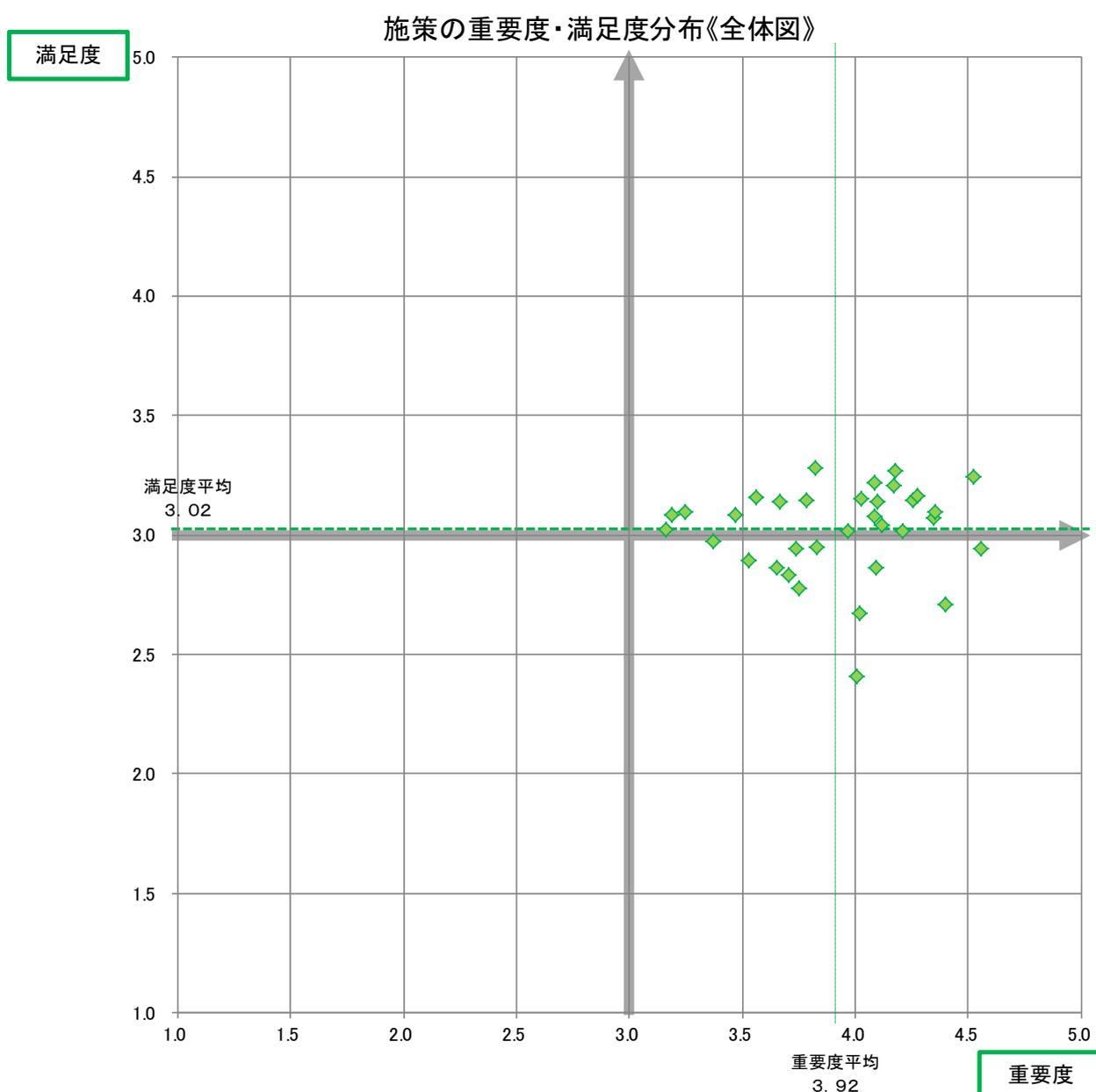
	全体	地区					
		錦町	北町	中央	南町	塚越	
【福祉・医療・保健】	1)子育て支援	3.27	3.35	3.13	3.34	3.32	3.16
	2)高齢者の社会参加や生きがいづくり	3.22	3.17	3.14	3.28	3.19	3.24
	3)介護サービスの充実	3.14	3.10	3.12	3.20	3.12	3.12
	4)健康づくりや介護予防	3.14	3.10	3.09	3.22	3.12	3.10
	5)障害者支援	3.08	3.13	2.95	3.14	3.06	3.07
	6)市立病院の充実	2.71	2.68	2.57	2.81	2.76	2.68
【教育・文化】	7)学校教育の充実	3.07	3.13	2.89	3.06	3.11	3.14
	8)青少年の健全育成	3.01	3.09	2.80	3.08	3.03	3.04
	9)生涯学習の充実	3.15	3.08	3.05	3.20	3.10	3.24
	10)文化活動の振興	3.14	3.11	3.06	3.19	3.05	3.24
	11)スポーツ・レクリエーション活動の推進	3.16	3.06	3.19	3.18	3.06	3.25
【都市基盤】	12)蕨駅周辺の整備	2.67	2.48	2.56	2.70	2.80	2.77
	13)区画整理	2.83	2.47	2.75	2.91	3.05	2.89
	14)コミュニティバスなどの公共交通の充実	3.28	2.94	3.19	3.41	3.31	3.38
	15)道路・歩道の整備	3.04	2.70	2.89	3.17	3.13	3.15
	16)下水道の整備・雨水対策	3.16	2.75	3.10	3.35	3.08	3.29
	17)公園緑地の整備・緑化推進	3.15	2.77	2.85	3.19	3.32	3.45
	18)市営住宅の整備	3.02	2.83	2.89	3.13	3.05	3.10
19)都市景観の整備	2.90	2.75	2.82	2.94	2.88	3.03	
【市民生活・環境・産業】	20)ごみの減量とリサイクル	3.21	3.11	3.10	3.26	3.23	3.25
	21)防災・消防・救急体制	3.24	3.31	3.10	3.29	3.17	3.31
	22)交通安全対策	3.10	3.08	3.01	3.19	3.01	3.11
	23)防犯対策	2.94	3.05	2.89	2.97	2.82	2.96
	24)消費者保護	3.02	3.03	2.96	3.09	2.96	3.01
	25)産業育成	2.78	2.77	2.76	2.83	2.59	2.87
	26)商店街の活性化	2.41	2.31	2.36	2.44	2.27	2.58
【その他】	27)ボランティア・NPO・市民活動の支援	3.09	2.98	3.10	3.13	2.97	3.18
	28)男女共同参画の推進	3.10	3.11	3.05	3.06	3.07	3.18
	29)国際交流の推進	3.08	3.15	2.99	3.08	3.06	3.13
	30)危機管理の強化	2.86	2.97	2.76	2.88	2.83	2.85
	31)公共施設の改修・改築	2.94	2.87	2.85	3.04	2.96	2.96
	32)情報技術を活用した行政サービスの推進	2.86	2.80	2.83	2.95	2.81	2.86
	33)公共施設のバリアフリー化	2.95	2.96	2.83	2.99	2.95	2.97
	34)市民参画の機会の充実	2.97	3.07	2.95	2.93	2.94	3.00
満足度平均	3.02	2.95	2.93	3.08	3.01	3.07	

地区別にみると、中央地区・南町地区・塚越地区では「14) コミュニティバスなどの公共交通の充実」、中央地区と塚越地区では「16) 下水道の整備・雨水対策」と「9) 生涯学習の充実」、南町地区と塚越地区では「17) 公園緑地の整備・緑化推進」の満足度が高くなっています。全般的にみて、中央地区と塚越地区では満足度が他の地区に比べて高くなっています。

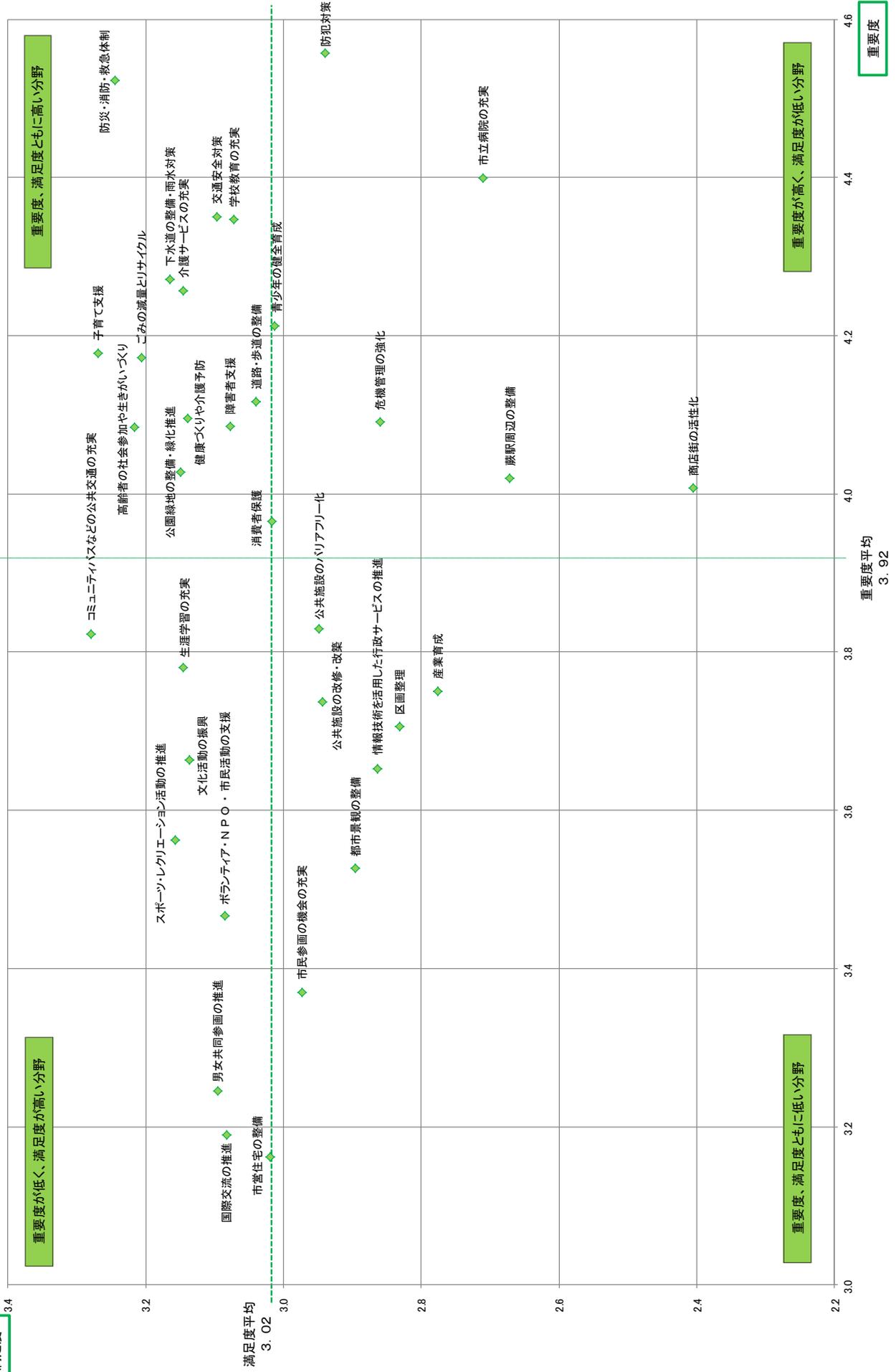
(3) 重点施策

重要度と満足度を合わせた重点施策をみると、“重要度が高く、満足度が低い分野”は「6) 市立病院の充実」「12) 蕨駅周辺の整備」「23) 防犯対策」「26) 商店街の活性化」「30) 危機管理の強化」などとなっています。一方、“重要度が低く、満足度が高い分野”には「14) コミュニティバスなどの公共交通の充実」「9) 生涯学習の充実」などとなっています。

このほか、“重要度、満足度ともに高い分野”は、「21) 防災・消防・救急体制」「1) 子育て支援」などで、“重要度、満足度ともに低い分野”は、「19) 都市景観の整備」「32) 情報技術を活用した行政サービスの推進」などとなっています。



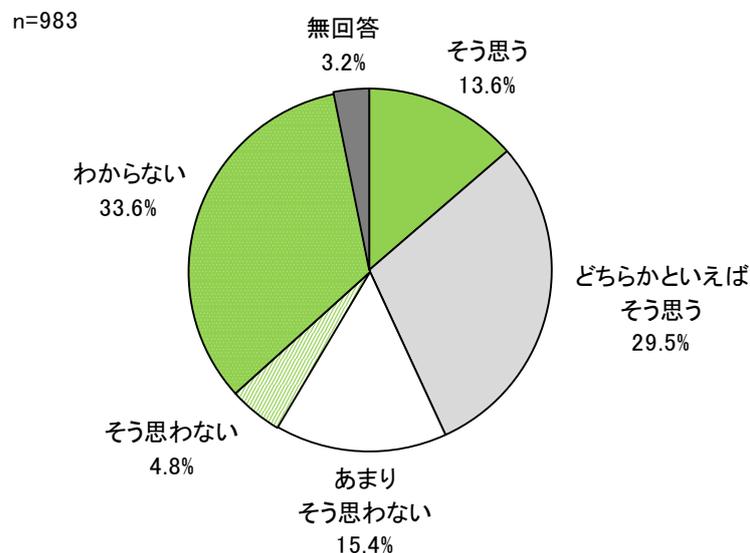
施策の重要度・満足度分布《拡大図》



6. これからのまちづくり課題

(1) 子育てについて

問10 蕨市は子育てしやすいまちだと思いますか。(〇印は1つ)



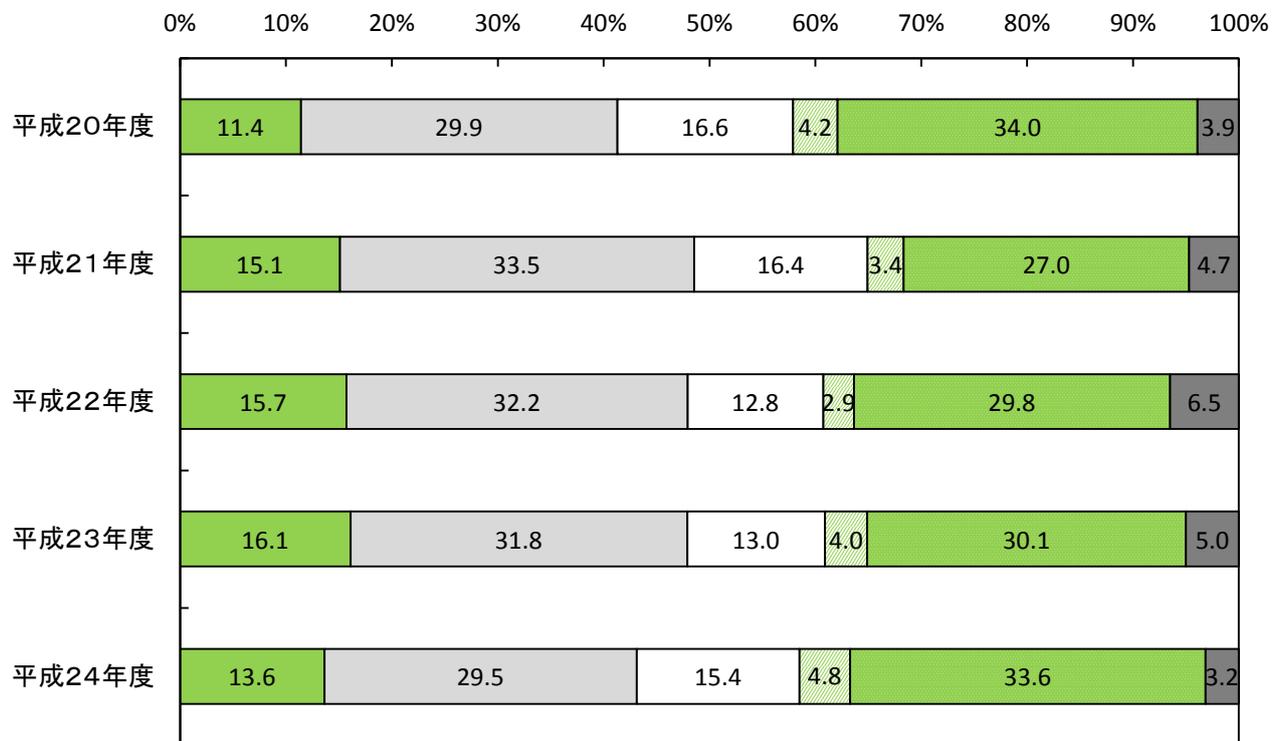
蕨市は子育てしやすいまちかどうかについて、「そう思う」(13.6%)と「どちらかといえばそう思う」(29.5%)の合計は43.1%で、一方、「そう思わない」(4.8%)と「あまりそう思わない」(15.4%)の合計は20.2%となっています。子育てしやすいまちだと思っている市民は、子育てしやすくないと思っている市民より多くなっています。

このほか、「わからない」が33.6%となっています。

<経年比較>

●子育てについて(平成 20 年度からの推移)

■ そう思う □ どちらかといえばそう思う □ あまりそう思わない □ そう思わない ■ わからない ■ 無回答



平成 20 年度からの推移をみると、いずれの年度も「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は 40%を超えています。

<属性別> ※網掛けは各属性での最上位を表す

		全体	そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全体		983 100.0	134 13.6	290 29.5	151 15.4	47 4.8	330 33.6	31 3.2
性別	男	427 100.0	54 12.6	131 30.7	68 15.9	28 6.6	137 32.1	9 2.1
	女	538 100.0	79 14.7	158 29.4	80 14.9	19 3.5	185 34.4	17 3.2
年齢	20～29歳	101 100.0	11 10.9	20 19.8	21 20.8	11 10.9	37 36.6	1 1.0
	30～39歳	141 100.0	13 9.2	46 32.6	26 18.4	11 7.8	44 31.2	1 0.7
	40～49歳	164 100.0	33 20.1	47 28.7	29 17.7	9 5.5	43 26.2	3 1.8
	50～59歳	152 100.0	21 13.8	49 32.2	25 16.4	7 4.6	49 32.2	1 0.7
	60～69歳	181 100.0	22 12.2	58 32.0	26 14.4	3 1.7	67 37.0	5 2.8
	70歳以上	232 100.0	34 14.7	69 29.7	21 9.1	6 2.6	85 36.6	17 7.3
地区	錦町	132 100.0	18 13.6	40 30.3	25 18.9	4 3.0	44 33.3	1 0.8
	北町	170 100.0	16 9.4	50 29.4	37 21.8	9 5.3	54 31.8	4 2.4
	中央	274 100.0	43 15.7	82 29.9	32 11.7	13 4.7	95 34.7	9 3.3
	南町	172 100.0	23 13.4	59 34.3	22 12.8	7 4.1	56 32.6	5 2.9
	塚越	222 100.0	34 15.3	58 26.1	32 14.4	14 6.3	75 33.8	9 4.1

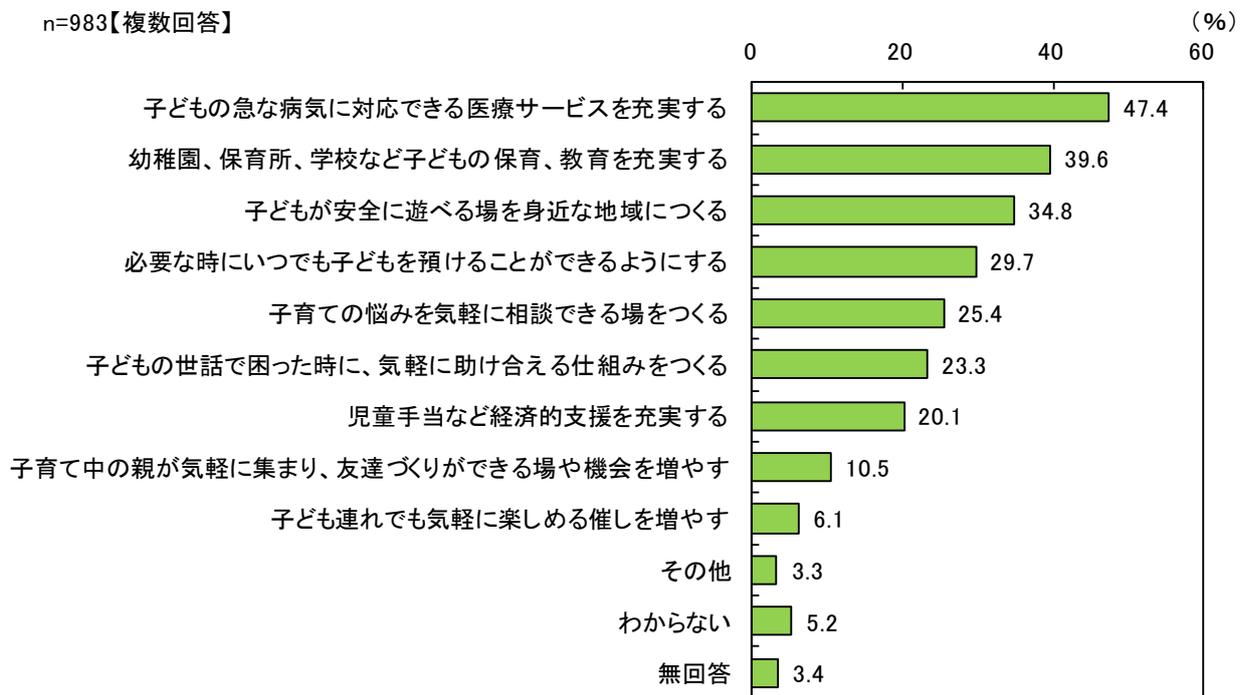
性別にみて、回答傾向に大きな違いはみられません。

年齢別にみると、40歳代は「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が48.8%で、全体の回答割合を5.7ポイント上回っており、他の年代より多くなっています。

地区別にみて、回答傾向に大きな違いはみられません。

問11 蕨市をより子育てしやすいまちにするためには、どのようなことが大切だと思いますか。
(〇印は3つ以内)

n=983【複数回答】



蕨市をより子育てしやすいまちにするために大切なこととしては、「子どもの急な病気に対応できる医療サービスを充実する」が47.4%と最も多くなっています。次いで、「幼稚園、保育所、学校など子どもの保育、教育を充実する」(39.6%)、「子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる」(34.8%)が30%を超えています。このほか、「必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする」(29.7%)、「子育ての悩みを気軽に相談できる場をつくる」(25.4%)も25%を超えています。

子育てしやすいまちとするためには、医療体制、保育・教育環境の充実に加えて、必要な時に預けられる場や気軽に相談できる場など、多様なニーズに応えることが望まれています。

<経年比較>

●子育てしやすいまちにするため大切だと思うこと上位5位(平成20年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成20年度	子どもの急な病気に対応できる医療サービスを充実する 52.2%	子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 42.1%	児童手当など経済的支援を充実する 30.9%	幼稚園、保育園、学校など子どもの保育、教育を充実する 30.1%	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 26.0%
平成21年度	子どもの急な病気に対応できる医療サービスを充実する 48.3%	子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 40.5%	幼稚園、保育園、学校など子どもの保育、教育を充実する 35.3%	児童手当など経済的支援を充実する 31.2%	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 28.6%
平成22年度	子どもの急な病気に対応できる医療サービスを充実する 48.7%	幼稚園、保育所、学校など子どもの保育、教育を充実する 38.5%	子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 37.4%	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 30.6%	子育ての悩みを気軽に相談できる場をつくる 21.7%
平成23年度	子どもの急な病気に対応できる医療サービスを充実する 49.3%	子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 39.8%	幼稚園、保育所、学校など子どもの保育、教育を充実する 33.9%	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 28.9%	子どもの世話で困った時に、気軽に助け合える仕組みをつくる 19.0%
平成24年度	子どもの急な病気に対応できる医療サービスを充実する 47.4%	幼稚園、保育所、学校など子どもの保育、教育を充実する 39.6%	子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 34.8%	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 29.7%	子育ての悩みを気軽に相談できる場をつくる 25.4%

平成20年度からの推移をみると、回答傾向に大きな違いはみられません。

<属性別>

※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

		全体	子どもの急な病気に対応できる医療サービスを充実する	幼稚園、保育所、学校など子どもの保育、教育を充実する	子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする	子育ての悩みを気軽に相談できる場をつくる	子どもの世話で困った時に、気軽に助け合える仕組みをつくる	児童手当など経済的支援を充実する	子育て中の親が気軽に集まり、友達づくりができる場や機会を増やす	子ども連れでも気軽に楽しめる催しを増やす	その他	わからない	無回答
	全体	983 100.0	466 47.4	389 39.6	342 34.8	292 29.7	250 25.4	229 23.3	198 20.1	103 10.5	60 6.1	32 3.3	51 5.2	33 3.4
性別	男	427 100.0	186 43.6	166 38.9	161 37.7	148 34.7	104 24.4	91 21.3	92 21.5	38 8.9	28 6.6	16 3.7	18 4.2	11 2.6
	女	538 100.0	274 50.9	218 40.5	176 32.7	142 26.4	144 26.8	136 25.3	104 19.3	63 11.7	32 5.9	15 2.8	30 5.6	17 3.2
年齢	20～29歳	101 100.0	41 40.6	48 47.5	41 40.6	40 39.6	18 17.8	21 20.8	24 23.8	17 16.8	16 15.8	1 1.0	2 2.0	1 1.0
	30～39歳	141 100.0	77 54.6	74 52.5	58 41.1	41 29.1	19 13.5	16 11.3	53 37.6	13 9.2	16 11.3	11 7.8	2 1.4	2 1.4
	40～49歳	164 100.0	81 49.4	60 36.6	74 45.1	51 31.1	33 20.1	37 22.6	48 29.3	4 2.4	8 4.9	7 4.3	8 4.9	1 0.6
	50～59歳	152 100.0	87 57.2	57 37.5	47 30.9	39 25.7	50 32.9	37 24.3	22 14.5	15 9.9	6 3.9	6 3.9	6 3.9	4 2.6
	60～69歳	181 100.0	71 39.2	76 42.0	51 28.2	51 28.2	54 29.8	58 32.0	23 12.7	31 17.1	8 4.4	2 1.1	12 6.6	6 3.3
	70歳以上	232 100.0	103 44.4	69 29.7	67 28.9	67 28.9	73 31.5	59 25.4	27 11.6	22 9.5	6 2.6	4 1.7	21 9.1	17 7.3
地区	錦町	132 100.0	70 53.0	53 40.2	45 34.1	43 32.6	31 23.5	27 20.5	33 25.0	10 7.6	9 6.8	3 2.3	8 6.1	4 3.0
	北町	170 100.0	72 42.4	64 37.6	64 37.6	54 31.8	46 27.1	45 26.5	31 18.2	25 14.7	10 5.9	8 4.7	5 2.9	5 2.9
	中央	274 100.0	113 41.2	106 38.7	109 39.8	73 26.6	64 23.4	69 25.2	46 16.8	31 11.3	18 6.6	9 3.3	15 5.5	9 3.3
	南町	172 100.0	86 50.0	71 41.3	48 27.9	55 32.0	49 28.5	49 28.5	31 18.0	17 9.9	9 5.2	3 1.7	11 6.4	5 2.9
	塚越	222 100.0	119 53.6	90 40.5	72 32.4	65 29.3	58 26.1	38 17.1	55 24.8	19 8.6	14 6.3	7 3.2	11 5.0	8 3.6

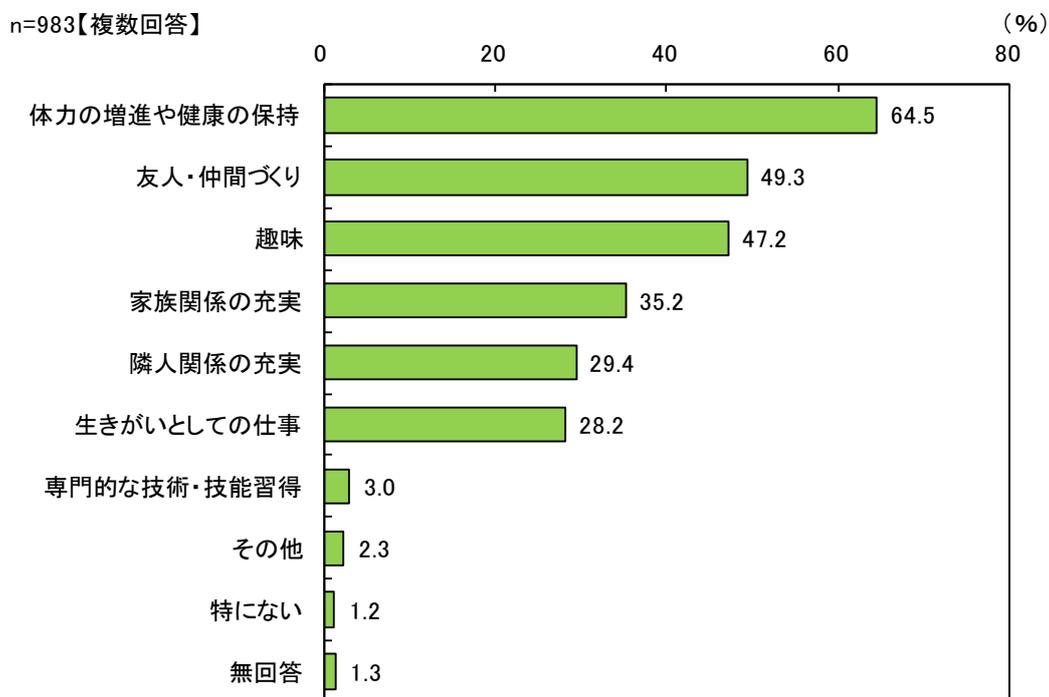
性別にみると、女性は「子どもの急な病気に対応できる医療サービスを充実する」が男性より7.3ポイント多く、男性は「必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする」が女性より8.3ポイント多くなっています。

年齢別にみると、30～50歳代では「子どもの急な病気に対応できる医療サービスを充実する」が50～60%程度で他の年代に比べ多くなっています。また、20～30歳代では「幼稚園、保育所、学校など子どもの保育、教育を充実する」が全体の回答割合を7～13ポイント程度上回っており、他の年代に比べて多くなっています。

地区別にみると、錦町地区と塚越地区では「子どもの急な病気に対応できる医療サービスを充実する」が全体の回答割合を5ポイント以上上回っており、他の地区と比べて多くなっています。

(2) 高齢期に大切なことについて

問12 あなたが高齢期を迎える(迎えた)ときに何が大切だと思いますか。(〇印は3つ以内)



高齢期に大切なこととしては、「体力の増進や健康の保持」が 64.5%と最も多くなっています。次いで、「友人・仲間づくり」(49.3%)、「趣味」(47.2)が半数近くとなっています。このほか、「家族関係の充実」(35.2%)、「隣人関係の充実」(29.4%)、「生きがいとしての仕事」(28.2%)が 25%以上となっています。

高齢期には、健康であることが基本となり、友人や趣味などが大切と考えられています。

<経年比較>

●高齢期を迎える(迎えた)ときに大切だと思うこと上位5位(平成20年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成20年度	体力の増進や健康の保持 73.8%	友人・仲間づくり 47.0%	趣味 41.3%	家族関係の充実 40.8%	隣人関係の充実 26.0%
平成21年度	体力の増進や健康の保持 74.8%	友人・仲間づくり 47.8%	趣味 46.5%	家族関係の充実 36.9%	隣人関係の充実 24.2%
平成22年度	体力の増進や健康の保持 70.4%	趣味 51.8%	友人・仲間づくり 51.3%	家族関係の充実 34.0%	隣人関係の充実 25.9%
平成23年度	体力の増進や健康の保持 68.2%	友人・仲間づくり 53.1%	趣味 46.9%	家族関係の充実 37.2%	生きがいとしての仕事 24.2%
平成24年度	体力の増進や健康の保持 64.5%	友人・仲間づくり 49.3%	趣味 47.2%	家族関係の充実 35.2%	隣人関係の充実 29.4%

平成20年度からの推移をみて、回答傾向に大きな違いはみられませんが、「体力の増進や健康の保持」が減少傾向にある一方、「友人・仲間づくり」や「趣味」は50%前後で推移しています。

<属性別>

※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

		全体	体力の増進や健康の保持	友人・仲間づくり	趣味	家族関係の充実	隣人関係の充実	生きがいとしての仕事	専門的な技術・技能習得	その他	特にない	無回答
全体		983 100.0	634 64.5	485 49.3	464 47.2	346 35.2	289 29.4	277 28.2	29 3.0	23 2.3	12 1.2	13 1.3
性別	男	427 100.0	268 62.8	198 46.4	205 48.0	151 35.4	119 27.9	128 30.0	11 2.6	13 3.0	7 1.6	3 0.7
	女	538 100.0	360 66.9	280 52.0	254 47.2	188 34.9	167 31.0	146 27.1	18 3.3	10 1.9	4 0.7	7 1.3
年齢	20～29歳	101 100.0	46 45.5	59 58.4	59 58.4	29 28.7	36 35.6	27 26.7	3 3.0	3 3.0	- -	1 1.0
	30～39歳	141 100.0	73 51.8	63 44.7	72 51.1	59 41.8	45 31.9	53 37.6	7 5.0	5 3.5	2 1.4	- -
	40～49歳	164 100.0	112 68.3	83 50.6	69 42.1	57 34.8	49 29.9	58 35.4	5 3.0	3 1.8	2 1.2	1 0.6
	50～59歳	152 100.0	100 65.8	83 54.6	69 45.4	44 28.9	35 23.0	57 37.5	5 3.3	6 3.9	1 0.7	2 1.3
	60～69歳	181 100.0	135 74.6	89 49.2	93 51.4	62 34.3	38 21.0	43 23.8	5 2.8	4 2.2	3 1.7	2 1.1
	70歳以上	232 100.0	163 70.3	102 44.0	98 42.2	88 37.9	84 36.2	38 16.4	4 1.7	2 0.9	4 1.7	6 2.6
地区	錦町	132 100.0	84 63.6	58 43.9	55 41.7	46 34.8	42 31.8	43 32.6	4 3.0	6 4.5	- -	3 2.3
	北町	170 100.0	106 62.4	96 56.5	92 54.1	54 31.8	43 25.3	55 32.4	5 2.9	2 1.2	1 0.6	1 0.6
	中央	274 100.0	176 64.2	132 48.2	122 44.5	98 35.8	76 27.7	82 29.9	10 3.6	7 2.6	5 1.8	5 1.8
	南町	172 100.0	119 69.2	84 48.8	76 44.2	61 35.5	61 35.5	43 25.0	3 1.7	3 1.7	2 1.2	2 1.2
	塚越	222 100.0	143 64.4	108 48.6	115 51.8	81 36.5	65 29.3	53 23.9	7 3.2	5 2.3	3 1.4	1 0.5

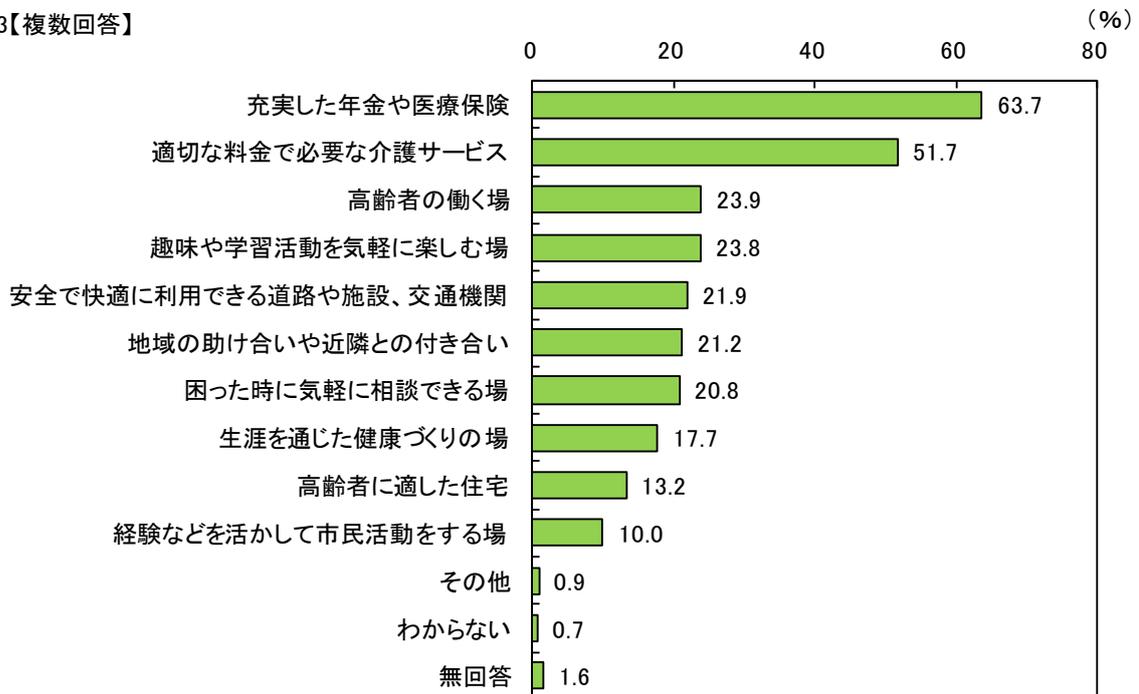
性別にみると、女性は「友人・仲間づくり」が男性を5.6ポイント上回っており、友人関係を大切にする傾向がみられます。

年齢別にみると、年齢が上がるほど「体力の増進や健康の保持」の割合が増えており、高齢の人ほど、健康が基本と考えていることがわかります。一方、20歳代では「友人・仲間づくり」と「趣味」が58.4%で最も多く、30歳代では「家族関係の充実」が41.8%で、それぞれ全体の回答割合を6～11ポイント程度上回り、他の年代に比べて多くなっています。

地区別にみると、北町地区では、「友人・仲間づくり」や「趣味」が50%を超え、全体の回答割合より6～7ポイント程度上回っています。また、南町地区では、「隣人関係の充実」が35.5%で、全体の回答割合より6.1ポイント上回っており、他地区に比べて多くなっています。

問13 高齢期を生き生きと過ごせるまちにするため、どのような環境が大切だと思いますか。
(〇印は3つ以内)

n=983【複数回答】



高齢期を生き生きと過ごせるまちとするために大切なこととしては、「充実した年金や医療保険」が 63.7%で最も多く、次いで「適切な料金で必要な介護サービス」が 51.7%となっています。このほか、「高齢者の働く場」(23.9%)、「趣味や学習活動を気軽に楽しむ場」(23.8%)となっています。

高齢期には、社会保障の充実を基本として、働く場や趣味、移動のしやすさ、地域での交流、気軽に相談できる場など、さまざまな面に配慮した環境づくりが望まれています。

<経年比較>

●高齢期を生き生きと過ごせるまちにするために大切な環境上位5位
(平成20年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成20年度	充実した年金や医療保険 74.3%	適切な料金で必要な介護サービス 51.4%	安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関 27.8%	地域の助け合いや近隣との付き合い 20.5%	趣味や学習活動を気軽に楽しむ場 19.2%
平成21年度	充実した年金や医療保険 75.3%	適切な料金で必要な介護サービス 51.7%	安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関 25.7%	趣味や学習活動を気軽に楽しむ場 21.0%	地域の助け合いや近隣との付き合い 19.7%
平成22年度	充実した年金や医療保険 68.3%	適切な料金で必要な介護サービス 49.5%	地域の助け合いや近隣との付き合い 22.5%	困った時に気軽に相談できる場 22.3%	趣味や学習活動を気軽に楽しむ場 21.7%
平成23年度	充実した年金や医療保険 68.2%	適切な料金で必要な介護サービス 52.8%	趣味や学習活動を気軽に楽しむ場 25.6%	困った時に気軽に相談できる場 22.5%	高齢者の働く場 21.8%
平成24年度	充実した年金や医療保険 63.7%	適切な料金で必要な介護サービス 51.7%	高齢者の働く場 23.9%	趣味や学習活動を気軽に楽しむ場 23.8%	安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関 21.9%

平成20年度からの推移をみると、回答傾向に大きな違いはみられませんが、「適切な料金で必要な介護サービス」は50%程度で推移している一方、「充実した年金や医療保険」は減少傾向にあります。

<属性別>

※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

		全体	充実した年金や医療保険	適切な料金で必要な介護サービス	高齢者の働く場	楽しむ場 趣味や学習活動を気軽に	安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関	地域の助け合いや近隣との付き合い	困った時に気軽に相談できる場	生涯を通じた健康づくりの場	高齢者に適した住宅	経験などを活かして市民活動をする場	その他	わからない	無回答
全体		983 100.0	626 63.7	508 51.7	235 23.9	234 23.8	215 21.9	208 21.2	204 20.8	174 17.7	130 13.2	98 10.0	9 0.9	7 0.7	16 1.6
性別	男	427 100.0	256 60.0	203 47.5	117 27.4	103 24.1	107 25.1	94 22.0	72 16.9	92 21.5	50 11.7	43 10.1	6 1.4	4 0.9	4 0.9
	女	538 100.0	360 66.9	294 54.6	116 21.6	128 23.8	104 19.3	113 21.0	130 24.2	80 14.9	79 14.7	55 10.2	3 0.6	1 0.2	10 1.9
年齢	20～29歳	101 100.0	53 52.5	40 39.6	21 20.8	35 34.7	23 22.8	30 29.7	19 18.8	15 14.9	20 19.8	12 11.9	2 2.0	-	1 1.0
	30～39歳	141 100.0	89 63.1	82 58.2	54 38.3	32 22.7	29 20.6	31 22.0	15 10.6	21 14.9	22 15.6	13 9.2	2 1.4	-	1 0.7
	40～49歳	164 100.0	108 65.9	85 51.8	59 36.0	30 18.3	37 22.6	27 16.5	28 17.1	22 13.4	34 20.7	20 12.2	2 1.2	1 0.6	2 1.2
	50～59歳	152 100.0	101 66.4	79 52.0	39 25.7	34 22.4	32 21.1	27 17.8	30 19.7	22 14.5	14 9.2	24 15.8	-	2 1.3	3 2.0
	60～69歳	181 100.0	128 70.7	89 49.2	33 18.2	42 23.2	49 27.1	44 24.3	41 22.7	35 19.3	18 9.9	16 8.8	2 1.1	1 0.6	1 0.6
	70歳以上	232 100.0	136 58.6	123 53.0	26 11.2	58 25.0	43 18.5	49 21.1	69 29.7	57 24.6	22 9.5	13 5.6	1 0.4	3 1.3	8 3.4
地区	錦町	132 100.0	88 66.7	78 59.1	35 26.5	27 20.5	26 19.7	27 20.5	25 18.9	22 16.7	17 12.9	8 6.1	1 0.8	1 0.8	3 2.3
	北町	170 100.0	102 60.0	81 47.6	38 22.4	46 27.1	48 28.2	35 20.6	36 21.2	35 20.6	20 11.8	19 11.2	2 1.2	-	2 1.2
	中央	274 100.0	172 62.8	135 49.3	70 25.5	60 21.9	66 24.1	57 20.8	47 17.2	45 16.4	42 15.3	33 12.0	3 1.1	2 0.7	7 2.6
	南町	172 100.0	108 62.8	97 56.4	33 19.2	38 22.1	36 20.9	36 20.9	47 27.3	35 20.3	25 14.5	14 8.1	1 0.6	-	2 1.2
	塚越	222 100.0	146 65.8	107 48.2	57 25.7	59 26.6	36 16.2	52 23.4	48 21.6	35 15.8	26 11.7	24 10.8	2 0.9	3 1.4	2 0.9

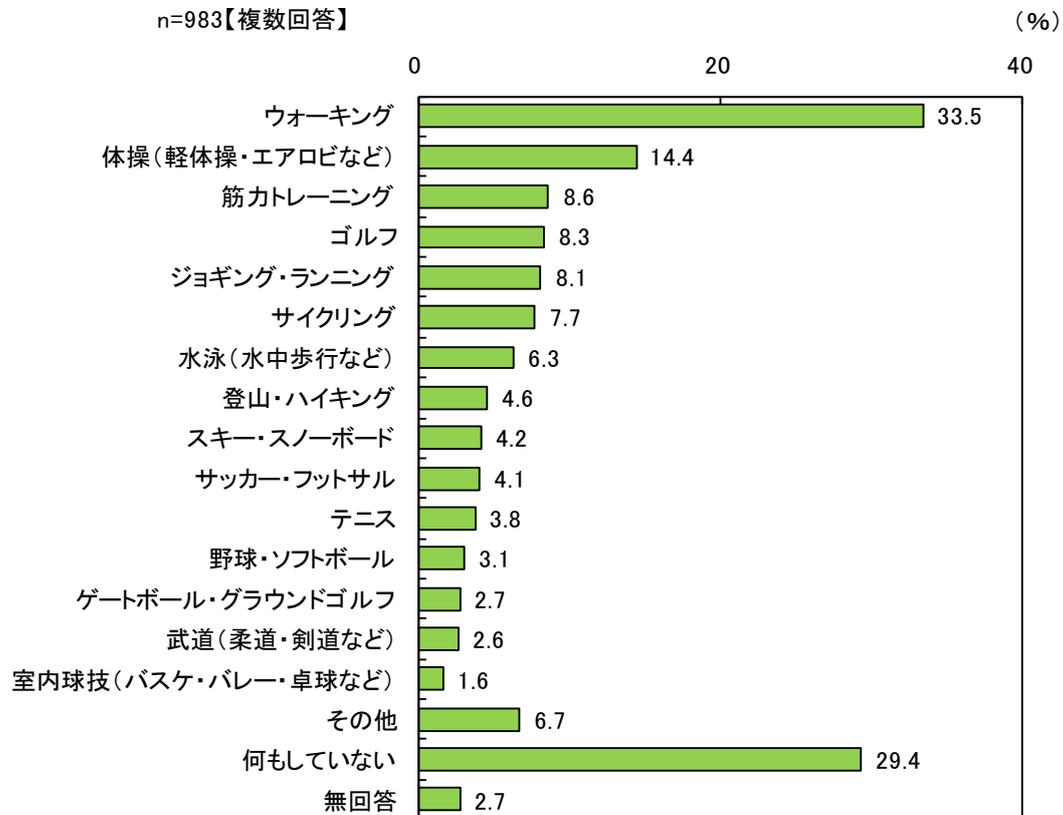
性別にみると、女性は「充実した年金や医療保険」や「適切な料金で必要な介護サービス」が男性を6～7ポイント上回っており、一方、男性は「高齢者の働く場」や「安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関」が女性を6ポイント程度上回っています。

年齢別にみると、20歳代では「趣味や学習活動を気軽に楽しむ場」や「地域の助け合いや近隣との付き合い」が全体の回答割合より8～10ポイント程度上回っており、また、30～40歳代は「高齢者の働く場」が全体の回答割合より12～14ポイント程度上回っており、他の年代に比べて多くなっています。一方、60歳代では、「充実した年金や医療保険」や「安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関」が全体の回答割合より5～7ポイント上回っており、また、70歳以上では「困った時に気軽に相談できる場」や「生涯を通じた健康づくりの場」が全体の回答割合より6～8ポイント程度上回っており、他の年代に比べて多くなっています。

地区別にみると、錦町地区では「適切な料金で必要な介護サービス」が全体の回答割合を7.4ポイント上回っており、また、北町地区では「安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関」が全体の回答割合を6.3ポイント上回っており、他の地区に比べて多くなっています。

(3) 運動・スポーツについて

問14 健康づくりなどに運動・スポーツは非常に大切であるといわれています。あなたは、どのような運動・スポーツをしていますか。 (○印は3つ以内)



運動・スポーツの習慣について、「ウォーキング」が33.5%と最も多く、次いで「体操(軽体操・エアロビなど)」が14.4%となっています。一方、「何もしていない」は29.4%となっています。

日常的に運動をしている人は約70%で、その中では、ウォーキングが一般的に行われていることがわかります。

<経年比較>

●どのような運動・スポーツをしているか上位5位(平成20年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成20年度	ウォーキング 33.2%	軽い体操・ラジオ体操 17.9%	ジョギング・ランニング 7.8%	ゴルフ 6.8%	水泳 5.5%
平成21年度	ウォーキング 34.8%	軽い体操・ラジオ体操 20.3%	ジョギング・ランニング 9.6%	水泳 7.8%	ゴルフ 7.3%
平成22年度	ウォーキング 32.2%	軽い体操・ラジオ体操 20.2%	ゴルフ 9.7%	ジョギング・ランニング 9.2%	水泳 8.6%
平成23年度	ウォーキング 31.3%	体操(軽体操・エアロビなど) 12.6%	ジョギング・ランニング 11.1%	筋力トレーニング 9.7%	ゴルフ 8.8%
平成24年度	ウォーキング 33.5%	体操(軽体操・エアロビなど) 14.4%	筋力トレーニング 8.6%	ゴルフ 8.3%	ジョギング・ランニング 8.1%

※回答項目の修正をしている箇所があるため同じ選択項目になっていません

平成20年度からの推移をみると、回答傾向に大きな違いはみられませんが、「体操(軽体操・エアロビなど)」が20%台から10%台へと減少傾向にあります。

<属性別>

※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

		全体	ウォーキング	体操(軽体操・エアロビなど)	筋力トレーニング	ゴルフ	ジョギング・ランニング	サイクリング	水泳(水中歩行など)	登山・ハイキング	スキー・スノーボード	サッカー・フットサル	テニス	野球・ソフトボール	ゲートボール・グラウンドゴルフ	武道(柔道・剣道など)	室内球技(バスケットボール・卓球など)	その他	何もしていない	無回答
全体		983 100.0	329 33.5	142 14.4	85 8.6	82 8.3	80 8.1	76 7.7	62 6.3	45 4.6	41 4.2	40 4.1	37 3.8	30 3.1	27 2.7	26 2.6	16 1.6	66 6.7	289 29.4	27 2.7
性別	男	427 100.0	146 34.2	36 8.4	49 11.5	67 15.7	52 12.2	54 12.6	18 4.2	26 6.1	21 4.9	37 8.7	15 3.5	25 5.9	17 4.0	13 3.0	11 2.6	19 4.4	99 23.2	8 1.9
	女	538 100.0	177 32.9	100 18.6	36 6.7	15 2.8	27 5.0	20 3.7	43 8.0	19 3.5	20 3.7	3 0.6	22 4.1	5 0.9	8 1.5	12 2.2	5 0.9	45 8.4	186 34.6	16 3.0
年齢	20～29歳	101 100.0	25 24.8	7 6.9	17 16.8	5 5.0	18 17.8	7 6.9	6 5.9	7 6.9	11 10.9	13 12.9	7 6.9	7 6.9	-	7 6.9	1 1.0	12 11.9	24 23.8	1 1.0
	30～39歳	141 100.0	30 21.3	12 8.5	8 5.7	10 7.1	8 5.7	7 5.0	7 5.0	8 5.7	15 10.6	17 12.1	7 5.0	4 2.8	-	4 2.8	1 0.7	9 6.4	57 40.4	2 1.4
	40～49歳	164 100.0	38 23.2	14 8.5	11 6.7	18 11.0	12 7.3	16 9.8	11 6.7	3 1.8	10 6.1	3 1.8	6 3.7	5 3.0	1 0.6	4 2.4	2 1.2	6 3.7	64 39.0	5 3.0
	50～59歳	152 100.0	52 34.2	23 15.1	10 6.6	17 11.2	13 8.6	12 7.9	8 5.3	8 5.3	2 1.3	3 2.0	9 5.9	7 4.6	-	5 3.3	5 3.3	11 7.2	35 23.0	5 3.3
	60～69歳	181 100.0	77 42.5	28 15.5	19 10.5	19 10.5	14 7.7	18 9.9	15 8.3	13 7.2	3 1.7	3 1.7	7 3.9	4 2.2	2 1.1	4 2.2	2 1.1	4 2.2	54 29.8	2 1.1
	70歳以上	232 100.0	101 43.5	54 23.3	20 8.6	12 5.2	14 6.0	13 5.6	14 6.0	6 2.6	-	1 0.4	1 0.4	3 1.3	23 9.9	2 0.9	5 2.2	24 10.3	52 22.4	11 4.7
	地区	錦町	132 100.0	30 22.7	15 11.4	7 5.3	13 9.8	8 6.1	7 5.3	8 6.1	6 4.5	9 6.8	8 6.1	4 3.0	5 3.8	5 3.8	3 2.3	1 0.8	13 9.8	46 34.8
北町		170 100.0	58 34.1	23 13.5	16 9.4	14 8.2	9 5.3	16 9.4	9 5.3	7 4.1	8 4.7	7 4.1	11 6.5	6 3.5	6 3.5	9 5.3	3 1.8	9 5.3	50 29.4	3 1.8
中央		274 100.0	100 36.5	41 15.0	21 7.7	24 8.8	22 8.0	23 8.4	21 7.7	13 4.7	8 2.9	9 3.3	14 5.1	9 3.3	2 0.7	6 2.2	2 0.7	15 5.5	77 28.1	10 3.6
南町		172 100.0	64 37.2	28 16.3	25 14.5	16 9.3	15 8.7	13 7.6	6 3.5	6 3.5	5 2.9	8 4.7	5 2.9	5 2.9	5 2.9	2 1.2	3 1.7	10 5.8	45 26.2	5 2.9
塚越		222 100.0	71 32.0	31 14.0	15 6.8	15 6.8	24 10.8	15 6.8	17 7.7	13 5.9	11 5.0	7 3.2	3 1.4	5 2.3	8 3.6	6 2.7	7 3.2	19 8.6	67 30.2	2 0.9

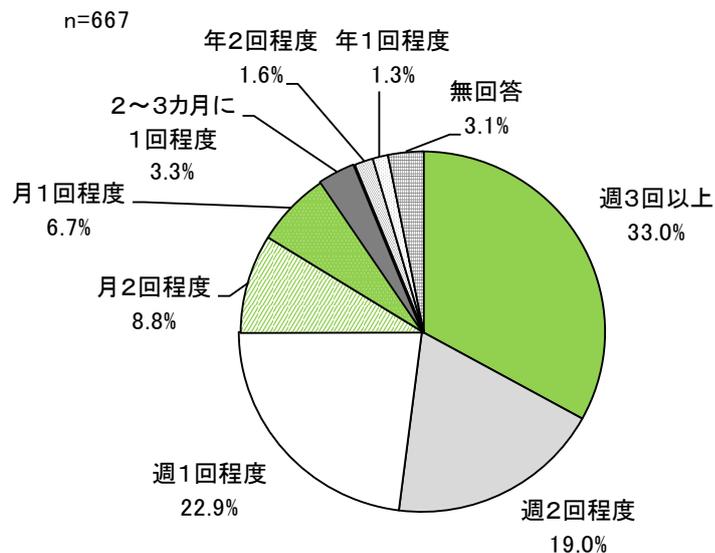
性別にみると、男性は「ゴルフ」が女性より12.9ポイント上回り、女性は「体操(軽体操・エアロビなど)」が男性より10.2ポイント上回っています。また、女性は「何もしていない」が男性を11.4ポイント上回っており、女性は運動習慣のない人が多い傾向がみられます。

年齢別にみると、60歳代および70歳以上では「ウォーキング」が全体の回答割合より9～10ポイント程度上回っています。また、70歳以上では「体操(軽体操・エアロビなど)」も全体の回答割合より8.9ポイント上回っています。一方、30～40歳代では、「何もしていない」が約40%で、全体の回答割合を9～11ポイント程度上回っており、他の年代と比べて、運動習慣のない人が多い傾向がみられます。

地区別にみると、錦町地区では「何もしていない」が34.8%で、全体の回答割合5.4ポイント上回り、他の地区に比べて多くなっています。

問14で「1～16」と答えた方のみご回答ください。

問15 あなたは、どのくらいの頻度で運動・スポーツをしていますか。(〇印は1つ)



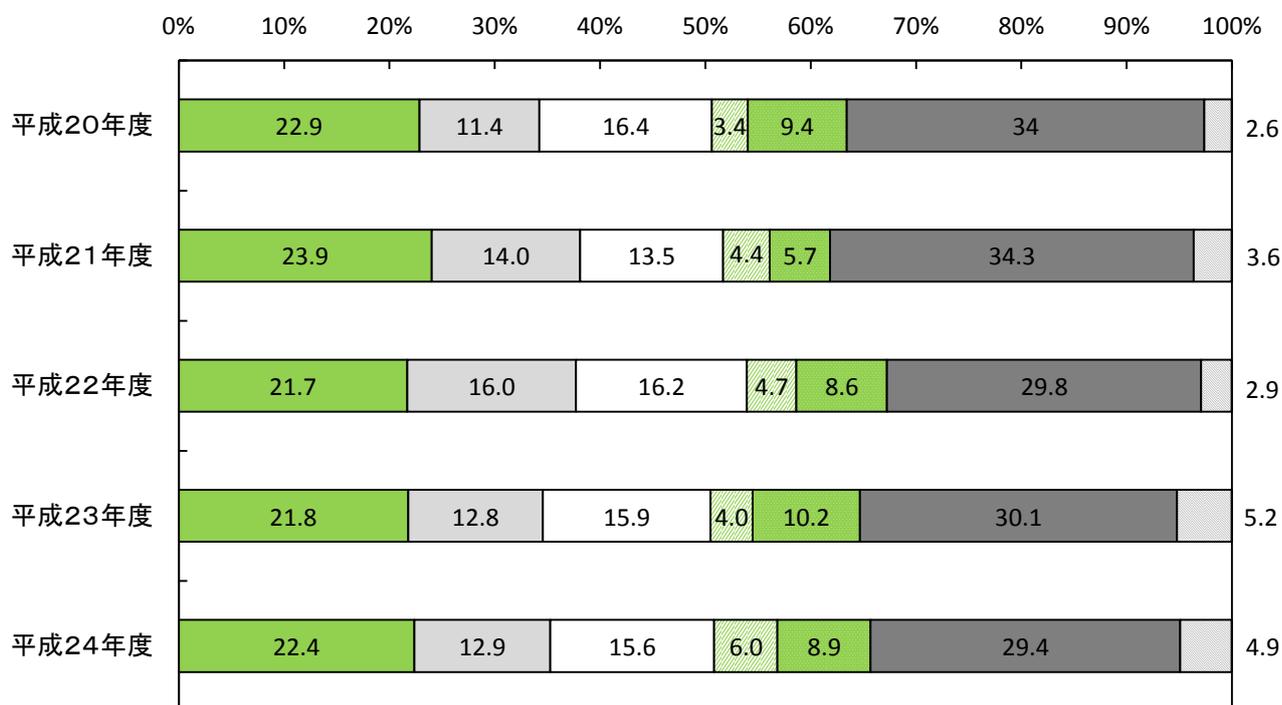
運動・スポーツをする頻度については、「週3回以上」が33.0%、次いで「週1回程度」が22.9%、「週2回程度」が19.0%となっています。

運動習慣のある人のうち、週1回以上の運動・スポーツをしている人は74.9%となっています。

<経年比較>

●運動・スポーツをしている頻度(平成20年度からの推移)

■週3回以上 □週2回程度 □週1回程度 ▨月2回程度 ■月1回程度以下他 ■何もしていない □無回答



※ここでの割合は、運動をしていない人も含めて、回答者全体を分母として割合を出していますので、運動をしている人だけを対象とした問15の割合と数字が異なります。

運動習慣のない人も含めて、平成20年度からの推移をみると、週1回以上の運動・スポーツをしている割合は50%前後で推移しています。一方、日常的に運動・スポーツをしていない人は、30%前後で推移しています。

<属性別> ※網掛けは各属性での最上位を表す

		全体	週3回以上	週2回程度	週1回程度	月2回程度	月1回程度	2〜3カ月に1回程度	年2回程度	年1回程度	無回答
全体		667 100.0	220 33.0	127 19.0	153 22.9	59 8.8	45 6.7	22 3.3	11 1.6	9 1.3	21 3.1
性別	男	320 100.0	103 32.2	57 17.8	74 23.1	33 10.3	25 7.8	9 2.8	7 2.2	6 1.9	6 1.9
	女	336 100.0	114 33.9	69 20.5	79 23.5	25 7.4	18 5.4	13 3.9	4 1.2	2 0.6	12 3.6
年齢	20～29歳	76 100.0	17 22.4	10 13.2	19 25.0	13 17.1	6 7.9	9 11.8	1 1.3	1 1.3	- -
	30～39歳	82 100.0	16 19.5	15 18.3	21 25.6	15 18.3	10 12.2	- -	2 2.4	2 2.4	1 1.2
	40～49歳	95 100.0	18 18.9	19 20.0	28 29.5	7 7.4	11 11.6	4 4.2	4 4.2	3 3.2	1 1.1
	50～59歳	112 100.0	35 31.3	19 17.0	30 26.8	10 8.9	7 6.3	6 5.4	2 1.8	- -	3 2.7
	60～69歳	125 100.0	53 42.4	35 28.0	20 16.0	6 4.8	6 4.8	- -	1 0.8	2 1.6	2 1.6
	70歳以上	169 100.0	79 46.7	27 16.0	34 20.1	7 4.1	4 2.4	3 1.8	1 0.6	1 0.6	13 7.7
地区	錦町	80 100.0	22 27.5	18 22.5	15 18.8	8 10.0	3 3.8	5 6.3	3 3.8	3 3.8	3 3.8
	北町	117 100.0	46 39.3	23 19.7	19 16.2	10 8.5	8 6.8	3 2.6	3 2.6	2 1.7	3 2.6
	中央	187 100.0	64 34.2	36 19.3	50 26.7	10 5.3	17 9.1	5 2.7	1 0.5	1 0.5	3 1.6
	南町	122 100.0	43 35.2	23 18.9	25 20.5	15 12.3	6 4.9	3 2.5	1 0.8	2 1.6	4 3.3
	塚越	153 100.0	43 28.1	25 16.3	43 28.1	15 9.8	10 6.5	6 3.9	3 2.0	1 0.7	7 4.6

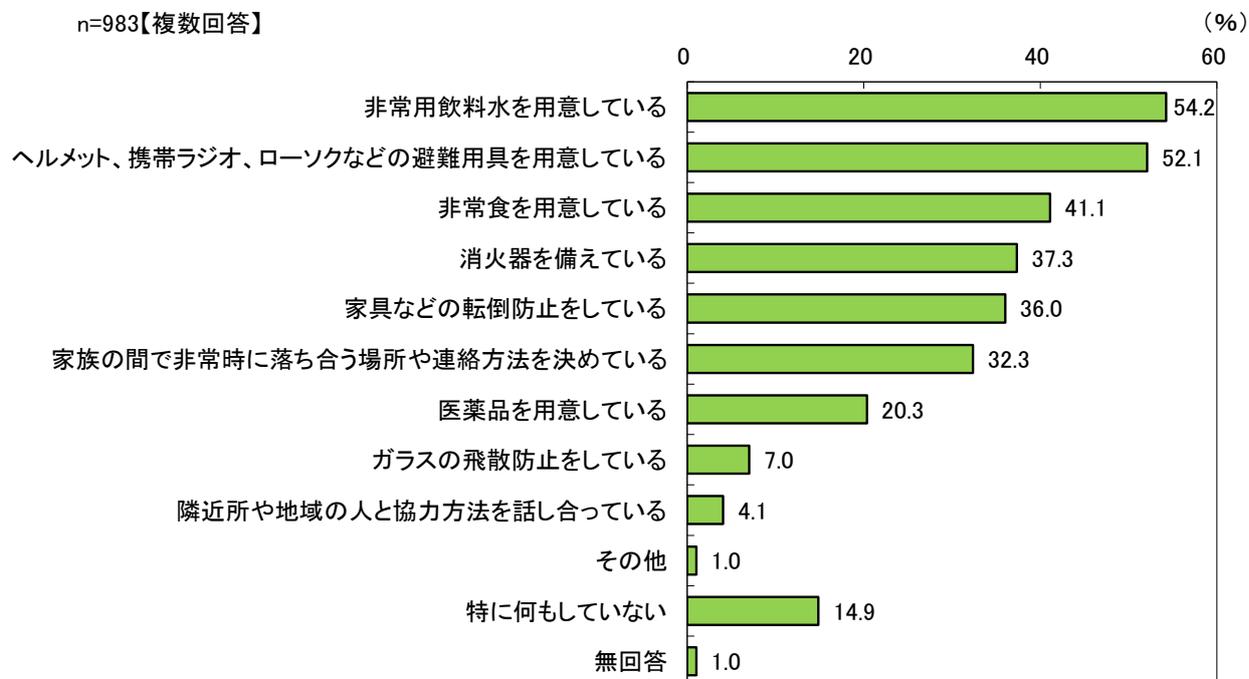
性別にみて、回答傾向に大きな違いはみられません。

年齢別にみると、運動・スポーツをしている人のうち、20～40歳代では「週1回程度」が25～30%程度で最も多く、50～70歳以上では「週3回以上」が30～50%程度で最も多くなっています。特に、60歳代および70歳以上では、週1回以上運動している人が80%を超えています。

地区別にみると、北町地区では「週3回以上」39.3%で、全体の回答割合を6.3ポイント上回っており、他の地区と比べて多くなっています。

(4) 防災について

問16 あなたの家では、地震などの災害に備えて何か準備をしていますか。あてはまるものをお選びください。(〇印はいくつでも)



災害への備えについて、「非常用飲料水を用意している」が54.2%、「ヘルメット、携帯ラジオ、ローソクなどの避難用具を用意している」が52.1%でそれぞれ半数を超えています。次いで、「非常食を用意している」(41.1%)、「消火器を備えている」(37.3%)、「家具などの転倒防止をしている」(36.0%)が40%程度となっています。

一方、「特に何もしていない」は14.9%にとどまっており、概ね85%以上の人が災害への何らかの備えをしています。

<経年比較>

●災害に備えて準備していること上位5位(平成20年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成20年度	消火器を備えている 43.1%	非常用飲料水を用意している 39.5%	ヘルメット、携帯ラジオ、ローソクなどの避難用具を用意している 33.2%	非常食を用意している 27.8%	家具などの転倒防止をしている 27.0%
平成21年度	消火器を備えている 42.6%	非常用飲料水を用意している 34.0%	ヘルメット、携帯ラジオ、ローソクなどの避難用具を用意している 33.8%	非常食を用意している 26.8%	家具などの転倒防止をしている 25.7%
平成22年度	消火器を備えている 39.8%	ヘルメット、携帯ラジオ、ローソクなどの避難用具を用意している 35.1%	非常用飲料水を用意している 32.7%	家具などの転倒防止をしている 28.8%	非常食を用意している 24.3%
平成23年度	ヘルメット、携帯ラジオ、ローソクなどの避難用具を用意している 60.9%	非常用飲料水を用意している 53.1%	非常食を用意している 40.8%	消火器を備えている 40.3%	家具などの転倒防止をしている 35.8%
平成24年度	非常用飲料水を用意している 54.2%	ヘルメット、携帯ラジオ、ローソクなどの避難用具を用意している 52.1%	非常食を用意している 41.1%	消火器を備えている 37.3%	家具などの転倒防止をしている 36.0%

平成20年度からの推移をみると、平成23年度以降、全体的に割合が増加しており、「消火器を備えている」に代わり、「非常用飲料水を用意している」「ヘルメット、携帯ラジオ、ローソクなどの避難用具を用意している」「非常食を用意している」など、災害時の食料や避難用具等を備える割合が増加しています。

<属性別>

※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

		全体	非常用飲料水を用意している	ヘルメット、携帯ラジオ、ローソクなどの避難用具を用意している	非常食を用意している	消火器を備えている	家具などの転倒防止をしている	家族の間で非常時に落ち合う場所や連絡方法を決めている	医薬品を用意している	ガラスの飛散防止をしている	話し合っている	隣近所や地域の人と協力方法を	その他	特に何もしていない	無回答
全体		983 100.0	533 54.2	512 52.1	404 41.1	367 37.3	354 36.0	318 32.3	200 20.3	69 7.0	40 4.1	10 1.0	146 14.9	10 1.0	
性別	男	427 100.0	207 48.5	214 50.1	171 40.0	163 38.2	147 34.4	118 27.6	91 21.3	27 6.3	17 4.0	2 0.5	80 18.7	3 0.7	
	女	538 100.0	320 59.5	295 54.8	230 42.8	199 37.0	199 37.0	197 36.6	108 20.1	40 7.4	22 4.1	8 1.5	64 11.9	5 0.9	
年齢	20～29歳	101 100.0	43 42.6	36 35.6	38 37.6	19 18.8	28 27.7	23 22.8	8 7.9	4 4.0	1 1.0	-	30 29.7	-	
	30～39歳	141 100.0	73 51.8	63 44.7	63 44.7	24 17.0	46 32.6	50 35.5	23 16.3	12 8.5	3 2.1	2 1.4	20 14.2	2 1.4	
	40～49歳	164 100.0	96 58.5	98 59.8	81 49.4	56 34.1	57 34.8	65 39.6	40 24.4	14 8.5	6 3.7	1 0.6	26 15.9	-	
	50～59歳	152 100.0	93 61.2	88 57.9	77 50.7	64 42.1	63 41.4	57 37.5	37 24.3	10 6.6	3 2.0	-	14 9.2	1 0.7	
	60～69歳	181 100.0	95 52.5	98 54.1	62 34.3	78 43.1	72 39.8	56 30.9	29 16.0	11 6.1	5 2.8	2 1.1	29 16.0	1 0.6	
	70歳以上	232 100.0	127 54.7	126 54.3	80 34.5	122 52.6	83 35.8	63 27.2	63 27.2	16 6.9	22 9.5	5 2.2	27 11.6	6 2.6	
地区	錦町	132 100.0	76 57.6	68 51.5	54 40.9	51 38.6	42 31.8	47 35.6	26 19.7	9 6.8	4 3.0	2 1.5	19 14.4	2 1.5	
	北町	170 100.0	97 57.1	94 55.3	81 47.6	54 31.8	61 35.9	50 29.4	30 17.6	14 8.2	12 7.1	1 0.6	23 13.5	-	
	中央	274 100.0	145 52.9	143 52.2	111 40.5	100 36.5	100 36.5	82 29.9	55 20.1	17 6.2	8 2.9	2 0.7	43 15.7	6 2.2	
	南町	172 100.0	102 59.3	98 57.0	70 40.7	72 41.9	65 37.8	58 33.7	40 23.3	10 5.8	5 2.9	2 1.2	17 9.9	1 0.6	
	塚越	222 100.0	107 48.2	106 47.7	84 37.8	85 38.3	79 35.6	78 35.1	49 22.1	17 7.7	11 5.0	3 1.4	43 19.4	1 0.5	

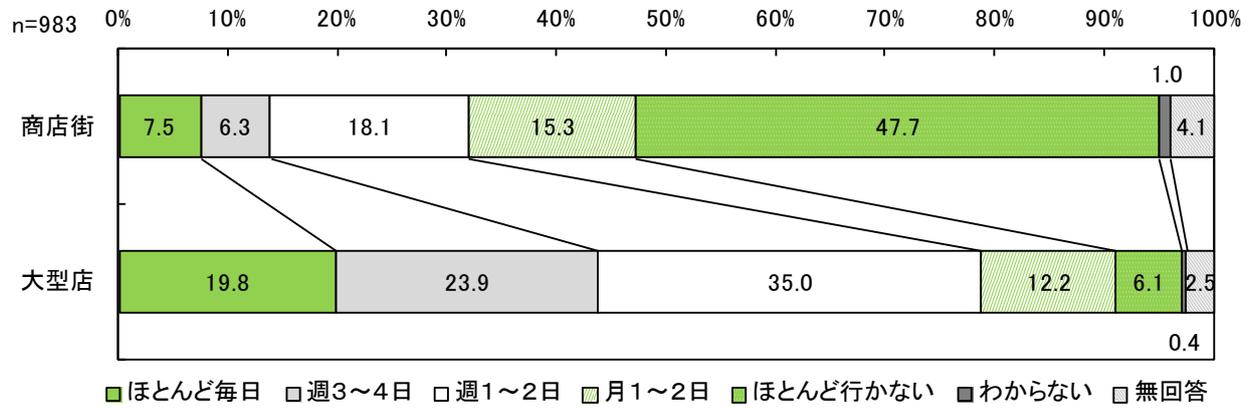
性別にみると、女性は「非常用飲料水を用意している」が男性より11ポイント上回っています。

年齢別にみると、40～50歳代では、「非常用飲料水を用意している」や「ヘルメット、携帯ラジオ、ローソクなどの避難用具を用意している」が60%近くに達しており、また、「非常食を用意している」も50%近くに達しており、他の年代に比べて、防災意識が高いことが伺えます。一方、「消火器を備えている」は、年代が上がるほど多くなっています。

地区別にみると、北町地区では「非常食を用意している」が47.6%で他の地区に比べて多い一方、「消火器を備えている」は31.8%で他の地区に比べて少なくなっています。塚越地区は他の地区に比べて、上位項目の回答割合が少ない傾向がみられ、災害時の備えを「特に何もしていない」が19.4%となっています。

(5) まちのにぎわいについて

問17 買い物について伺います。あなたが市内の商店街や大型店（スーパーマーケット、デパート）へ行く頻度について、あてはまるものをお選びください。（○印はそれぞれ1つ）



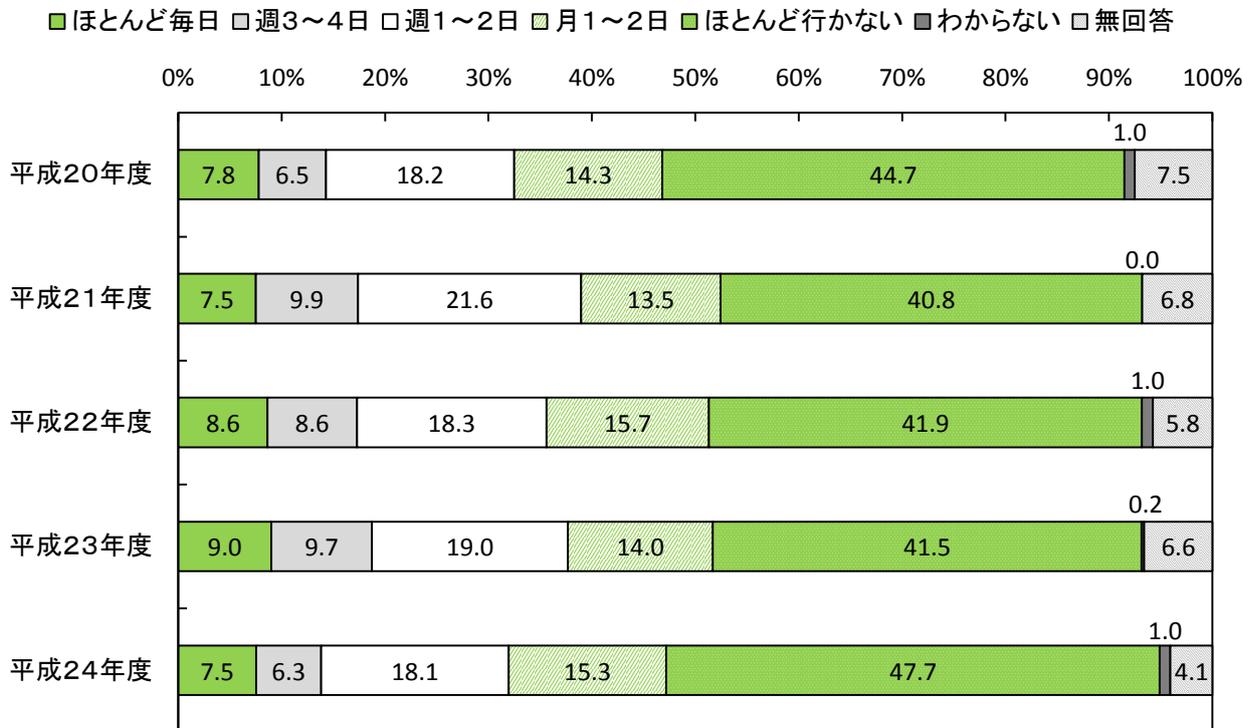
市内の商店街や大型店（スーパーマーケット、デパート）へ行く頻度について、「ほとんど毎日」「週3~4日」「週1~2日」の合計は、商店街が31.9%に対して、大型店は78.7%で2倍以上となっています。

また、「ほとんど行かない」は、商店街が47.7%に対し、大型店は6.1%となっています。

(5) - ①商店街

<経年比較>

●商店街に買い物に行く頻度(平成20年度からの推移)



平成20年度からの推移をみると、商店街に週1回以上行く割合は30~40%程度で推移しています。一方、商店街に「ほとんど行かない」は40%台前半から後半へ推移しており、増加傾向がみられます。

<属性別> ※網掛けは各属性での最上位を表す

		全体	ほとんど毎日	週3～4日	週1～2日	月1～2日	ほとんど行かない	わからない	無回答
全体		983 100.0	74 7.5	62 6.3	178 18.1	150 15.3	469 47.7	10 1.0	40 4.1
性別	男	427 100.0	32 7.5	24 5.6	78 18.3	64 15.0	206 48.2	3 0.7	20 4.7
	女	538 100.0	38 7.1	34 6.3	97 18.0	83 15.4	260 48.3	7 1.3	19 3.5
年齢	20～29歳	101 100.0	6 5.9	2 2.0	10 9.9	12 11.9	68 67.3	2 2.0	1 1.0
	30～39歳	141 100.0	4 2.8	3 2.1	21 14.9	19 13.5	85 60.3	3 2.1	6 4.3
	40～49歳	164 100.0	8 4.9	7 4.3	23 14.0	23 14.0	99 60.4	3 1.8	1 0.6
	50～59歳	152 100.0	5 3.3	10 6.6	28 18.4	25 16.4	80 52.6	- -	4 2.6
	60～69歳	181 100.0	14 7.7	14 7.7	38 21.0	36 19.9	73 40.3	1 0.6	5 2.8
	70歳以上	232 100.0	36 15.5	25 10.8	55 23.7	33 14.2	60 25.9	1 0.4	22 9.5
地区	錦町	132 100.0	1 0.8	5 3.8	17 12.9	22 16.7	81 61.4	1 0.8	5 3.8
	北町	170 100.0	10 5.9	14 8.2	29 17.1	31 18.2	79 46.5	3 1.8	4 2.4
	中央	274 100.0	23 8.4	22 8.0	53 19.3	43 15.7	124 45.3	1 0.4	8 2.9
	南町	172 100.0	17 9.9	13 7.6	32 18.6	21 12.2	79 45.9	2 1.2	8 4.7
	塚越	222 100.0	22 9.9	7 3.2	44 19.8	31 14.0	101 45.5	3 1.4	14 6.3

性別にみて、回答傾向に大きな違いはみられません。

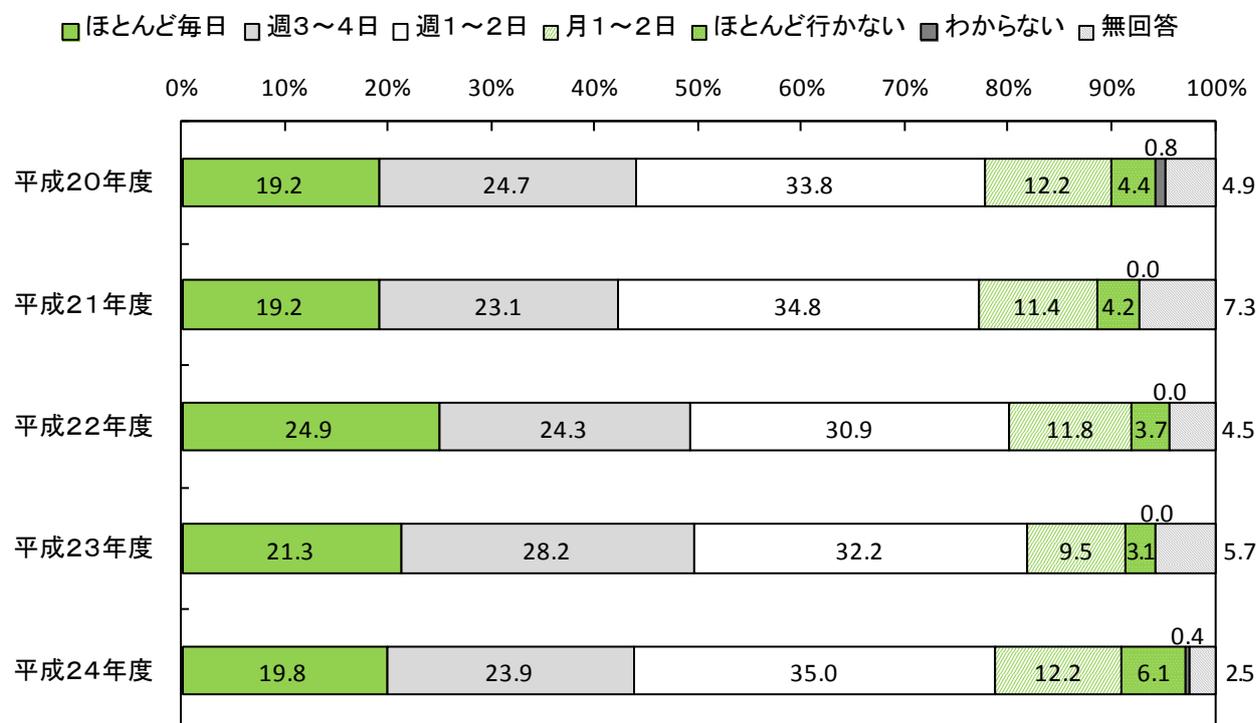
年齢別にみると、20～40歳代では、商店街に「ほとんど行かない」が60%を超えています。一方、60歳代では、週1回以上行く割合は36.4%、70歳以上では、50.0%となっており、年齢が高いほど、商店街を利用する頻度が高いことがわかります。

地区別にみると、中央地区と南町地区では、週1回以上行く割合が35%を超え、他の地区に比べて多くなっています。一方、錦町地区では、「ほとんど行かない」が61.4%となっています。

(5) -②大型店

<経年比較>

●大型店に買い物に行く頻度(平成20年度からの推移)



平成20年度からの推移をみると、大型店に週1回以上行く割合は80%程度で推移しています。

<属性別> ※網掛けは各属性での最上位を表す

		全体	ほとんど毎日	週3～4日	週1～2日	月1～2日	ほとんど行かない	わからない	無回答
全体		983 100.0	195 19.8	235 23.9	344 35.0	120 12.2	60 6.1	4 0.4	25 2.5
性別	男	427 100.0	71 16.6	84 19.7	167 39.1	62 14.5	33 7.7	1 0.2	9 2.1
	女	538 100.0	119 22.1	149 27.7	172 32.0	55 10.2	26 4.8	2 0.4	15 2.8
年齢	20～29歳	101 100.0	11 10.9	17 16.8	34 33.7	26 25.7	11 10.9	-	2 2.0
	30～39歳	141 100.0	24 17.0	34 24.1	61 43.3	12 8.5	5 3.5	1 0.7	4 2.8
	40～49歳	164 100.0	35 21.3	37 22.6	66 40.2	16 9.8	7 4.3	1 0.6	2 1.2
	50～59歳	152 100.0	31 20.4	45 29.6	49 32.2	17 11.2	8 5.3	-	2 1.3
	60～69歳	181 100.0	50 27.6	51 28.2	54 29.8	15 8.3	9 5.0	-	2 1.1
	70歳以上	232 100.0	41 17.7	50 21.6	75 32.3	32 13.8	19 8.2	2 0.9	13 5.6
地区	錦町	132 100.0	27 20.5	31 23.5	43 32.6	18 13.6	9 6.8	-	4 3.0
	北町	170 100.0	20 11.8	45 26.5	68 40.0	21 12.4	12 7.1	1 0.6	3 1.8
	中央	274 100.0	52 19.0	68 24.8	100 36.5	34 12.4	12 4.4	-	8 2.9
	南町	172 100.0	39 22.7	36 20.9	53 30.8	22 12.8	14 8.1	2 1.2	6 3.5
	塚越	222 100.0	55 24.8	52 23.4	75 33.8	24 10.8	11 5.0	1 0.5	4 1.8

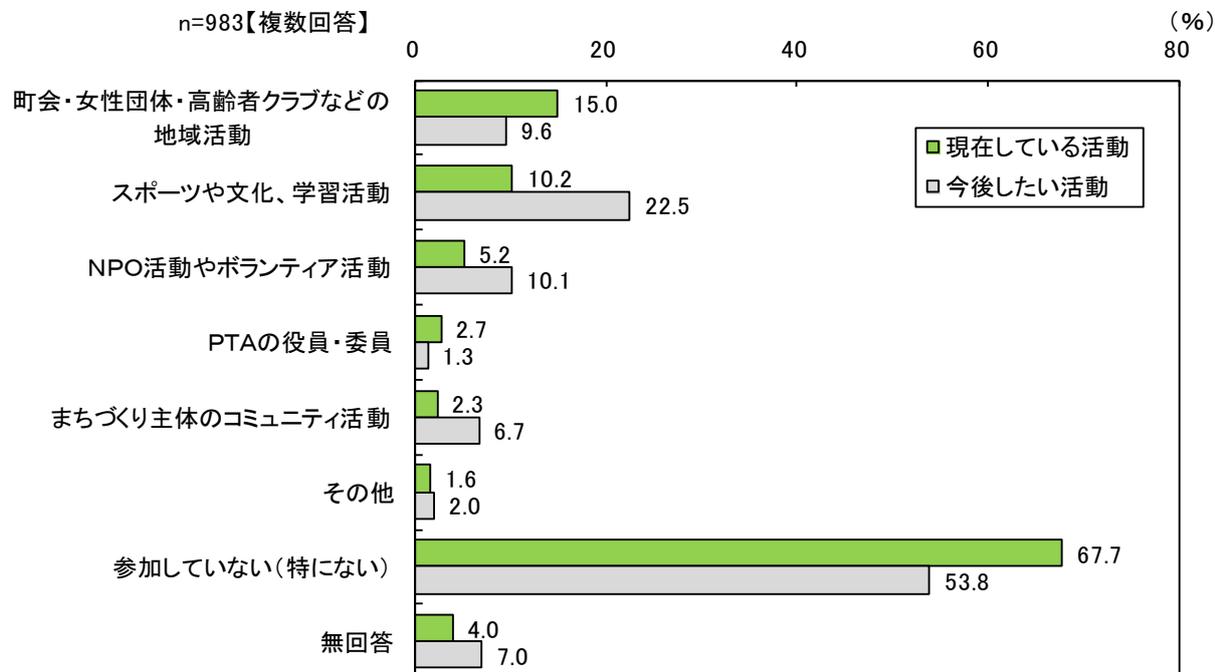
性別にみると、女性は「ほとんど毎日」「週3～4日」が20%を超え、男性よりも大型店を利用する頻度が高くなっています。

年齢別にみると、大型店に週1回以上行く割合は、20歳代で60%台、30～60歳代では80%台、70歳以上では70%台となっており、年代によって大型店の利用頻度に違いがみられます。

地区別にみると、週1回以上行く割合が、南町地区では74.4%で最も少なく、塚越地区では82.0%で最も多くなっています。

(6) 市民参画・協働について

問18 あなたは現在、お住まいの地域等で何か活動をしていますか。また、今後したいと思う活動は何ですか。それぞれあてはまるものをお選びください。(〇印はそれぞれいくつでも)



現在、地域での活動に「参加していない」は67.7%となっています。活動に参加している人の中では、「町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動」が15.0%で最も多く、次いで「スポーツや文化、学習活動」が10.2%となっています。

一方、今後したい活動としては、「スポーツや文化、学習活動」が22.5%で最も多く、現在の参加状況と比べると2倍以上となっています。また、「NPO活動やボランティア活動」(10.1%)、「まちづくり主体のコミュニティ活動」(6.7%)なども現状より参加意向が多くなっています。

現在は活動に参加していない人の中にも、今後活動したいという人はいて、特にスポーツ・文化活動への関心が高いことがわかります。

(6) - ①現在している市民活動

<経年比較>

●現在している市民活動上位5位(平成20年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位	参加していない
平成20年度	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 11.9%	スポーツや文化、学習活動 9.4%	NPO活動やボランティア活動 4.4%	PTAの役員・委員 4.2%	まちづくり主体のコミュニティ活動 1.8%	69.6%
平成21年度	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 16.6%	スポーツや文化、学習活動 9.1%	NPO活動やボランティア活動 6.5%	PTAの役員・委員 まちづくり主体のコミュニティ活動 2.9%		67.3%
平成22年度	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 16.5%	スポーツや文化、学習活動 11.0%	PTAの役員・委員 3.9%	NPO活動やボランティア活動 3.4%	まちづくり主体のコミュニティ活動 2.4%	60.2%
平成23年度	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 15.2%	スポーツや文化、学習活動 8.8%	NPO活動やボランティア活動 4.7%	PTAの役員・委員 3.8%	まちづくり主体のコミュニティ活動 3.3%	63.0%
平成24年度	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 15.0%	スポーツや文化、学習活動 10.2%	NPO活動やボランティア活動 5.2%	PTAの役員・委員 2.7%	まちづくり主体のコミュニティ活動 2.3%	67.7%

※「その他」・「無回答」は除く

平成20年度からの推移をみると、回答傾向に大きな違いはみられません。「参加していない」は60～70%程度で推移しており、活動の参加者が増えていない現状が伺えます。

<属性別>

※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

		全体	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動	スポーツや文化、学習活動	NPO活動やボランティア活動	PTAの役員・委員	まちづくり主体のコミュニティ活動	その他	参加していない	無回答
全体		983 100.0	147 15.0	100 10.2	51 5.2	27 2.7	23 2.3	16 1.6	665 67.7	39 4.0
性別	男	427 100.0	64 15.0	39 9.1	26 6.1	3 0.7	14 3.3	6 1.4	303 71.0	14 3.3
	女	538 100.0	81 15.1	57 10.6	24 4.5	24 4.5	7 1.3	10 1.9	352 65.4	23 4.3
年齢	20～29歳	101 100.0	2 2.0	6 5.9	3 3.0	2 2.0	1 1.0	-	94 93.1	-
	30～39歳	141 100.0	12 8.5	7 5.0	3 2.1	6 4.3	1 0.7	2 1.4	112 79.4	4 2.8
	40～49歳	164 100.0	18 11.0	8 4.9	4 2.4	17 10.4	1 0.6	3 1.8	120 73.2	3 1.8
	50～59歳	152 100.0	24 15.8	15 9.9	11 7.2	2 1.3	4 2.6	1 0.7	107 70.4	-
	60～69歳	181 100.0	30 16.6	23 12.7	14 7.7	-	6 3.3	3 1.7	115 63.5	7 3.9
	70歳以上	232 100.0	60 25.9	38 16.4	15 6.5	-	9 3.9	7 3.0	109 47.0	24 10.3
地区	錦町	132 100.0	25 18.9	8 6.1	9 6.8	3 2.3	6 4.5	3 2.3	85 64.4	5 3.8
	北町	170 100.0	25 14.7	22 12.9	11 6.5	6 3.5	2 1.2	4 2.4	114 67.1	4 2.4
	中央	274 100.0	38 13.9	32 11.7	12 4.4	6 2.2	4 1.5	3 1.1	187 68.2	11 4.0
	南町	172 100.0	25 14.5	17 9.9	12 7.0	7 4.1	6 3.5	4 2.3	109 63.4	9 5.2
	塚越	222 100.0	32 14.4	17 7.7	6 2.7	5 2.3	4 1.8	2 0.9	162 73.0	9 4.1

性別にみると、男性は「参加していない」が女性を5.6ポイント上回っており、地域活動への参加者が少ない傾向がみられます。

年齢別にみると、年代が上がるほど、「町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動」や「スポーツや文化、学習活動」に参加している割合が高くなっています。

地区別にみると、塚越地区では「参加していない」が73.0%で、全体の回答割合を5.3ポイント上回っており、他の地区に比べ、地域活動への参加者が少ない傾向がみられます。

(6) -②今後したいと思う市民活動

<経年比較>

●今後したいと思う市民活動上位5位(平成20年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位	特にない
平成20年度	スポーツや文化、学習活動 21.0%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 12.2%	NPO活動やボランティア活動 11.7%	まちづくり主体のコミュニティ活動 8.1%	PTAの役員・委員 2.3%	54.3%
平成21年度	スポーツや文化、学習活動 22.9%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 14.5%	NPO活動やボランティア活動 11.9%	まちづくり主体のコミュニティ活動 9.6%	PTAの役員・委員 1.8%	51.7%
平成22年度	スポーツや文化、学習活動 24.3%	NPO活動やボランティア活動 8.6%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 8.4%	まちづくり主体のコミュニティ活動 6.5%	PTAの役員・委員 0.5%	49.5%
平成23年度	スポーツや文化、学習活動 20.4%	NPO活動やボランティア活動 9.2%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 8.8%	まちづくり主体のコミュニティ活動 8.3%	PTAの役員・委員 0.7%	53.3%
平成24年度	スポーツや文化、学習活動 22.5%	NPO活動やボランティア活動 10.1%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 9.6%	まちづくり主体のコミュニティ活動 6.7%	PTAの役員・委員 1.3%	53.8%

※「その他」・「無回答」は除く

平成20年度からの推移をみると、回答傾向に大きな違いはみられません。今後したい市民活動は「特にない」が50%前後で推移しています。

<属性別>

※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

		全体	動 スポーツや文化、学習活 動	NPO活動やボランティア 活動	町会・女性団体・高齢者 クラブなどの地域活動	まちづくり主体のコミュニ ティ活動	PTAの役員・委員	その他	特 に ない	無 回 答
全体		983 100.0	221 22.5	99 10.1	94 9.6	66 6.7	13 1.3	20 2.0	529 53.8	69 7.0
性別	男	427 100.0	94 22.0	36 8.4	31 7.3	39 9.1	2 0.5	8 1.9	249 58.3	22 5.2
	女	538 100.0	124 23.0	61 11.3	63 11.7	26 4.8	11 2.0	12 2.2	273 50.7	41 7.6
年齢	20～29歳	101 100.0	30 29.7	10 9.9	3 3.0	8 7.9	1 1.0	4 4.0	56 55.4	- -
	30～39歳	141 100.0	29 20.6	10 7.1	10 7.1	5 3.5	7 5.0	2 1.4	87 61.7	9 6.4
	40～49歳	164 100.0	34 20.7	12 7.3	12 7.3	10 6.1	3 1.8	1 0.6	98 59.8	5 3.0
	50～59歳	152 100.0	43 28.3	22 14.5	16 10.5	13 8.6	1 0.7	6 3.9	77 50.7	3 2.0
	60～69歳	181 100.0	48 26.5	27 14.9	20 11.0	12 6.6	1 0.6	1 0.6	90 49.7	10 5.5
	70歳以上	232 100.0	35 15.1	15 6.5	33 14.2	17 7.3	- -	6 2.6	116 50.0	40 17.2
地区	錦町	132 100.0	29 22.0	14 10.6	14 10.6	8 6.1	1 0.8	7 5.3	63 47.7	9 6.8
	北町	170 100.0	50 29.4	19 11.2	15 8.8	14 8.2	1 0.6	3 1.8	88 51.8	10 5.9
	中央	274 100.0	60 21.9	33 12.0	21 7.7	15 5.5	6 2.2	3 1.1	149 54.4	21 7.7
	南町	172 100.0	38 22.1	15 8.7	23 13.4	16 9.3	3 1.7	4 2.3	91 52.9	11 6.4
	塚越	222 100.0	42 18.9	15 6.8	21 9.5	12 5.4	2 0.9	3 1.4	133 59.9	15 6.8

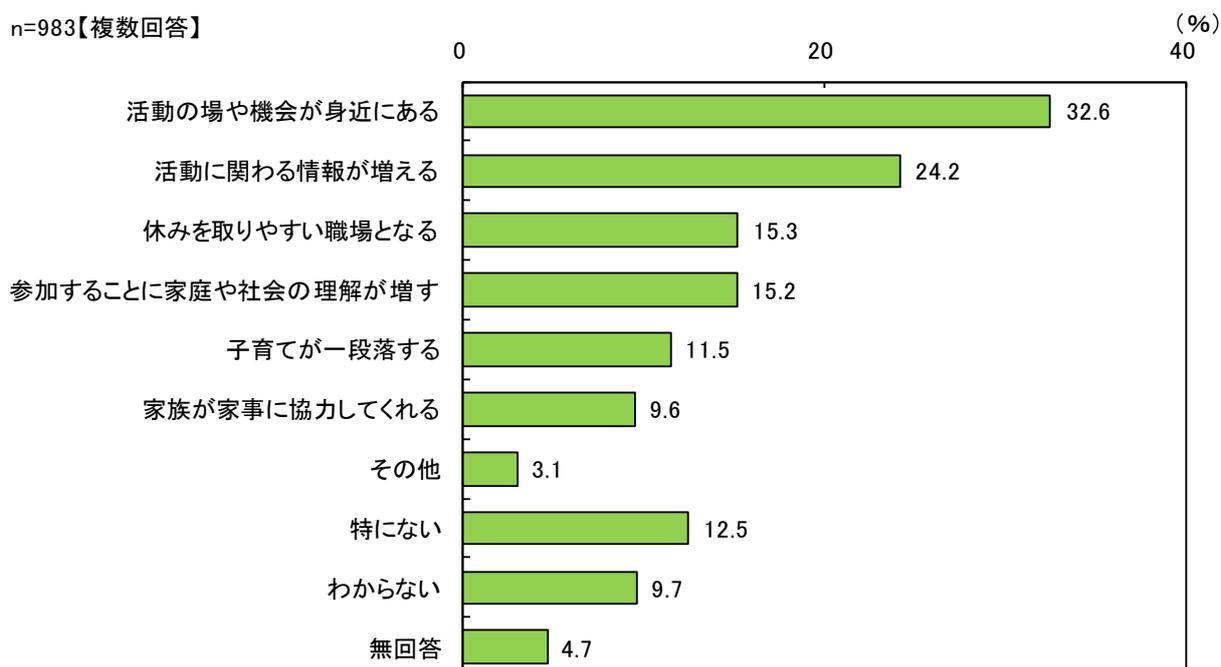
性別にみると、男性は「特にない」が女性を7.6ポイント上回っています。

年齢別にみると、20歳代および50歳代では、「スポーツや文化、学習活動」が全体の回答割合より5ポイント以上上回っており、他の年代に比べて多くなっています。一方、30～40歳代では、「特にない」が60%程度で、他の年代に比べて、今後活動したいものはないという人が多くなっています。

地区別にみると、北町地区では、「スポーツや文化、学習活動」が全体の回答割合より6.9ポイント上回って、他の地区に比べて多くなっています。一方、塚越地区では「特にない」が59.9%で、他の地区に比べて、今後活動したいものはないという人が多くなっています。

問19 上記のような活動に参加しやすくするためには、どのような環境が必要だと思いますか。
(〇印は2つ以内)

n=983【複数回答】



地域での活動に参加しやすくするために必要なこととしては、「活動の場や機会が身近にある」が 32.6%で最も多く、次いで「活動に関わる情報が増える」が 24.2%となっています。このほか、「休みを取りやすい職場となる」(15.3%)、「参加することに家庭や社会の理解が増す」(15.2%)が続いています。

今後、地域活動への参加を増やすには、活動の場の充実や情報発信が必要で、このほか、職場や家庭など社会全体の理解が必要と考えられています。

<経年比較>

●市民活動に参加しやすくなる環境上位5位(平成20年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成20年度	活動の場や機会が身近にある 33.8%	活動に関わる情報が増える 27.0%	参加することに家庭や社会の理解が増す 15.1%	仕事を休みやすい職場となる 13.0%	子育てが一段落する 11.2%
平成21年度	活動の場や機会が身近にある 35.6%	活動に関わる情報が増える 23.9%	参加することに家庭や社会の理解が増す 18.2%	子育てが一段落する 14.5%	仕事を休みやすい職場となる 14.0%
平成22年度	活動の場や機会が身近にある 34.6%	活動に関わる情報が増える 27.0%	参加することに家庭や社会の理解が増す 15.2%	子育てが一段落する 14.4%	家事を家族が協力してくれる 9.7%
平成23年度	活動の場や機会が身近にある 34.1%	活動に関わる情報が増える 27.5%	参加することに家庭や社会の理解が増す 12.1%	仕事を休みやすい職場となる 子育てが一段落する 11.6%	
平成24年度	活動の場や機会が身近にある 32.6%	活動に関わる情報が増える 24.2%	休みを取りやすい職場となる 15.3%	参加することに家庭や社会の理解が増す 15.2%	子育てが一段落する 11.5%

平成20年度からの推移をみると、回答傾向に大きな違いはみられません。

<属性別>

※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

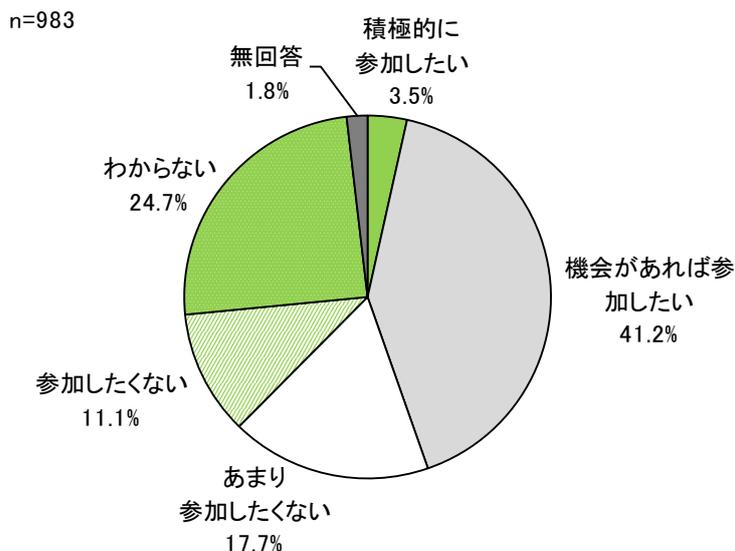
		全体	活動の場や機会が身近にある	活動に関わる情報が増える	休みを取りやすい職場となる	参加することに家庭や社会の理解が増す	子育てが一段落する	家族が家事に協力してくれる	その他	特にない	わからない	無回答
全体		983 100.0	320 32.6	238 24.2	150 15.3	149 15.2	113 11.5	94 9.6	30 3.1	123 12.5	95 9.7	46 4.7
性別	男	427 100.0	140 32.8	110 25.8	77 18.0	63 14.8	32 7.5	19 4.4	15 3.5	64 15.0	46 10.8	14 3.3
	女	538 100.0	177 32.9	125 23.2	72 13.4	86 16.0	81 15.1	72 13.4	15 2.8	55 10.2	46 8.6	29 5.4
年齢	20～29歳	101 100.0	43 42.6	43 42.6	26 25.7	16 15.8	12 11.9	4 4.0	3 3.0	5 5.0	3 3.0	1 1.0
	30～39歳	141 100.0	48 34.0	29 20.6	32 22.7	23 16.3	33 23.4	11 7.8	8 5.7	8 5.7	13 9.2	3 2.1
	40～49歳	164 100.0	35 21.3	40 24.4	49 29.9	31 18.9	35 21.3	15 9.1	3 1.8	15 9.1	13 7.9	1 0.6
	50～59歳	152 100.0	53 34.9	43 28.3	27 17.8	21 13.8	19 12.5	12 7.9	7 4.6	14 9.2	14 9.2	4 2.6
	60～69歳	181 100.0	74 40.9	47 26.0	10 5.5	31 17.1	7 3.9	16 8.8	5 2.8	26 14.4	18 9.9	8 4.4
	70歳以上	232 100.0	63 27.2	33 14.2	5 2.2	27 11.6	7 3.0	35 15.1	4 1.7	53 22.8	32 13.8	28 12.1
地区	錦町	132 100.0	48 36.4	35 26.5	16 12.1	26 19.7	18 13.6	7 5.3	5 3.8	14 10.6	10 7.6	7 5.3
	北町	170 100.0	57 33.5	46 27.1	28 16.5	25 14.7	25 14.7	23 13.5	7 4.1	9 5.3	12 7.1	9 5.3
	中央	274 100.0	92 33.6	72 26.3	43 15.7	35 12.8	29 10.6	30 10.9	9 3.3	34 12.4	34 12.4	5 1.8
	南町	172 100.0	56 32.6	39 22.7	17 9.9	27 15.7	15 8.7	13 7.6	5 2.9	30 17.4	20 11.6	11 6.4
	塚越	222 100.0	62 27.9	43 19.4	45 20.3	35 15.8	26 11.7	20 9.0	3 1.4	35 15.8	17 7.7	13 5.9

性別にみると、女性は「子育てが一段落する」「家族が家事に協力してくれる」が男性を7～9ポイント上回っています。

年齢別にみると、20歳代では、「活動の場や機会が身近にある」と「活動に関わる情報が増える」が全体の回答割合より10～20ポイント程度上回っており、他の年代に比べて、活動の場や情報がより求められています。40歳代では「休みを取りやすい職場となる」が全体の回答割合より14.6ポイント上回っており、また、30～40歳代では「子育てが一段落する」が全体の回答割合より10ポイント程度上回っており、仕事や家庭と両立できる環境が求められています。

地区別にみると、塚越地区では、「休みを取りやすい職場となる」が全体の回答割合より5ポイント上回り他の地区に比べて多く、一方、南町地区では、全体の回答割合より5.4ポイント下回り他の地区に比べて少なくなっています。

問20 あなたは、市政の計画づくりや、まちづくりに参加したいと思いますか。（〇印は1つ）

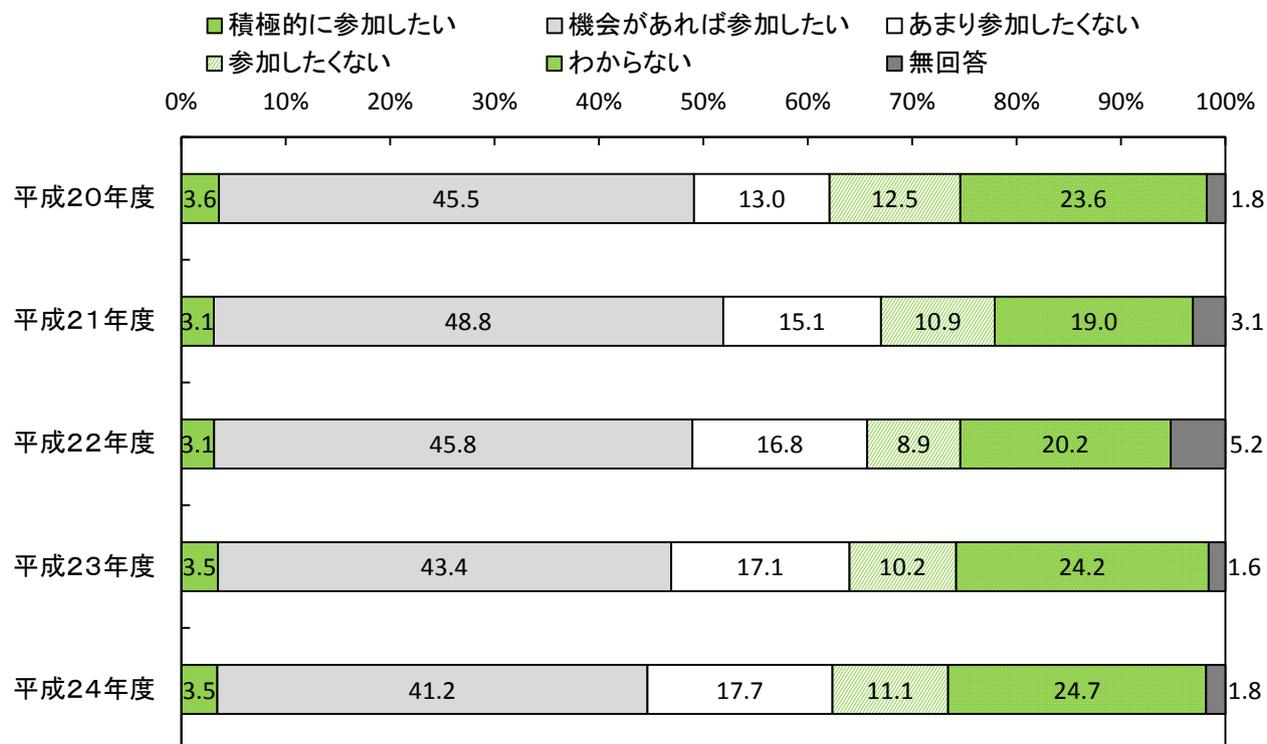


市政の計画づくりや、まちづくりについて、「積極的に参加したい」（3.5%）と「機会があれば参加したい」（41.2%）の合計は44.7%となっています。

一方、「あまり参加したくない」（17.7%）と「参加したくない」（11.1%）の合計は28.8%となっています。

<経年比較>

●市政の計画づくりやまちづくりへの参加について(平成20年度からの推移)



平成20年度からの推移をみると、「積極的に参加したい」と「機会があれば参加したい」の合計は、50%程度で推移していますが、今回の調査ではやや割合が減少しています。

<属性別> ※網掛けは各属性での最上位を表す

		全体	積極的に参加したい	機会があれば参加したい	あまり参加したくない	参加したくない	わからない	無回答
全体		983 100.0	34 3.5	405 41.2	174 17.7	109 11.1	243 24.7	18 1.8
性別	男	427 100.0	22 5.2	186 43.6	69 16.2	40 9.4	101 23.7	9 2.1
	女	538 100.0	12 2.2	214 39.8	102 19.0	65 12.1	136 25.3	9 1.7
年齢	20～29歳	101 100.0	10 9.9	44 43.6	17 16.8	13 12.9	17 16.8	- -
	30～39歳	141 100.0	4 2.8	70 49.6	21 14.9	14 9.9	30 21.3	2 1.4
	40～49歳	164 100.0	5 3.0	61 37.2	36 22.0	23 14.0	39 23.8	- -
	50～59歳	152 100.0	6 3.9	66 43.4	22 14.5	18 11.8	39 25.7	1 0.7
	60～69歳	181 100.0	6 3.3	80 44.2	28 15.5	17 9.4	47 26.0	3 1.7
	70歳以上	232 100.0	3 1.3	80 34.5	48 20.7	20 8.6	69 29.7	12 5.2
地区	錦町	132 100.0	6 4.5	53 40.2	20 15.2	16 12.1	35 26.5	2 1.5
	北町	170 100.0	9 5.3	75 44.1	30 17.6	20 11.8	32 18.8	4 2.4
	中央	274 100.0	7 2.6	119 43.4	50 18.2	32 11.7	63 23.0	3 1.1
	南町	172 100.0	8 4.7	61 35.5	30 17.4	15 8.7	53 30.8	5 2.9
	塚越	222 100.0	4 1.8	92 41.4	42 18.9	22 9.9	58 26.1	4 1.8

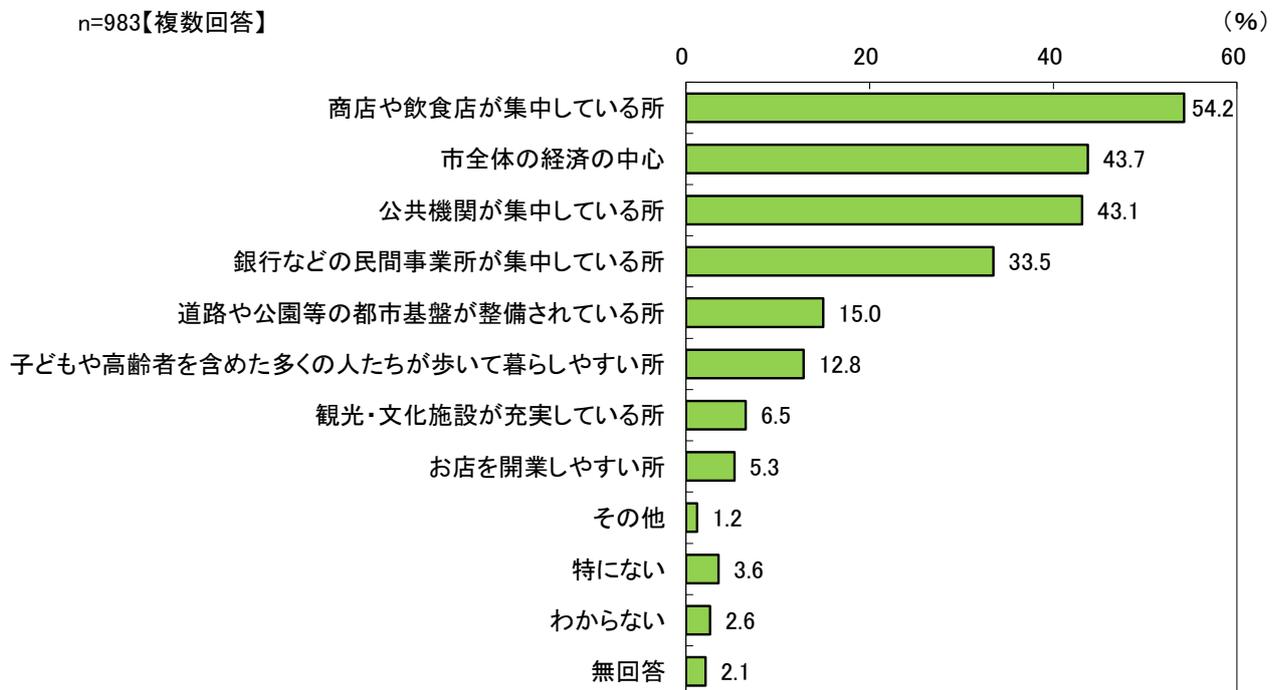
性別にみると、「積極的に参加したい」と「機会があれば参加したい」の合計は、男性（48.8%）が女性（42.0%）より6.8ポイント上回っています。

年齢別にみると、20～30歳代では、「積極的に参加したい」と「機会があれば参加したい」の合計が50%を超え、全体の回答割合を7～8ポイント上回って、他の年代より多くなっています。

地区別にみると、南町地区では「わからない」が30.8%で、全体の回答割合を6.1ポイント上回り、他の地区に比べて多くなっています。

7. 中心市街地

問21 あなたは「中心市街地」という言葉を聞いて、どのようなイメージを持ちますか。あなたのイメージに近いものをお選びください。（○印は3つ以内）



「中心市街地」という言葉のイメージについて、「商店や飲食店が集中している所」が 54.2% と最も多く、次いで「市全体の経済の中心」（43.7%）、「公共機関が集中している所」（43.1%）、「銀行などの民間事業所が集中している所」（33.5%）となっています。

<経年比較>

●「中心市街地」という言葉のイメージ(平成20年度との比較)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成20年度	商店や飲食店が集中している所 51.4%	市全体の経済の中心 48.3%	公共機関が集中している所 45.2%	銀行などの民間事業所が集中している所 31.7%	子どもや高齢者を含めた多くの人たちが歩いて暮らしやすい所 15.1%
平成24年度	商店や飲食店が集中している所 54.2%	市全体の経済の中心 43.7%	公共機関が集中している所 43.1%	銀行などの民間事業所が集中している所 33.5%	子どもや高齢者を含めた多くの人たちが歩いて暮らしやすい所 15.0%

平成20年度と比較して、回答傾向に大きな違いはみられません。

<属性別>

※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

		全体	商店や飲食店が集中している所	市全体の経済の中心	公共機関が集中している所	銀行などの民間事業所が集中している所	道路や公園等の都市基盤が整備されている所	子どもや高齢者を含めた多くの人たちが歩いて暮らしやすい所	観光・文化施設が充実している所	お店を開業しやすい所	その他	特にな	わからない	無回答
全体		983 100.0	533 54.2	430 43.7	424 43.1	329 33.5	147 15.0	126 12.8	64 6.5	52 5.3	12 1.2	35 3.6	26 2.6	21 2.1
性別	男	427 100.0	251 58.8	189 44.3	177 41.5	142 33.3	57 13.3	48 11.2	26 6.1	27 6.3	7 1.6	17 4.0	6 1.4	8 1.9
	女	538 100.0	276 51.3	235 43.7	243 45.2	185 34.4	88 16.4	75 13.9	38 7.1	25 4.6	5 0.9	14 2.6	18 3.3	12 2.2
年齢	20～29歳	101 100.0	60 59.4	44 43.6	57 56.4	27 26.7	25 24.8	8 7.9	12 11.9	5 5.0	3 3.0	2 2.0	2 2.0	-
	30～39歳	141 100.0	81 57.4	77 54.6	62 44.0	42 29.8	21 14.9	4 2.8	11 7.8	9 6.4	3 2.1	2 1.4	5 3.5	1 0.7
	40～49歳	164 100.0	104 63.4	68 41.5	69 42.1	58 35.4	26 15.9	13 7.9	9 5.5	9 5.5	3 1.8	5 3.0	4 2.4	1 0.6
	50～59歳	152 100.0	89 58.6	71 46.7	75 49.3	58 38.2	11 7.2	13 8.6	5 3.3	8 5.3	2 1.3	3 2.0	3 2.0	3 2.0
	60～69歳	181 100.0	100 55.2	77 42.5	72 39.8	71 39.2	22 12.2	26 14.4	14 7.7	13 7.2	1 0.6	5 2.8	5 2.8	3 1.7
	70歳以上	232 100.0	94 40.5	88 37.9	85 36.6	72 31.0	40 17.2	61 26.3	13 5.6	8 3.4	-	16 6.9	6 2.6	13 5.6
地区	錦町	132 100.0	77 58.3	57 43.2	61 46.2	45 34.1	24 18.2	16 12.1	6 4.5	10 7.6	3 2.3	3 2.3	5 3.8	-
	北町	170 100.0	99 58.2	80 47.1	71 41.8	62 36.5	22 12.9	20 11.8	17 10.0	9 5.3	2 1.2	5 2.9	3 1.8	3 1.8
	中央	274 100.0	147 53.6	110 40.1	124 45.3	98 35.8	43 15.7	41 15.0	17 6.2	15 5.5	5 1.8	8 2.9	7 2.6	3 1.1
	南町	172 100.0	94 54.7	77 44.8	77 44.8	50 29.1	24 14.0	19 11.0	7 4.1	9 5.2	-	6 3.5	3 1.7	10 5.8
	塚越	222 100.0	110 49.5	99 44.6	87 39.2	73 32.9	32 14.4	29 13.1	17 7.7	9 4.1	2 0.9	11 5.0	7 3.2	5 2.3

性別にみて、回答傾向に大きな違いはみられませんが、男性は「商店や飲食店が集中している所」が女性を7.5ポイント上回っています。

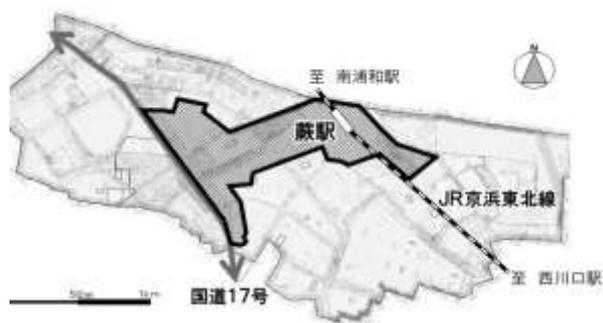
年齢別にみて、回答傾向に大きな違いはみられませんが、20～50歳代では、「商店や飲食店が集中している所」が60%程度となっており、また、「公共機関が集中している所」が40%を超えています。一方、70歳以上は、「子どもや高齢者を含めた多くの人たちが歩いて暮らしやすい所」が26.3%で、全体の回答割合を13.5ポイント上回っており、他の年代と比べて多くなっています。

地区別にみて、回答傾向に大きな違いはみられません。

(1) 蕨市の「中心市街地」について

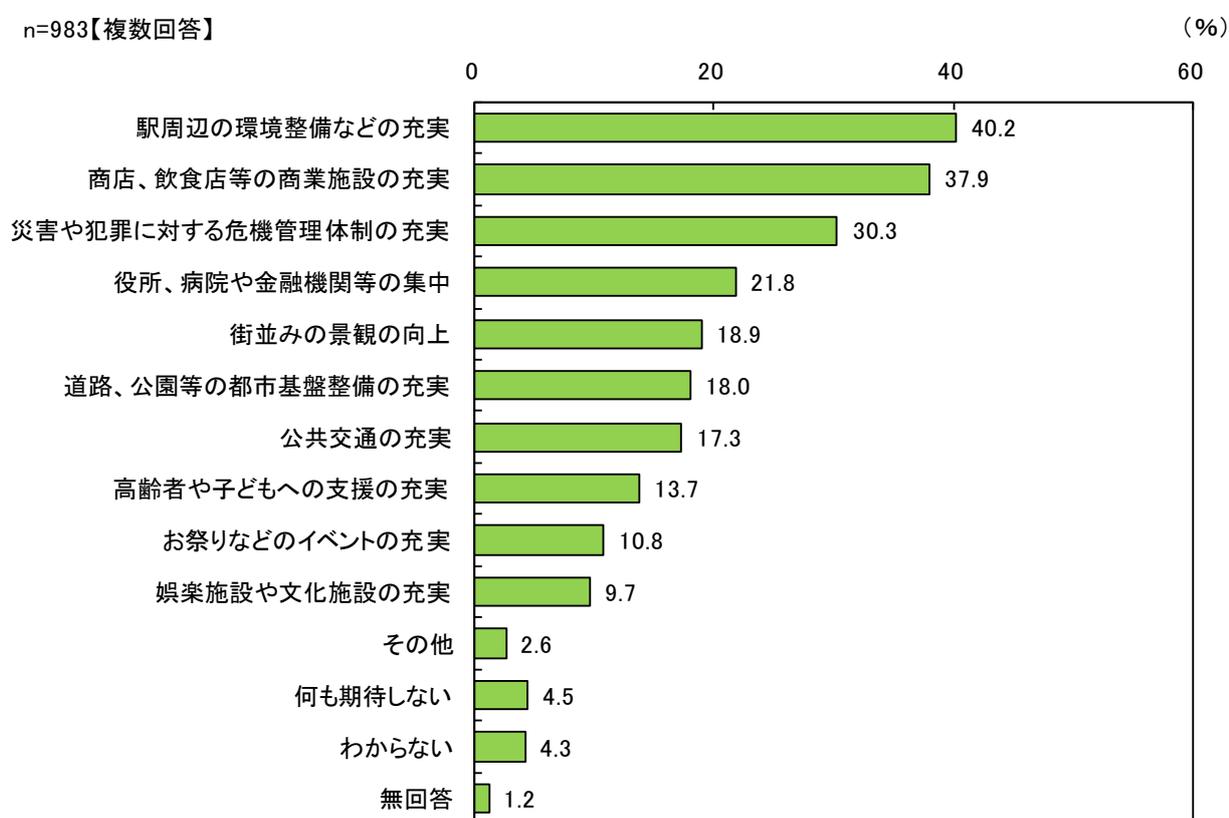
蕨市の「中心市街地」は、蕨駅東口周辺と西口駅前から国道17号線までの区域（右図の網掛け部分）となっています。

この区域について伺います。



問22 あなたは、この区域にどのようなことを期待しますか。あてはまるものをお選びください。（○印は3つ以内）

n=983【複数回答】



蕨市の中心市街地に期待することとしては、「駅周辺の環境整備などの充実」が 40.2%で最も多く、次いで「商店、飲食店等の商業施設の充実」が 37.9%、「災害や犯罪に対する危機管理体制の充実」が 30.3%となっています。

<経年比較>

●中心市街地に期待すること(平成20年度との比較)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成20年度	駅周辺の環境整備 などの充実 41.6%	災害や犯罪に対す る危機管理体制の 充実 31.9%	商店、飲食店等の 商業施設の充実 30.9%	街並みの景観の向 上 23.1%	役所、病院や金融 機関等の集中 22.3%
平成24年度	駅周辺の環境整備 などの充実 40.2%	商店、飲食店等の 商業施設の充実 37.9%	災害や犯罪に対す る危機管理体制の 充実 30.3%	役所、病院や金融 機関等の集中 21.8%	街並みの景観の向 上 18.9%

平成20年度と比較すると、回答割合に大きな違いはみられませんが、「商店、飲食店等の商業施設の充実」が7ポイント上回っています。

<属性別>

※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

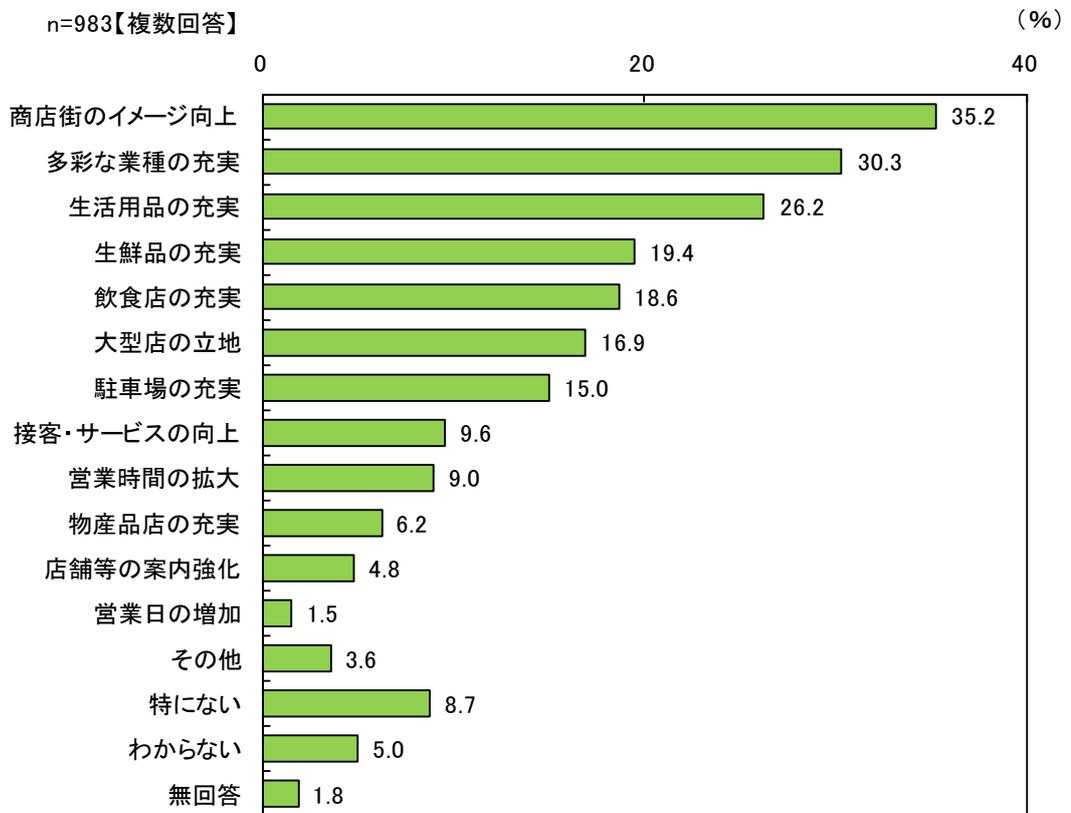
		全体	駅周辺の環境整備などの充実	商店、飲食店等の商業施設の充実	災害や犯罪に対する危機管理体制の充実	関等の集中	役所、病院や金融機関	街並みの景観の向上	道路、公園等の都市基盤整備の充実	公共交通の充実	高齢者や子どもへの支援の充実	お祭りなどのイベントの充実	娯楽施設や文化施設の充実	その他	何も期待しない	わからない	無回答
全体		983 100.0	395 40.2	373 37.9	298 30.3	214 21.8	186 18.9	177 18.0	170 17.3	135 13.7	106 10.8	95 9.7	26 2.6	44 4.5	42 4.3	12 1.2	
性別	男	427 100.0	167 39.1	165 38.6	121 28.3	78 18.3	81 19.0	84 19.7	58 13.6	47 11.0	54 12.6	56 13.1	12 2.8	29 6.8	12 2.8	4 0.9	
	女	538 100.0	223 41.4	206 38.3	172 32.0	127 23.6	103 19.1	90 16.7	110 20.4	85 15.8	50 9.3	39 7.2	14 2.6	15 2.8	28 5.2	7 1.3	
年齢	20～29歳	101 100.0	39 38.6	43 42.6	24 23.8	21 20.8	22 21.8	15 14.9	19 18.8	13 12.9	22 21.8	20 19.8	2 2.0	5 5.0	2 2.0	-	
	30～39歳	141 100.0	52 36.9	54 38.3	37 26.2	30 21.3	27 19.1	32 22.7	28 19.9	18 12.8	16 11.3	14 9.9	7 5.0	6 4.3	6 4.3	1 0.7	
	40～49歳	164 100.0	62 37.8	70 42.7	55 33.5	36 22.0	26 15.9	33 20.1	22 13.4	13 7.9	21 12.8	19 11.6	3 1.8	10 6.1	9 5.5	-	
	50～59歳	152 100.0	65 42.8	55 36.2	48 31.6	31 20.4	35 23.0	32 21.1	22 14.5	15 9.9	12 7.9	13 8.6	2 1.3	7 4.6	4 2.6	2 1.3	
	60～69歳	181 100.0	81 44.8	86 47.5	55 30.4	34 18.8	35 19.3	25 13.8	27 14.9	25 13.8	19 10.5	16 8.8	8 4.4	5 2.8	6 3.3	2 1.1	
	70歳以上	232 100.0	91 39.2	63 27.2	75 32.3	59 25.4	39 16.8	38 16.4	51 22.0	49 21.1	15 6.5	13 5.6	4 1.7	10 4.3	14 6.0	6 2.6	
	地区	錦町	132 100.0	43 32.6	52 39.4	18 13.6	32 24.2	23 17.4	30 22.7	36 27.3	18 13.6	15 11.4	13 9.8	6 4.5	7 5.3	9 6.8	2 1.5
北町		170 100.0	72 42.4	61 35.9	54 31.8	34 20.0	35 20.6	39 22.9	22 12.9	23 13.5	19 11.2	14 8.2	5 2.9	7 4.1	6 3.5	2 1.2	
中央		274 100.0	108 39.4	113 41.2	103 37.6	52 19.0	60 21.9	50 18.2	44 16.1	36 13.1	34 12.4	26 9.5	8 2.9	8 2.9	9 3.3	2 0.7	
南町		172 100.0	73 42.4	77 44.8	47 27.3	35 20.3	24 14.0	29 16.9	27 15.7	20 11.6	17 9.9	17 9.9	2 1.2	11 6.4	8 4.7	3 1.7	
塚越		222 100.0	95 42.8	67 30.2	71 32.0	56 25.2	41 18.5	27 12.2	40 18.0	36 16.2	20 9.0	25 11.3	5 2.3	10 4.5	9 4.1	2 0.9	

性別にみると、女性は「役所、病院や金融機関等の集中」や「公共交通の充実」が男性を5～7ポイント程度上回っており、男性は「娯楽施設や文化施設の充実」が女性を5.9ポイント上回っています。

年齢別にみると、20～40歳代および60歳代では、「商店、飲食店等の商業施設の充実」が最も多くなっています。また、20歳代では「お祭りなどのイベントの充実」や「娯楽施設や文化施設の充実」が全体の回答割合を10ポイント以上上回っています。70歳以上では、「高齢者や子どもへの支援の充実」が全体の回答割合を7.4ポイント上回っており、他の年代と比べて多くなっています。

地区別にみると、錦町地区では「公共交通の充実」が全体の回答割合を10ポイント上回っており、また、中央地区では「災害や犯罪に対する危機管理体制の充実」が全体の回答割合を7.3ポイント上回っており、他の地区と比べて多くなっています。一方、錦町地区では「災害や犯罪に対する危機管理体制の充実」が全体の回答割合を16.7ポイント下回り、他の地区と比べて少なくなっています。

問23 あなたは、この区域の商業にどのようなことを望みますか。あてはまるものをお選びください。（〇印は3つ以内）



蕨市の中心市街地の商業に期待することとしては、「商店街のイメージ向上」が35.2%と最も多く、次いで「多彩な業種の充実」が30.3%、「生活用品の充実」が26.2%となっています。

<経年比較>

●中心市街地の商業に望むこと(平成20年度との比較)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成20年度	多彩な業種の充実 30.1%	生活用品の充実 28.8%	商店街のイメージ向上 26.5%	生鮮品の充実 24.2%	駐車場の充実 20.8%
平成24年度	商店街のイメージ向上 35.2%	多彩な業種の充実 30.3%	生活用品の充実 26.2%	生鮮品の充実 19.4%	飲食店の充実 18.6%

平成20年度と比較すると、「商店街のイメージ向上」が8.7ポイント増加しています。

<属性別>

※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

		全体	商店街のイメージ向上	多彩な業種の充実	生活用品の充実	生鮮品の充実	飲食店の充実	大型店の立地	駐車場の充実	接客サービスの向上	営業時間の拡大	物産品店の充実	店舗等の案内強化	営業日の増加	その他	特にない	わからない	無回答
全体		983 100.0	346 35.2	298 30.3	258 26.2	191 19.4	183 18.6	166 16.9	147 15.0	94 9.6	88 9.0	61 6.2	47 4.8	15 1.5	35 3.6	86 8.7	49 5.0	18 1.8
性別	男	427 100.0	152 35.6	142 33.3	103 24.1	80 18.7	77 18.0	70 16.4	59 13.8	38 8.9	39 9.1	25 5.9	30 7.0	9 2.1	19 4.4	45 10.5	19 4.4	4 0.9
	女	538 100.0	192 35.7	150 27.9	151 28.1	107 19.9	104 19.3	94 17.5	85 15.8	56 10.4	48 8.9	35 6.5	17 3.2	6 1.1	16 3.0	40 7.4	26 4.8	13 2.4
年齢	20～29歳	101 100.0	32 31.7	28 27.7	27 26.7	11 10.9	25 24.8	23 22.8	10 9.9	11 10.9	17 16.8	1 1.0	7 6.9	1 1.0	5 5.0	8 7.9	7 6.9	-
	30～39歳	141 100.0	45 31.9	46 32.6	33 23.4	26 18.4	44 31.2	36 25.5	18 12.8	10 7.1	13 9.2	6 4.3	3 2.1	4 2.8	8 5.7	10 7.1	4 2.8	3 2.1
	40～49歳	164 100.0	51 31.1	41 25.0	39 23.8	22 13.4	43 26.2	29 17.7	30 18.3	19 11.6	19 11.6	2 1.2	7 4.3	4 2.4	7 4.3	17 10.4	8 4.9	2 1.2
	50～59歳	152 100.0	58 38.2	51 33.6	28 18.4	27 17.8	25 16.4	25 16.4	25 16.4	13 8.6	17 11.2	11 7.2	6 3.9	4 2.6	7 4.6	11 7.2	5 3.3	-
	60～69歳	181 100.0	81 44.8	70 38.7	44 24.3	41 22.7	26 14.4	28 15.5	31 17.1	13 7.2	12 6.6	16 8.8	9 5.0	2 1.1	4 2.2	16 8.8	7 3.9	2 1.1
	70歳以上	232 100.0	77 33.2	57 24.6	85 36.6	61 26.3	19 8.2	22 9.5	31 13.4	28 12.1	9 3.9	24 10.3	15 6.5	-	4 1.7	23 9.9	17 7.3	10 4.3
	地区	錦町	132 100.0	44 33.3	34 25.8	38 28.8	18 13.6	30 22.7	17 12.9	29 22.0	13 9.8	11 8.3	11 8.3	5 3.8	1 0.8	4 3.0	12 9.1	7 5.3
北町		170 100.0	71 41.8	49 28.8	41 24.1	27 15.9	33 19.4	24 14.1	19 11.2	19 11.2	23 13.5	13 7.6	9 5.3	7 4.1	6 3.5	10 5.9	10 5.9	6 3.5
中央		274 100.0	103 37.6	89 32.5	75 27.4	61 22.3	55 20.1	52 19.0	30 10.9	23 8.4	25 9.1	14 5.1	12 4.4	3 1.1	14 5.1	24 8.8	12 4.4	4 1.5
南町		172 100.0	59 34.3	65 37.8	39 22.7	36 20.9	35 20.3	31 18.0	29 16.9	18 10.5	12 7.0	12 7.0	9 5.2	-	2 1.2	16 9.3	6 3.5	4 2.3
塚越		222 100.0	66 29.7	56 25.2	64 28.8	47 21.2	29 13.1	40 18.0	38 17.1	20 9.0	16 7.2	10 4.5	12 5.4	4 1.8	8 3.6	23 10.4	13 5.9	1 0.5

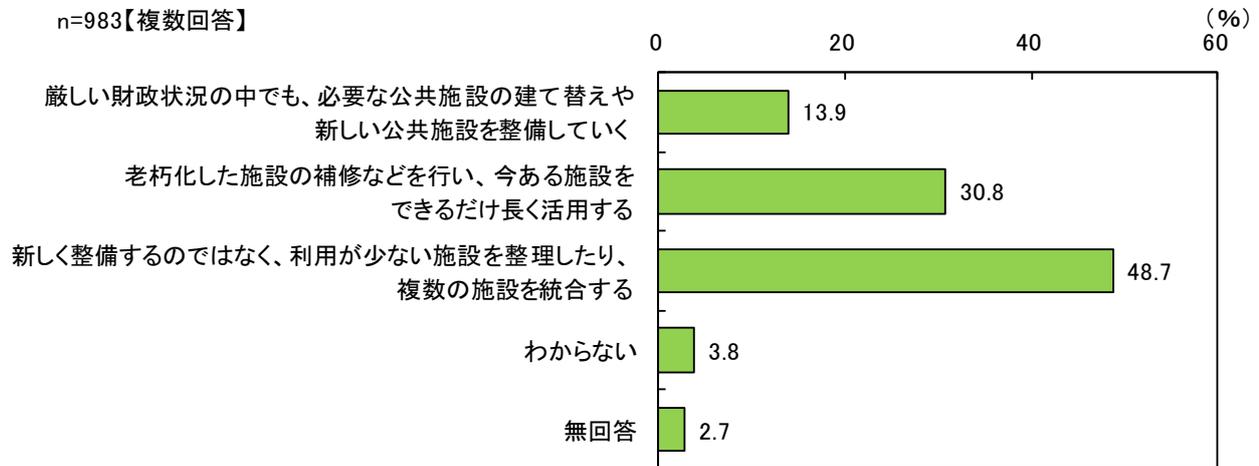
性別にみると、男性は「多彩な業種の充実」が女性を5.4ポイント上回っています。

年齢別にみると、60歳代では「商店街のイメージ向上」と「多彩な業種の充実」が全体の回答割合を8～9ポイント程度上回っており、他の年代と比べて多くなっています。70歳以上では、「生活用品の充実」が最も多く、全体の回答割合を10.4ポイント上回っています。また、年代が上がるほど、「生鮮品の充実」が多くなる一方、20～40歳代では「飲食店の充実」が多くなっているという特徴があります。

地区別にみると、錦町地区では「駐車場の充実」が22.0%で、全体の回答割合を7.0ポイント上回っており、北町地区では「商店街のイメージ向上」が41.8%で、全体の回答割合を6.6ポイント上回っており、また、南町地区では「多彩な業種の充実」が37.8%で、全体の回答割合を7.5ポイント上回っており、他の地区と比べて多くなっています。

8. 公共施設のあり方

問24 市には、さまざまな公共施設（学校、公民館など）がありますが、その維持管理には費用がかかり、時間とともに老朽化も進みます。今後の公共施設の整備のあり方について、どのようにお考えですか。（〇印は1つ）



今後の公共施設の整備のあり方については、「新しく整備するのではなく、利用が少ない施設を整理したり、複数の施設を統合する」が 48.7%で最も多く、次いで「老朽化した施設の補修などを行い、今ある施設をできるだけ長く活用する」が 30.8%、「厳しい財政状況の中でも、必要な公共施設の建て替えや新しい公共施設を整備していく」が 13.9%となっています。

公共施設については、新たに整備するよりも、整理・統合を進め、既存施設をできるだけ長く活用する方が良いと考える市民が多くなっています。

<属性別> ※網掛けは各属性での最上位を表す

		全体	厳しい財政状況の中でも、必要な公共施設の建て替えや新しい公共施設を整備していく	け長く活用する	老朽化した施設の補修などを行い、今ある施設をできるだけ長く活用する	新しく整備するのではなく、利用が少ない施設を整理したり、複数の施設を統合する	わからない	無回答
全体		983 100.0	137 13.9	303 30.8	479 48.7	37 3.8	27 2.7	
性別	男	427 100.0	77 18.0	113 26.5	219 51.3	15 3.5	3 0.7	
	女	538 100.0	60 11.2	188 34.9	258 48.0	21 3.9	11 2.0	
年齢	20～29歳	101 100.0	16 15.8	29 28.7	54 53.5	1 1.0	1 1.0	
	30～39歳	141 100.0	21 14.9	40 28.4	73 51.8	6 4.3	1 0.7	
	40～49歳	164 100.0	28 17.1	48 29.3	83 50.6	5 3.0	- -	
	50～59歳	152 100.0	22 14.5	50 32.9	73 48.0	4 2.6	3 2.0	
	60～69歳	181 100.0	24 13.3	56 30.9	97 53.6	4 2.2	- -	
	70歳以上	232 100.0	26 11.2	80 34.5	97 41.8	17 7.3	12 5.2	
地区	錦町	132 100.0	27 20.5	47 35.6	51 38.6	5 3.8	2 1.5	
	北町	170 100.0	29 17.1	65 38.2	66 38.8	8 4.7	2 1.2	
	中央	274 100.0	32 11.7	74 27.0	153 55.8	9 3.3	6 2.2	
	南町	172 100.0	17 9.9	48 27.9	101 58.7	4 2.3	2 1.2	
	塚越	222 100.0	32 14.4	68 30.6	107 48.2	10 4.5	5 2.3	

性別にみると、男性は「厳しい財政状況の中でも、必要な公共施設の建て替えや新しい公共施設を整備していく」が女性を 6.8 ポイント上回っており、一方、女性は「老朽化した施設の補修などを行い、今ある施設をできるだけ長く活用する」が男性を 8.4 ポイント上回っています。

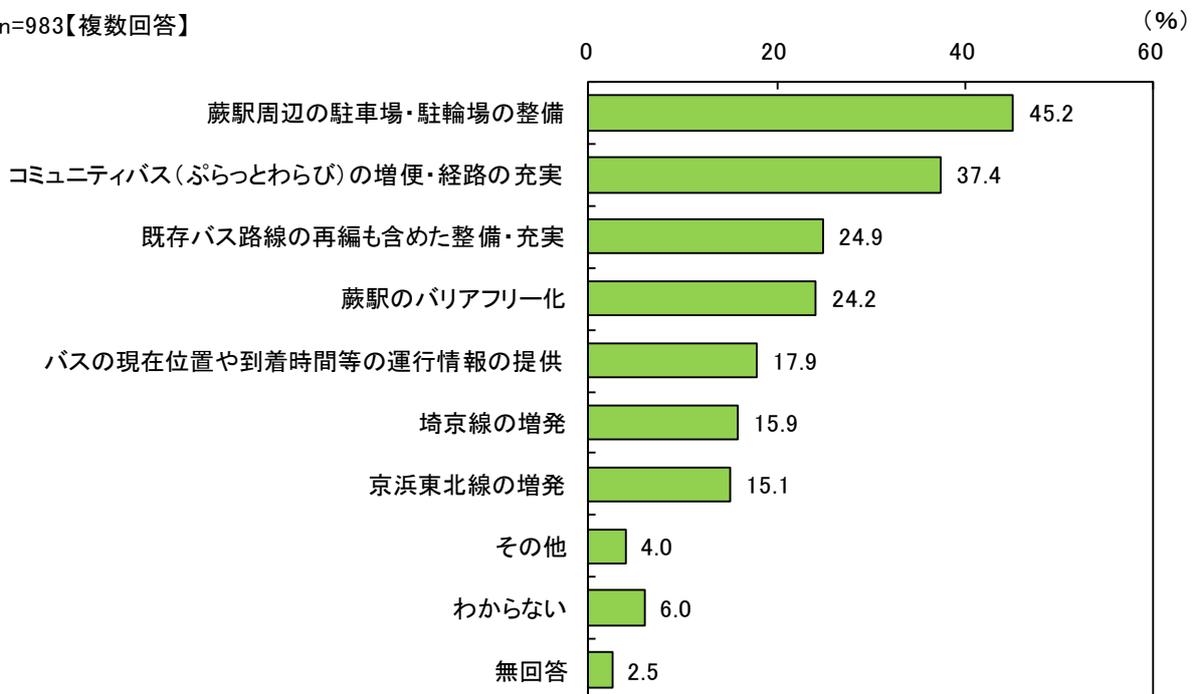
年齢別にみると、70 歳以上では、「新しく整備するのではなく、利用が少ない施設を整理したり、複数の施設を統合する」が 41.8%で全体の回答割合を 6.9 ポイント下回っており、他の年代と比べて少なくなっています。

地区別にみると、北町地区では「老朽化した施設の補修などを行い、今ある施設をできるだけ長く活用する」が 38.2%で全体の回答割合を 7.4 ポイント上回っており、また、錦町地区では「厳しい財政状況の中でも、必要な公共施設の建て替えや新しい公共施設を整備していく」が 20.5%で全体の回答割合を 6.6 ポイント上回って、他の地区に比べて多くなっています。

9. 公共交通

問25 公共交通機関をより利用しやすくするためには、どのようなことが大切だと思いますか。（〇印は3つ以内）

n=983【複数回答】



公共交通機関をより利用しやすくするために大切なこととしては、「蕨駅周辺の駐車場・駐輪場の整備」が45.2%で最も多く、次いで「コミュニティバス（ぷらっとわらび）の増便・経路の充実」が37.4%となっています。このほか、「既存バス路線の再編も含めた整備・充実」（24.9%）、「蕨駅のバリアフリー化」（24.2%）が続いています。

今後は、蕨駅周辺の整備やバリアフリー化に加え、コミュニティバスや既存バス路線の充実が重要と考えられています。

<属性別>

※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

		全体	蕨駅周辺の駐車場・駐輪場の整備	コミュニティバス(ぶらっとわらび)の増便・経路の充実	既存バス路線の再編も含めた整備・充実	蕨駅のバリアフリー化	バスの現在位置や到着時間等の運行情報の提供	埼京線の増発	京浜東北線の増発	その他	わからない	無回答
全体		983 100.0	444 45.2	368 37.4	245 24.9	238 24.2	176 17.9	156 15.9	148 15.1	39 4.0	59 6.0	25 2.5
性別	男	427 100.0	190 44.5	141 33.0	113 26.5	104 24.4	68 15.9	69 16.2	71 16.6	14 3.3	36 8.4	4 0.9
	女	538 100.0	252 46.8	225 41.8	132 24.5	133 24.7	106 19.7	86 16.0	74 13.8	25 4.6	22 4.1	10 1.9
年齢	20～29歳	101 100.0	40 39.6	29 28.7	21 20.8	20 19.8	26 25.7	28 27.7	30 29.7	11 10.9	1 1.0	-
	30～39歳	141 100.0	70 49.6	49 34.8	39 27.7	34 24.1	27 19.1	41 29.1	23 16.3	6 4.3	8 5.7	-
	40～49歳	164 100.0	72 43.9	65 39.6	44 26.8	36 22.0	30 18.3	35 21.3	26 15.9	6 3.7	9 5.5	1 0.6
	50～59歳	152 100.0	80 52.6	53 34.9	38 25.0	41 27.0	24 15.8	19 12.5	24 15.8	4 2.6	14 9.2	-
	60～69歳	181 100.0	93 51.4	57 31.5	43 23.8	44 24.3	28 15.5	19 10.5	21 11.6	5 2.8	13 7.2	2 1.1
	70歳以上	232 100.0	88 37.9	115 49.6	60 25.9	63 27.2	41 17.7	14 6.0	24 10.3	7 3.0	13 5.6	12 5.2
地区	錦町	132 100.0	65 49.2	55 41.7	40 30.3	15 11.4	26 19.7	65 49.2	14 10.6	5 3.8	3 2.3	1 0.8
	北町	170 100.0	69 40.6	70 41.2	43 25.3	47 27.6	28 16.5	24 14.1	25 14.7	4 2.4	11 6.5	3 1.8
	中央	274 100.0	122 44.5	93 33.9	56 20.4	74 27.0	46 16.8	37 13.5	42 15.3	14 5.1	23 8.4	6 2.2
	南町	172 100.0	76 44.2	61 35.5	58 33.7	35 20.3	36 20.9	17 9.9	19 11.0	5 2.9	10 5.8	2 1.2
	塚越	222 100.0	112 50.5	88 39.6	47 21.2	67 30.2	40 18.0	13 5.9	48 21.6	11 5.0	10 4.5	3 1.4

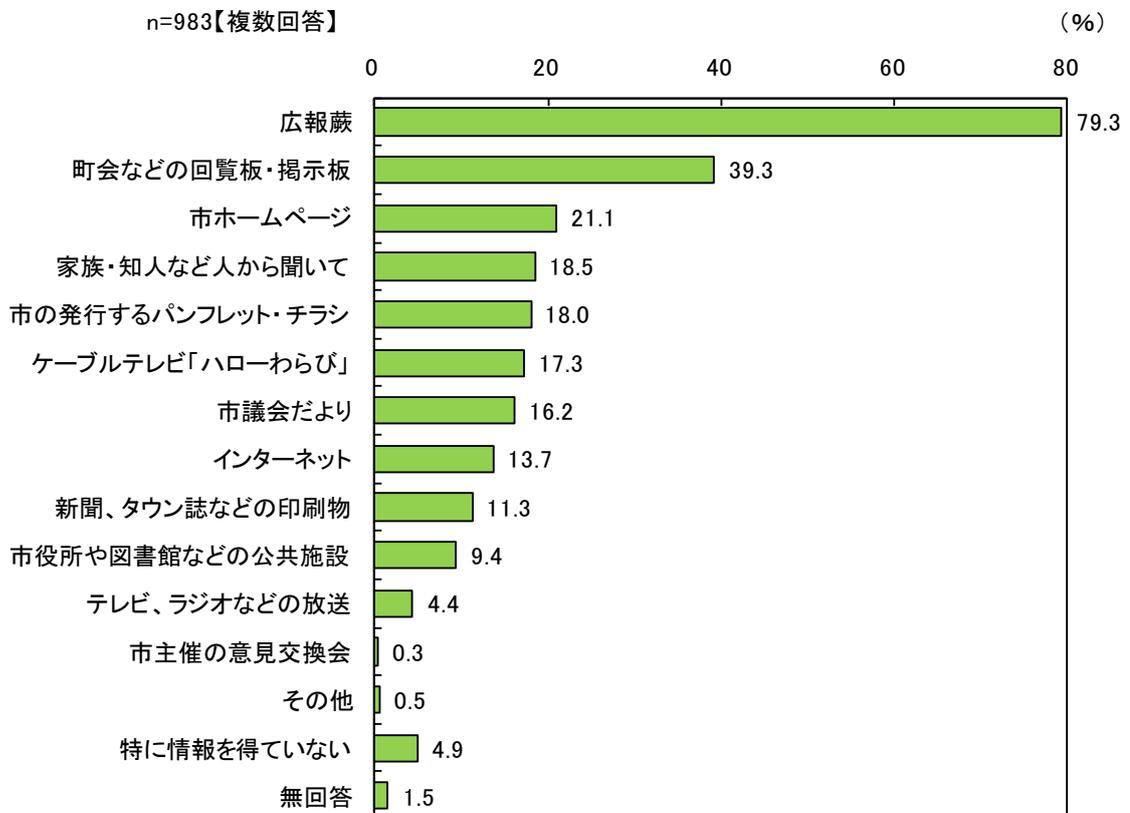
性別にみると、女性は「コミュニティバス（ぶらっとわらび）の増便・経路の充実」が男性より8.8ポイント上回っています。

年齢別にみると、30歳代および50～60歳代では、「蕨駅周辺の駐車場・駐輪場の整備」が50%程度となっており、他の年代に比べて多くなっています。また、70歳以上では、「コミュニティバス（ぶらっとわらび）の増便・経路の充実」が49.6%で他の年代に比べて多くなっている一方、20～40歳代では、「埼京線の増発」が20～30%程度で他の年代に比べて多くなっています。

地区別にみると、錦町地区では「埼京線の増発」が49.2%で最も多く、他の地区に比べて多くなっています。

10. 情報

問26 あなたは、市の情報を得るときに、どのような方法を利用していますか。(〇印はいくつでも)



市の情報を得る方法としては、「広報蕨」が 79.3%で最も多く、次いで「町会などの回覧板・掲示板」が 39.3%となっています。このほか、「市ホームページ」(21.1%)、「家族・知人など人から聞いて」(18.5%)、「市の発行するパンフレット・チラシ」(18.0%)、「ケーブルテレビ『ハローわらび』」(17.3%)が続いています。

全般的にみて、「広報蕨」「町会などの回覧板・掲示板」「市の発行するパンフレット・チラシ」などの紙媒体から情報を得る人が大半を占めている一方、「市ホームページ」「インターネット」など電子媒体を活用する人も 10~20%程度となっています。

<属性別>

※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

	全体	広報 廠	町会 などの 回覧板・ 掲 示板	市 ホーム ページ	家 族・知 人など 人から 聞 いて	市 の発行 する パンフ レット・ チラシ	ロー ワらび	ケー ブル テレビ 「ハ	市 議会 だより	イン ター ネッ ト	印 刷 物	新 聞、 タウ ン誌 など の 公 共 施 設	市 役所 や図 書館 など	放 送	テ レ ビ、 ラジ オな どの	市 主催 の意 見交 換会	そ の 他	特 に情 報を 得て いな い	無 回 答
全体	983 100.0	780 79.3	386 39.3	207 21.1	182 18.5	177 18.0	170 17.3	159 16.2	135 13.7	111 11.3	92 9.4	43 4.4	3 0.3	5 0.5	48 4.9	15 1.5			
性別	男	427 100.0	321 75.2	151 35.4	107 25.1	66 15.5	79 18.5	74 17.3	84 19.7	80 18.7	45 10.5	41 9.6	20 4.7	3 0.7	2 0.5	29 6.8	2 0.5		
	女	538 100.0	457 84.9	233 43.3	99 18.4	114 21.2	97 18.0	95 17.7	75 13.9	55 10.2	65 12.1	49 9.1	22 4.1	- -	3 0.6	18 3.3	3 0.6		
年齢	20～ 29歳	101 100.0	50 49.5	8 7.9	25 24.8	20 19.8	9 8.9	7 6.9	6 5.9	30 29.7	8 7.9	7 6.9	6 5.9	- -	- -	10 9.9	- -		
	30～ 39歳	141 100.0	104 73.8	26 18.4	61 43.3	36 25.5	14 9.9	17 12.1	9 6.4	29 20.6	16 11.3	11 7.8	1 0.7	- -	2 1.4	9 6.4	- -		
	40～ 49歳	164 100.0	127 77.4	51 31.1	48 29.3	24 14.6	14 8.5	28 17.1	12 7.3	28 17.1	17 10.4	10 6.1	5 3.0	- -	- -	13 7.9	- -		
	50～ 59歳	152 100.0	131 86.2	59 38.8	40 26.3	24 15.8	27 17.8	34 22.4	22 14.5	26 17.1	14 9.2	8 5.3	5 3.3	1 0.7	- -	5 3.3	- -		
	60～ 69歳	181 100.0	162 89.5	95 52.5	21 11.6	31 17.1	38 21.0	36 19.9	39 21.5	9 5.0	22 12.2	21 11.6	8 4.4	1 0.6	2 1.1	5 2.8	1 0.6		
	70歳 以上	232 100.0	204 87.9	147 63.4	12 5.2	47 20.3	75 32.3	48 20.7	71 30.6	12 5.2	34 14.7	35 15.1	18 7.8	1 0.4	1 0.4	6 2.6	4 1.7		
	地区	錦町	132 100.0	110 83.3	55 41.7	28 21.2	16 12.1	32 24.2	25 18.9	23 17.4	19 14.4	11 8.3	6 4.5	6 4.5	1 0.8	2 1.5	5 3.8	- -	
北町		170 100.0	134 78.8	68 40.0	44 25.9	37 21.8	37 21.8	34 20.0	36 21.2	24 14.1	16 9.4	21 12.4	8 4.7	1 0.6	- -	8 4.7	- -		
中央		274 100.0	221 80.7	92 33.6	57 20.8	57 20.8	47 17.2	53 19.3	42 15.3	36 13.1	34 12.4	23 8.4	11 4.0	- -	1 0.4	15 5.5	2 0.7		
南町		172 100.0	138 80.2	85 49.4	31 18.0	29 16.9	28 16.3	26 15.1	27 15.7	24 14.0	20 11.6	9 5.2	7 4.1	- -	- -	10 5.8	- -		
塚越		222 100.0	175 78.8	84 37.8	46 20.7	43 19.4	33 14.9	32 14.4	31 14.0	32 14.4	30 13.5	33 14.9	11 5.0	1 0.5	2 0.9	9 4.1	3 1.4		

性別にみると、女性は「広報廠」「町会などの回覧板・掲示板」「家族・知人など人から聞いて」が男性より5ポイント以上上回っており、一方、男性は女性より「市ホームページ」「市議会だより」「インターネット」が5ポイント以上上回っています。

年齢別にみると、年齢が上がるほど「広報廠」「町会などの回覧板・掲示板」「市の発行するパンフレット・チラシ」「市議会だより」が多く、紙媒体から情報を入手しています。一方、年齢が若いほど、「市ホームページ」「インターネット」が多く、30歳代では「市ホームページ」が43.3%に達しています。

地区別にみると、南町地区では、「町会などの回覧板・掲示板」が全体の回答割合より10.1ポイント上回っており、他の地区に比べて多くなっています。

11. 属性

問27 最後に、あなた（封筒宛名の調査対象者）ご自身のことについて伺います。
（ア～キは○印は1つ、クは○印はいくつでも）

ア お住まいになっている地区について

居住地区については、中央地区が27.9%で最も多く、錦町地区が13.4%で最も少なくなっており、その他の地区は20%前後となっています。

※網掛けは各属性での最上位を表す

	全体	錦町	北町	中央	南町	塚越	無回答
実数	983	132	170	274	172	222	13
比率(%)	100.0	13.4	17.3	27.9	17.5	22.6	1.3

イ 性別について

性別については、女性（54.7%）が男性（43.4%）を上回っています。

※網掛けは各属性での最上位を表す

	全体	男	女	無回答
実数	983	427	538	18
比率(%)	100.0	43.4	54.7	1.8

ウ 年齢について

年齢については、70歳以上が23.6%で最も多く、20歳代が10.3%で最も少なくなっており、その他の年代は15%程度となっています。

性別にみて、年齢構成に大きな違いはみられません。

地区別にみると、南町地区では60歳以上が49.4%で最も多い一方、錦町地区では34.9%で最も少なくなっており、その他の地区では40%台となっています。

※網掛けは各属性での最上位を表す

		全体	20 ～ 29 歳	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 69 歳	70 歳 以上	無 回 答
全体		983 100.0	101 10.3	141 14.3	164 16.7	152 15.5	181 18.4	232 23.6	12 1.2
性別	男	427 100.0	46 10.8	57 13.3	79 18.5	60 14.1	85 19.9	99 23.2	1 0.2
	女	538 100.0	55 10.2	84 15.6	84 15.6	91 16.9	96 17.8	127 23.6	1 0.2
地区	錦町	132 100.0	15 11.4	22 16.7	27 20.5	22 16.7	19 14.4	27 20.5	- -
	北町	170 100.0	22 12.9	25 14.7	23 13.5	29 17.1	28 16.5	42 24.7	1 0.6
	中央	274 100.0	27 9.9	37 13.5	49 17.9	39 14.2	60 21.9	62 22.6	- -
	南町	172 100.0	12 7.0	18 10.5	27 15.7	30 17.4	37 21.5	48 27.9	- -
	塚越	222 100.0	25 11.3	37 16.7	38 17.1	31 14.0	37 16.7	53 23.9	1 0.5

エ 職業について

職業については、「会社員」が31.1%で最も多く、次いで「主婦」が23.9%、「無職」が22.9%となっています。

性別にみると、男性は「会社員」、女性は「主婦」がそれぞれ40%を超えて最も多くなっています。

年齢別にみると、20～40歳代では「会社員」が50～60%程度で、50歳代では「会社員」と「主婦」がそれぞれ30%台となり、60歳代では「主婦」と「無職」が30%台、70歳以上では「無職」が60%を超えています。

地区別にみて、回答傾向に大きな違いはみられませんが、南町地区では「無職」が他の地区と比べてやや多くなっています。

※網掛けは各属性での最上位を表す

		全体	会社員	自営業	農業	自由業	公務員・教員	主婦	学生	無職	その他	無回答
全体		983 100.0	306 31.1	63 6.4	1 0.1	13 1.3	29 3.0	235 23.9	16 1.6	225 22.9	75 7.6	20 2.0
性別	男	427 100.0	189 44.3	40 9.4	1 0.2	5 1.2	20 4.7	- -	9 2.1	140 32.8	21 4.9	2 0.5
	女	538 100.0	115 21.4	23 4.3	- -	8 1.5	9 1.7	235 43.7	7 1.3	82 15.2	53 9.9	6 1.1
年齢	20～29歳	101 100.0	58 57.4	2 2.0	- -	2 2.0	8 7.9	5 5.0	16 15.8	3 3.0	6 5.9	1 1.0
	30～39歳	141 100.0	68 48.2	7 5.0	- -	5 3.5	8 5.7	34 24.1	- -	9 6.4	9 6.4	1 0.7
	40～49歳	164 100.0	89 54.3	11 6.7	- -	1 0.6	5 3.0	30 18.3	- -	7 4.3	20 12.2	1 0.6
	50～59歳	152 100.0	58 38.2	11 7.2	- -	2 1.3	7 4.6	49 32.2	- -	7 4.6	15 9.9	3 2.0
	60～69歳	181 100.0	28 15.5	15 8.3	1 0.6	2 1.1	1 0.6	59 32.6	- -	59 32.6	15 8.3	1 0.6
	70歳以上	232 100.0	5 2.2	16 6.9	- -	- -	- -	58 25.0	- -	140 60.3	10 4.3	3 1.3
地区	錦町	132 100.0	44 33.3	7 5.3	- -	2 1.5	6 4.5	31 23.5	1 0.8	29 22.0	12 9.1	- -
	北町	170 100.0	57 33.5	9 5.3	- -	1 0.6	4 2.4	43 25.3	6 3.5	37 21.8	11 6.5	2 1.2
	中央	274 100.0	82 29.9	16 5.8	- -	4 1.5	9 3.3	67 24.5	2 0.7	68 24.8	21 7.7	5 1.8
	南町	172 100.0	52 30.2	11 6.4	- -	1 0.6	4 2.3	39 22.7	3 1.7	46 26.7	15 8.7	1 0.6
	塚越	222 100.0	69 31.1	20 9.0	1 0.5	5 2.3	5 2.3	55 24.8	4 1.8	45 20.3	16 7.2	2 0.9

オ 通勤・通学地について

通勤・通学地については、「蕨市内（通勤・通学していない方を含む）」が 34.6%で最も多く、次いで「東京都」が 25.6%となっています。

性別にみると、男性は「東京都」が 35.1%で最も多くなっている一方、女性は「蕨市内」が 41.8%で最も多くなっています。

年齢別にみると、20 歳代では「東京都」が 60%を超え、40 歳代でも 40%程度となっています。30 歳代では「蕨市内」と「東京都」が 30%程度となっており、50 歳以上では「蕨市内」が 40%程度となっています。

地区別にみると、塚越地区では「川口市」が 12.6%で、他の地区に比べて多くなっています。

※網掛けは各属性での最上位を表す

		全体	蕨市内（通勤・通学していない方を含む）	川口市	戸田市	さいたま市	蕨市、川口市、戸田市、さいたま市以外の埼玉県内	東京都	埼玉県・東京都以外	無回答
全体		983 100.0	340 34.6	58 5.9	29 3.0	38 3.9	49 5.0	252 25.6	26 2.6	191 19.4
性別	男	427 100.0	115 26.9	25 5.9	11 2.6	24 5.6	27 6.3	150 35.1	15 3.5	60 14.1
	女	538 100.0	225 41.8	32 5.9	18 3.3	14 2.6	21 3.9	101 18.8	11 2.0	116 21.6
年齢	20～29歳	101 100.0	13 12.9	2 2.0	4 4.0	6 5.9	7 6.9	62 61.4	5 5.0	2 2.0
	30～39歳	141 100.0	46 32.6	16 11.3	6 4.3	7 5.0	7 5.0	49 34.8	4 2.8	6 4.3
	40～49歳	164 100.0	47 28.7	13 7.9	6 3.7	10 6.1	8 4.9	64 39.0	4 2.4	12 7.3
	50～59歳	152 100.0	59 38.8	14 9.2	7 4.6	9 5.9	11 7.2	37 24.3	4 2.6	11 7.2
	60～69歳	181 100.0	81 44.8	9 5.0	4 2.2	3 1.7	7 3.9	28 15.5	5 2.8	44 24.3
	70歳以上	232 100.0	94 40.5	4 1.7	2 0.9	2 0.9	9 3.9	12 5.2	4 1.7	105 45.3
地区	錦町	132 100.0	48 36.4	3 2.3	10 7.6	5 3.8	6 4.5	35 26.5	5 3.8	20 15.2
	北町	170 100.0	64 37.6	11 6.5	5 2.9	5 2.9	10 5.9	41 24.1	5 2.9	29 17.1
	中央	274 100.0	106 38.7	4 1.5	6 2.2	13 4.7	12 4.4	75 27.4	8 2.9	50 18.2
	南町	172 100.0	61 35.5	12 7.0	4 2.3	6 3.5	8 4.7	41 23.8	6 3.5	34 19.8
	塚越	222 100.0	61 27.5	28 12.6	4 1.8	9 4.1	13 5.9	57 25.7	2 0.9	48 21.6

カ お住まいの住居について

住居については、「戸建住宅（持ち家）」が 51.9%で最も多く、次いで「集合住宅（持ち家）」が 22.2%、「集合住宅（民営賃貸）」が 15.0%となっています。

性別にみて、回答傾向に大きな違いはみられません。

年齢別にみると、年齢が上がるほど「戸建住宅（持ち家）」が多く、70歳以上では 69.0%となっています。一方、20～40歳代では「集合住宅（民営賃貸）」が 20～30%台で、50歳代では「集合住宅（持ち家）」が 30%台となっています。

地区別にみると、南町地区では「戸建住宅（持ち家）」が 60.5%で、他の地区に比べて多くなっています。また、北町地区と中央地区では「集合住宅（持ち家）」が 30%近くになっており、他の地区に比べて多くなっています。

※網掛けは各属性での最上位を表す

		全体	戸建住宅 (持ち家)	戸建住宅 (民営賃貸)	集合住宅 (持ち家)	集合住宅 (民営賃貸)	公営住宅 (賃貸)	社宅・寮・官公舎	店舗、事務所、工場等 との併用住宅	無回答
全体		983 100.0	510 51.9	41 4.2	218 22.2	147 15.0	25 2.5	12 1.2	11 1.1	19 1.9
性別	男	427 100.0	219 51.3	21 4.9	91 21.3	68 15.9	9 2.1	8 1.9	5 1.2	6 1.4
	女	538 100.0	288 53.5	19 3.5	126 23.4	77 14.3	16 3.0	4 0.7	6 1.1	2 0.4
年齢	20～29歳	101 100.0	33 32.7	4 4.0	22 21.8	31 30.7	5 5.0	4 4.0	1 1.0	1 1.0
	30～39歳	141 100.0	47 33.3	10 7.1	27 19.1	40 28.4	6 4.3	5 3.5	3 2.1	3 2.1
	40～49歳	164 100.0	73 44.5	7 4.3	40 24.4	36 22.0	6 3.7	1 0.6	1 0.6	-
	50～59歳	152 100.0	84 55.3	4 2.6	46 30.3	11 7.2	3 2.0	1 0.7	-	3 2.0
	60～69歳	181 100.0	113 62.4	5 2.8	41 22.7	17 9.4	1 0.6	1 0.6	3 1.7	-
	70歳以上	232 100.0	160 69.0	10 4.3	42 18.1	12 5.2	4 1.7	-	3 1.3	1 0.4
地区	錦町	132 100.0	71 53.8	6 4.5	15 11.4	24 18.2	10 7.6	2 1.5	2 1.5	2 1.5
	北町	170 100.0	89 52.4	6 3.5	47 27.6	20 11.8	1 0.6	4 2.4	-	3 1.8
	中央	274 100.0	132 48.2	7 2.6	77 28.1	46 16.8	7 2.6	1 0.4	3 1.1	1 0.4
	南町	172 100.0	104 60.5	9 5.2	26 15.1	26 15.1	2 1.2	4 2.3	1 0.6	-
	塚越	222 100.0	113 50.9	13 5.9	53 23.9	31 14.0	5 2.3	1 0.5	5 2.3	1 0.5

キ お住まいになっている年数について

居住年数について、「30年以上」が30.8%で最も多く、次いで「10～19年」が19.1%、「20～29年」が17.5%となっています。

性別にみると、女性は「20～29年」と「30年以上」の合計が51.3%で、男性の45.4%を上回っています。

年齢別にみると、年齢が上がるほど居住年数が長くなっており、70歳以上では20年以上居住している人が80%を超えています。

地区別にみると、錦町地区では「1年未満」と「1～2年」の合計が16.6%で、他の地区に比べて居住年数が短い人が多くなっています。一方、南町地区では10年以上居住している人が70%を超えており、他の地区に比べて多くなっています。

※網掛けは各属性での最上位を表す

		全体	1年未満	1～2年	3～4年	5～9年	10～19年	20～29年	30年以上	無回答
全体		983 100.0	26 2.6	72 7.3	89 9.1	116 11.8	188 19.1	172 17.5	303 30.8	17 1.7
性別	男	427 100.0	13 3.0	33 7.7	42 9.8	55 12.9	86 20.1	61 14.3	133 31.1	4 0.9
	女	538 100.0	13 2.4	38 7.1	46 8.6	61 11.3	102 19.0	110 20.4	166 30.9	2 0.4
年齢	20～29歳	101 100.0	8 7.9	22 21.8	16 15.8	11 10.9	16 15.8	27 26.7	-	1 1.0
	30～39歳	141 100.0	10 7.1	28 19.9	32 22.7	35 24.8	11 7.8	5 3.5	19 13.5	1 0.7
	40～49歳	164 100.0	5 3.0	12 7.3	18 11.0	44 26.8	52 31.7	13 7.9	19 11.6	1 0.6
	50～59歳	152 100.0	2 1.3	2 1.3	8 5.3	11 7.2	53 34.9	39 25.7	36 23.7	1 0.7
	60～69歳	181 100.0	1 0.6	6 3.3	11 6.1	8 4.4	29 16.0	37 20.4	88 48.6	1 0.6
	70歳以上	232 100.0	-	2 0.9	4 1.7	7 3.0	27 11.6	50 21.6	141 60.8	1 0.4
地区	錦町	132 100.0	11 8.3	11 8.3	14 10.6	21 15.9	22 16.7	15 11.4	36 27.3	2 1.5
	北町	170 100.0	6 3.5	8 4.7	19 11.2	19 11.2	35 20.6	32 18.8	49 28.8	2 1.2
	中央	274 100.0	2 0.7	21 7.7	28 10.2	32 11.7	52 19.0	49 17.9	89 32.5	1 0.4
	南町	172 100.0	3 1.7	7 4.1	7 4.1	22 12.8	41 23.8	33 19.2	58 33.7	1 0.6
	塚越	222 100.0	4 1.8	24 10.8	21 9.5	22 9.9	38 17.1	43 19.4	70 31.5	-

ク 現在、あなたと一緒に住んでいる方について

家族構成について、「配偶者」が 62.2%で最も多く、次いで「子ども」が 44.6%となっており、二人または三人の世帯が多くなっています。また、「本人のみ」の単身世帯は 14.6%となっています。

性別にみて、回答傾向に大きな違いはみられません。女性は「子ども」が 48.3%で、男性の 41.5%より多くなっています。

年齢別にみると、20歳代では「父母」や「兄弟・姉妹」が他の年代に比べて多くなっており、また、30～50歳代では「配偶者」と「子ども」が 50～70%台となっています。

地区別にみると、北町地区では「本人のみ」が 20%を超え、他の地区に比べて多くなっています。また、錦町地区では「配偶者」と「子ども」が 50～70%で、他の地区に比べて多くなっています。

※網掛けは各属性での最上位を表す

		全体	本人のみ	配偶者	子ども	孫	父母	祖父母	兄弟・姉妹	その他	無回答
全体		983 100.0	144 14.6	611 62.2	438 44.6	51 5.2	187 19.0	19 1.9	72 7.3	16 1.6	20 2.0
性別	男	427 100.0	72 16.9	268 62.8	177 41.5	18 4.2	84 19.7	10 2.3	28 6.6	8 1.9	5 1.2
	女	538 100.0	70 13.0	342 63.6	260 48.3	32 5.9	102 19.0	8 1.5	42 7.8	8 1.5	4 0.7
年齢	20～29歳	101 100.0	18 17.8	27 26.7	13 12.9	-	53 52.5	9 8.9	35 34.7	3 3.0	1 1.0
	30～39歳	141 100.0	17 12.1	94 66.7	73 51.8	-	34 24.1	4 2.8	12 8.5	3 2.1	1 0.7
	40～49歳	164 100.0	21 12.8	116 70.7	91 55.5	-	44 26.8	1 0.6	6 3.7	2 1.2	2 1.2
	50～59歳	152 100.0	20 13.2	107 70.4	92 60.5	3 2.0	29 19.1	2 1.3	5 3.3	2 1.3	-
	60～69歳	181 100.0	26 14.4	129 71.3	83 45.9	8 4.4	22 12.2	2 1.1	7 3.9	3 1.7	3 1.7
	70歳以上	232 100.0	41 17.7	138 59.5	86 37.1	40 17.2	5 2.2	1 0.4	7 3.0	3 1.3	2 0.9
地区	錦町	132 100.0	16 12.1	92 69.7	67 50.8	7 5.3	18 13.6	2 1.5	6 4.5	1 0.8	3 2.3
	北町	170 100.0	35 20.6	99 58.2	65 38.2	6 3.5	36 21.2	5 2.9	13 7.6	1 0.6	2 1.2
	中央	274 100.0	40 14.6	170 62.0	123 44.9	12 4.4	60 21.9	6 2.2	22 8.0	7 2.6	1 0.4
	南町	172 100.0	23 13.4	112 65.1	78 45.3	11 6.4	24 14.0	2 1.2	17 9.9	2 1.2	1 0.6
	塚越	222 100.0	30 13.5	137 61.7	104 46.8	15 6.8	49 22.1	4 1.8	14 6.3	4 1.8	2 0.9

12. 自由意見

蕨市の未来のまちづくりへの提言

《蕨市の未来のまちづくりについて、ご意見やご提案をご自由にお書きください。》

市民意識調査の回答者 983 人のうち、358 人（36.4%）から、延べ 581 件の意見をいただきました。

Ⅱ. 高校生意識調査

■調査の概要

1. 目的

この調査は、平成 26 年度よりスタートする蕨市の行政運営に係る長期計画（仮称）「コンパクトシティ蕨」将来ビジョンの策定にあたり、市内の高校生の蕨市に対するイメージや意見などを把握するために実施しました。

2. 調査方法

- (1) 調査期間 平成 24 年 9 月
- (2) 調査対象 市内 2 高等学校（県立蕨高等学校、私立武南高等学校）の 1 年生～3 年生のうち各 1 クラス（計 6 クラス）
- (3) 調査方法 各クラスにて配布、回収

3. 調査項目

- (1) 蕨ってどんなところ？（蕨市のイメージ、良いところ・悪いところ、市の特徴で知っているもの）
- (2) あなたにとっての蕨とは？（まちへの愛着）
- (3) 蕨の未来にひとこと！！（自由意見）

4. 回収結果

対象 6 クラスより 227 票回収（回収率 100%）

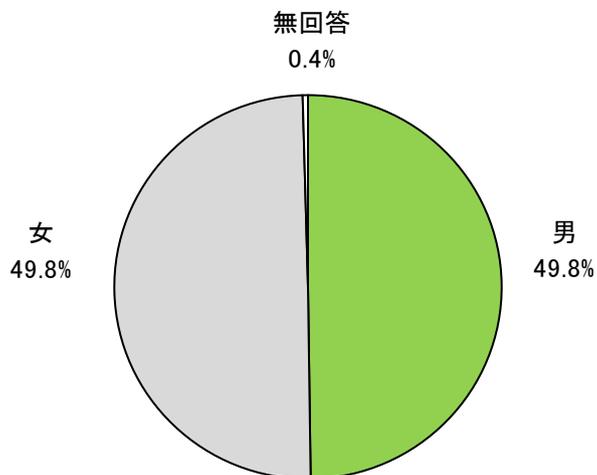
■調査の結果

1. あなた自身のこと

はじめに、あなた自身のことについて伺います。（それぞれ○印は1つだけ）

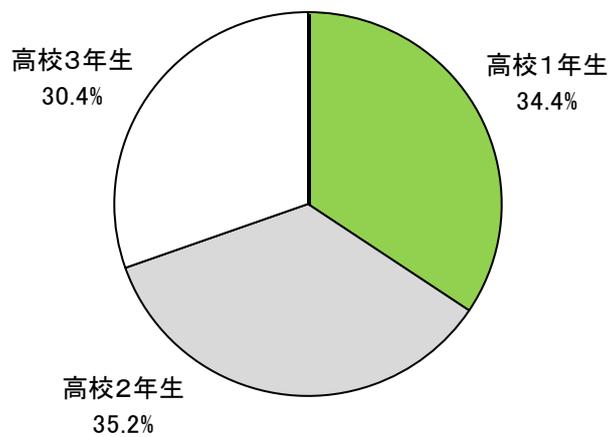
○性別

n=227



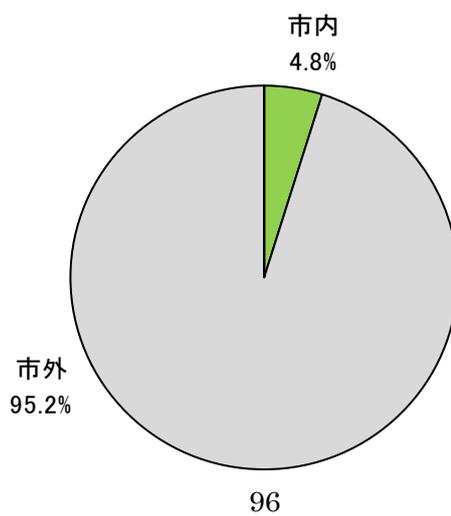
○学年

n=227



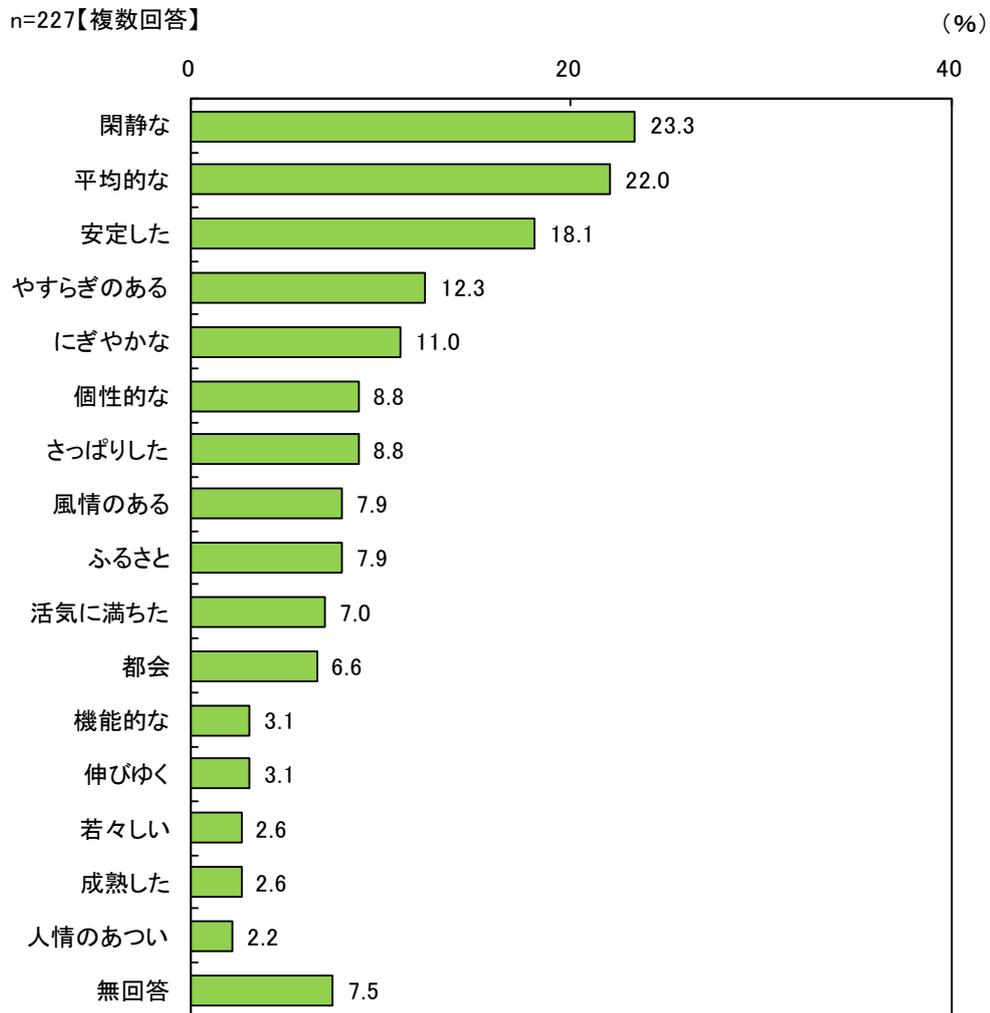
○居住地

n=227



2. 蕨ってどんなところ？

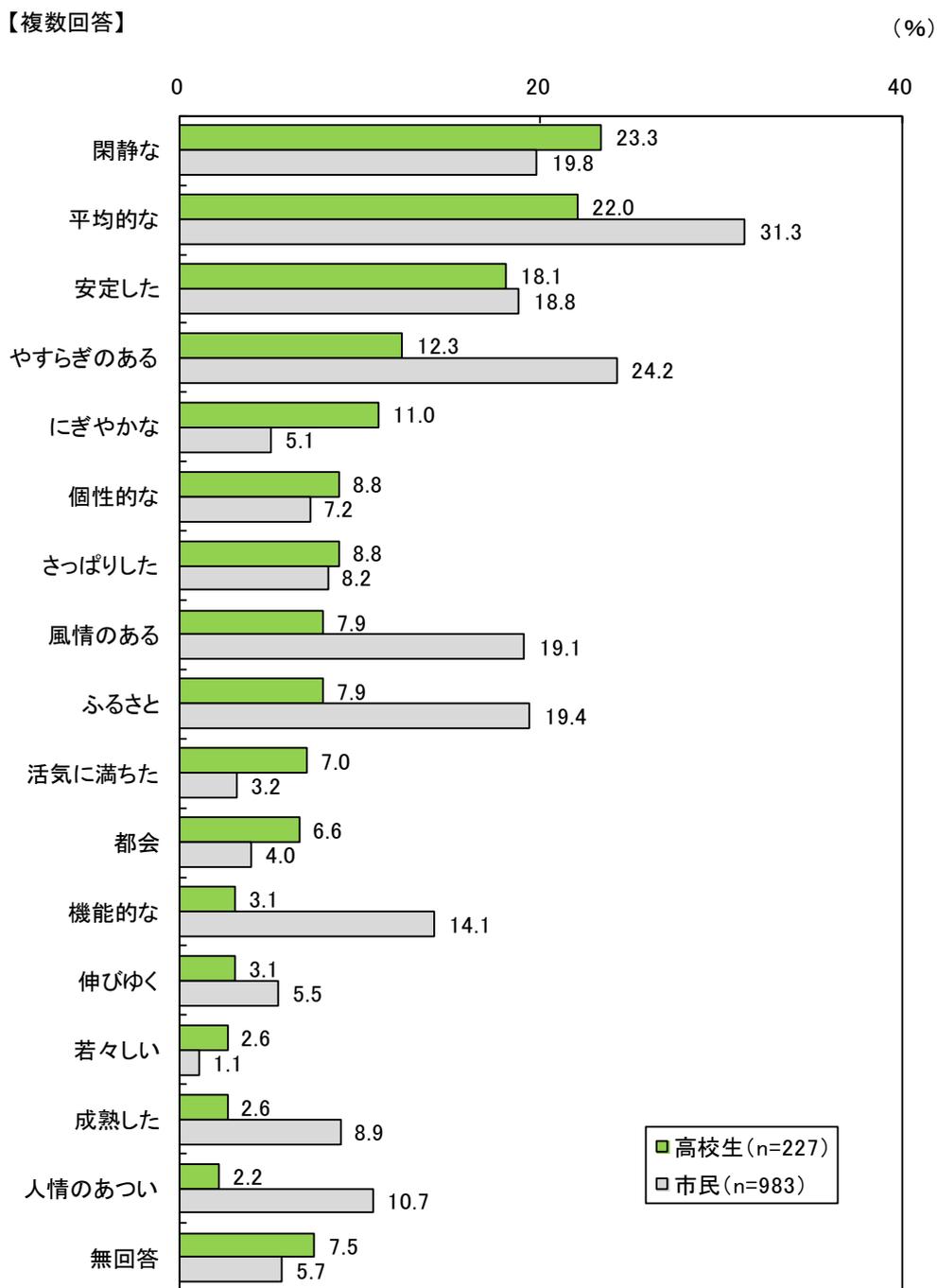
問1 あなたは、蕨市に対してどのようなイメージを持っていますか。（〇印は3つ以内）



蕨市に対するイメージとしては、「閑静な」が 23.3%、「平均的な」が 22.0%、「安定した」が 18.1%となっています。このほか、「やすらぎのある」（12.3%）、「にぎやかな」（11.0%）が 10%を超えています。

全般的に、“閑静、平均的、安定、やすらぎ”といった静的なイメージが強くなっています。

<市民意識調査との比較>



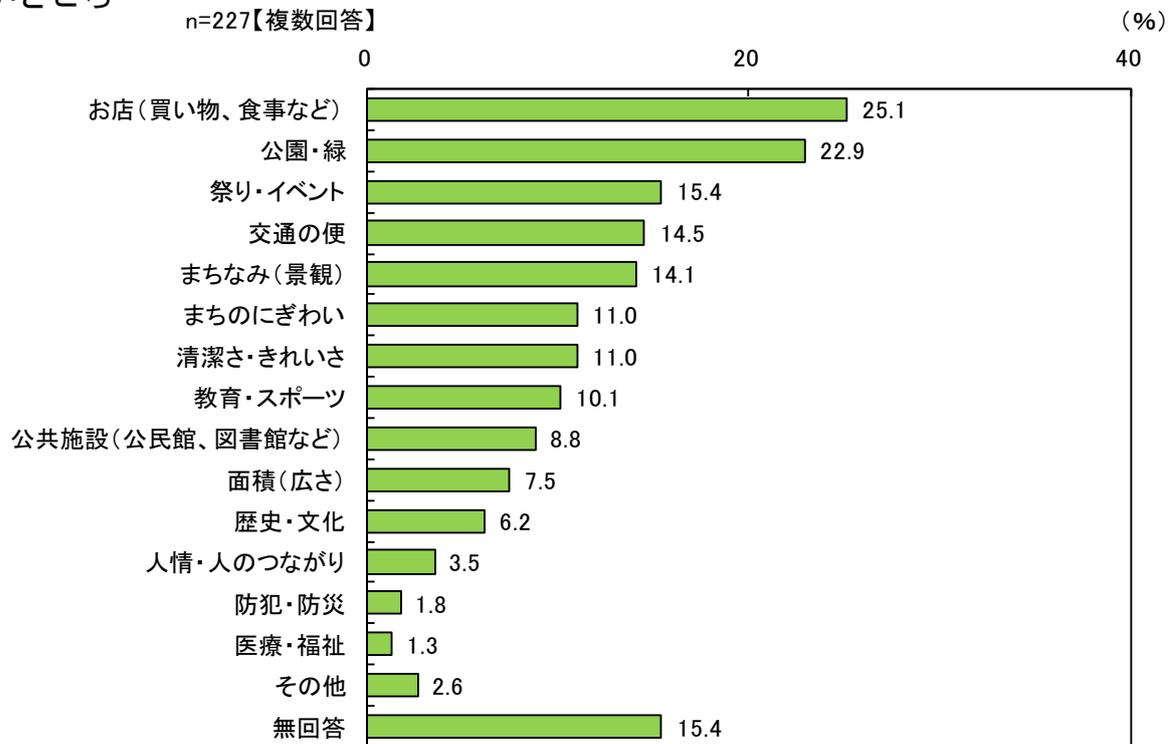
市民意識調査と比較すると、上位項目に違いがみられ、市民の第1位が「平均的な」であるのに対して、高校生の第1位は「閑静な」となっています。また、高校生は「平均的な」「やすらぎのある」が市民を10ポイント程度下回っています。一方、「にぎやかな」(11.0%)は市民を5.9ポイント上回っています。

回答者のうち市外からの通学者が95.2%を占めていますが、市民ほどではないものの、高校生も、蕨市に静的なイメージを抱いていることが読み取れます。

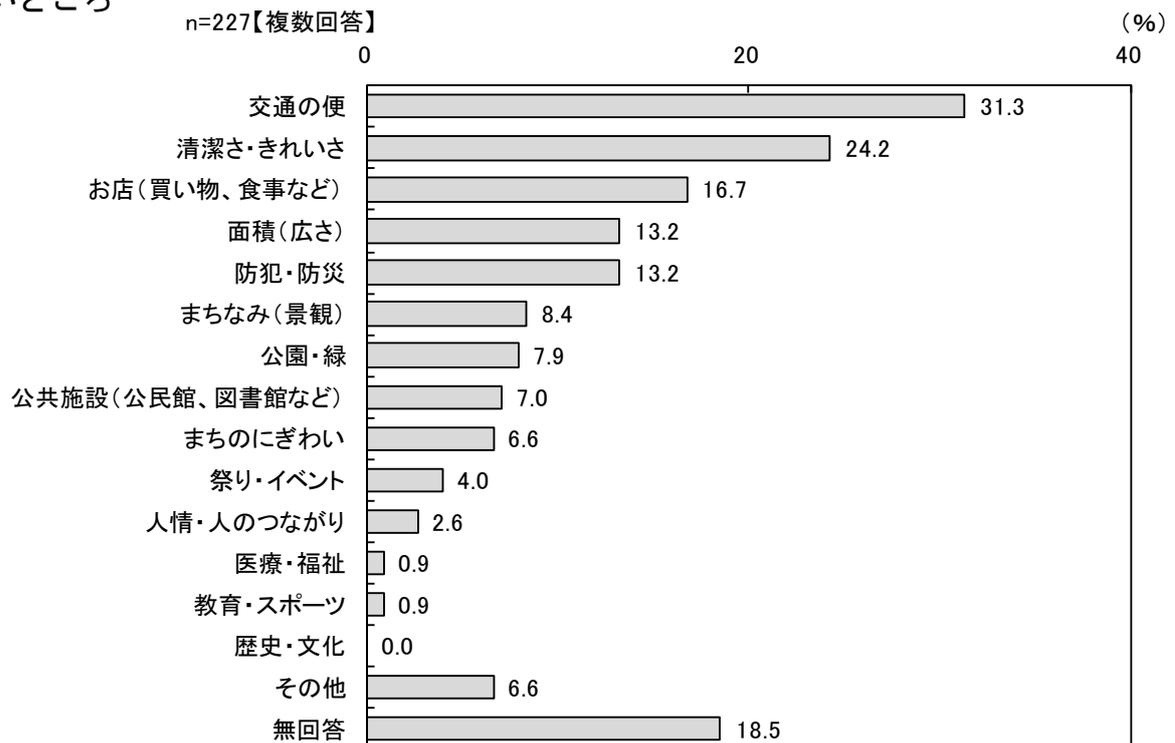
問2 蕨市の良いところ（好きな点）、悪いところ（嫌いな点）は何ですか。次の中から、それぞれ番号を3つまで選び、その内容も簡単に記入してください。

※良いところ（好きな点）、悪いところ（嫌いな点）それぞれについて1・2・3番まで列挙。

○良いところ



○悪いところ

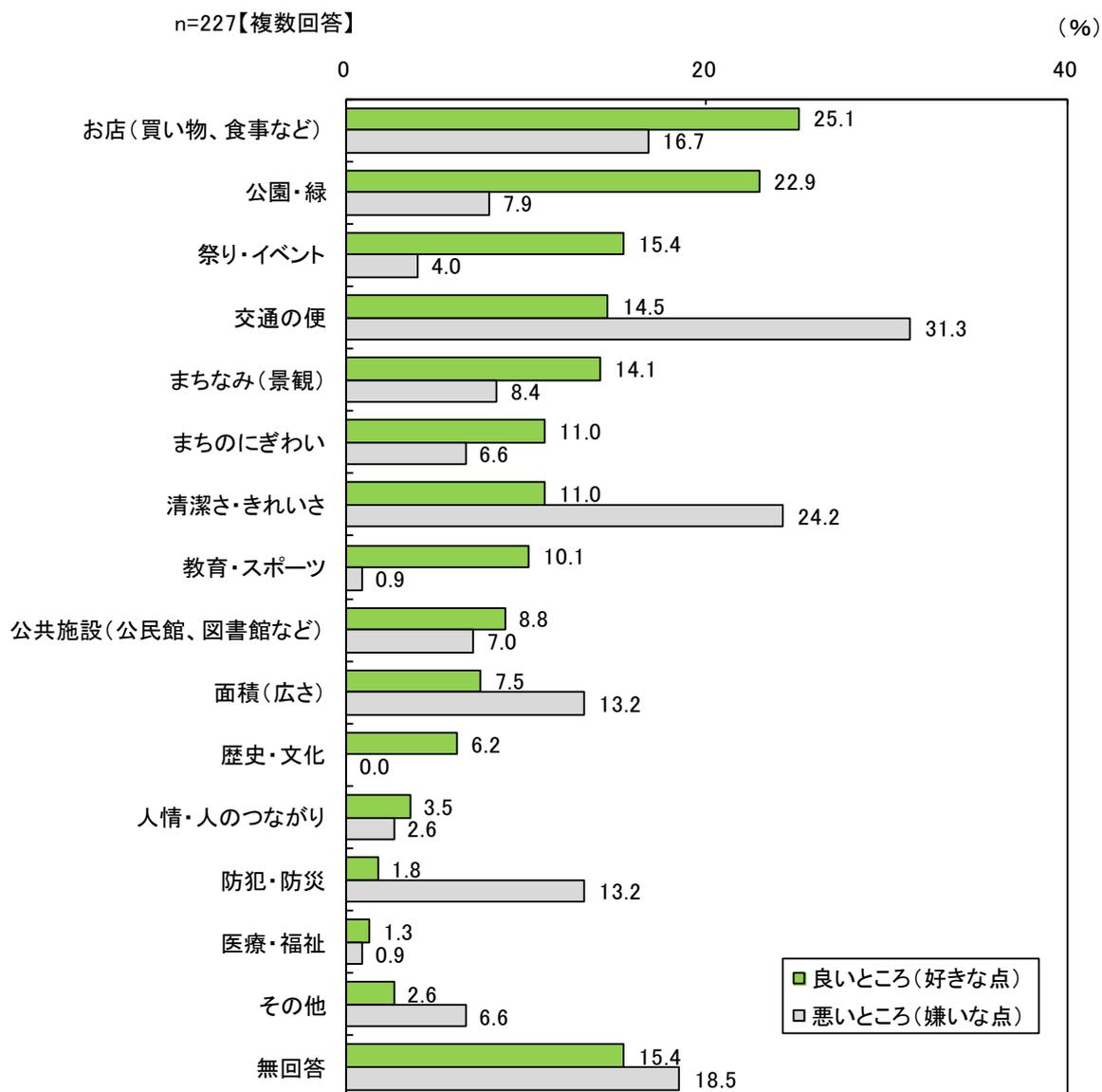


蕨市の良いところ（好きな点）としては、「お店（買い物、食事など）」が 25.1%で最も多く、次いで、「公園・緑」が 22.9%となっています。このほか、「祭り・イベント」（15.4%）、「交通の便」（14.5%）、「まちなみ（景観）」（14.1%）が続いています。

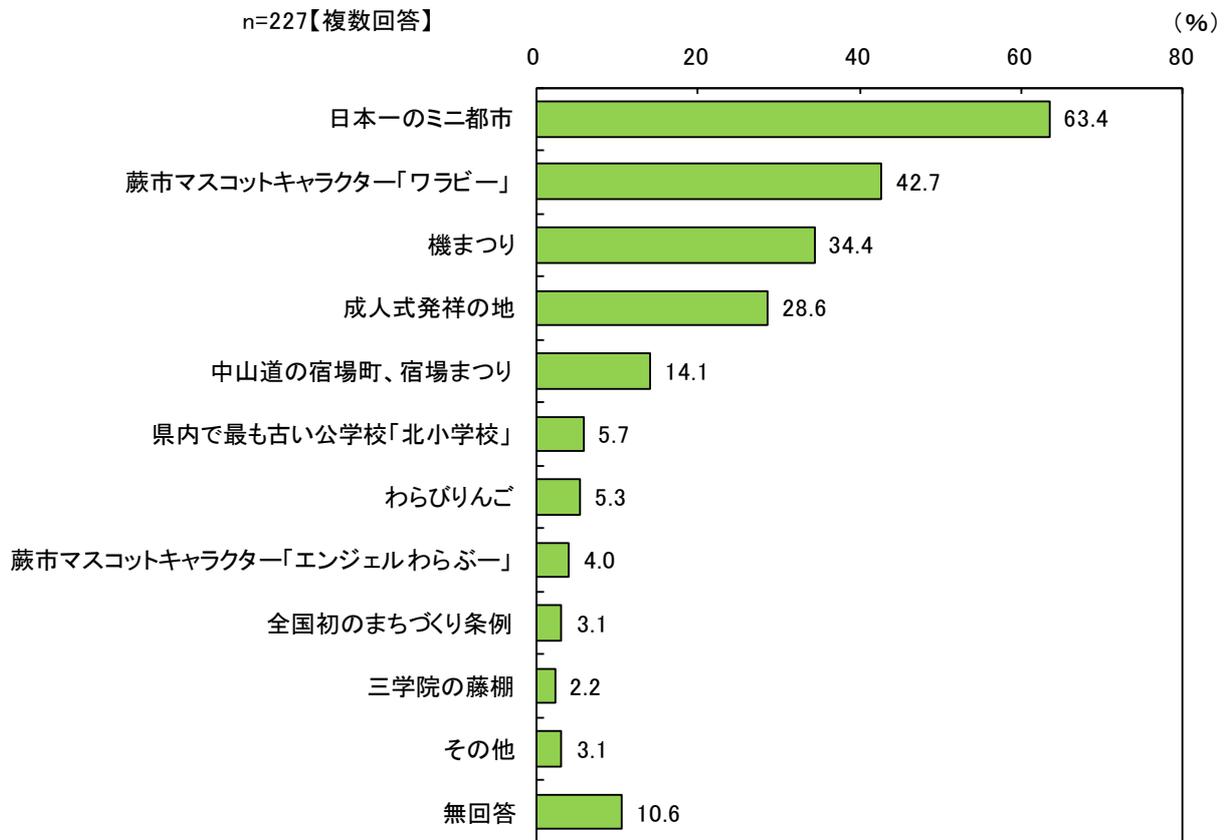
一方、蕨市の悪いところ（嫌いな点）としては、「交通の便」が 31.3%で最も多く、次いで、「清潔さ・きれいさ」が 24.2%、「お店（買い物、食事など）」が 16.7%となっています。このほか、「面積（広さ）」（13.2%）、「防犯・防災」（13.2%）が続いています。

良いところと悪いところを比較すると、「お店（買い物、食事など）」は“良いところ”が“悪いところ”を 8.4 ポイント上回っているものの評価が分かれています。一方、「公園・緑」「祭り・イベント」は“良いところ”が相対的に多くなっています。一方、「交通の便」「清潔さ・きれいさ」「防犯・防災」は“悪いところ”が“良いところ”を 10 ポイント以上上回っており、評価が低くなっています。

<良いところ・悪いところの比較>



問3 蕨市の特徴として、次のものが挙げられますが、この中であなたが知っているものはどれですか。（〇印はいくつでも）



【注】

- ・日本一のミニ都市（広さ 5.1 平方キロメートル）
- ・全国初のまちづくり条例（コミュニティの盛んなまちを築くため、昭和 63 年に制定）
- ・県内で最も古い公学校「北小学校」（明治 3 年創立。人づくりへの熱心さが現れている）
- ・成人式発祥の地（昭和 21 年に全国初の「成年式」を実施）
- ・わらびりんご（市内農家が開発した日本一早く実がなるりんご）
- ・中山道の宿場町、宿場まつり（江戸から数えて 2 番目の宿場町として栄えた歴史）
- ・機まつり（江戸時代末期から明治時代にかけて機織物のまちとして栄えた歴史）
- ・三学院の藤棚（樹齢 100 年以上と推定される市内唯一の天然記念物）
- ・蕨市マスコットキャラクター「ワラビー」（平成元年に市制施行 30 周年で公募により誕生）
- ・蕨市マスコットキャラクター「エンジェルわらぶー」（平成 22 年に誕生。蕨市出身の THE ALFEE（ジ アルフィー）高見沢俊彦さんが、故郷蕨の市制 50 周年をお祝いして作成）

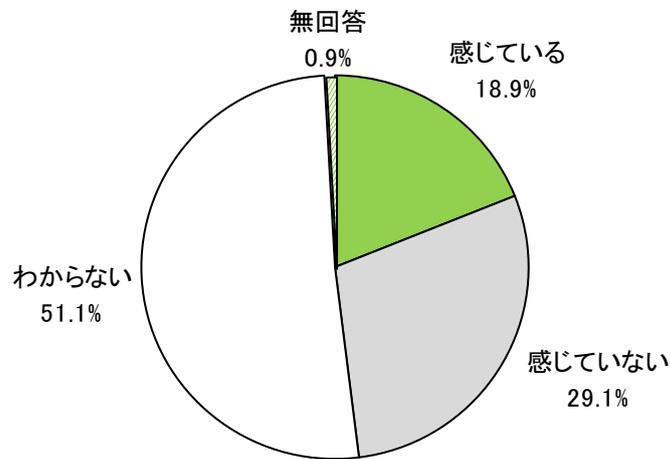
蕨市の特徴の中で知っているものとしては、「日本一のミニ都市」が 63.4%で最も多く、次いで、「蕨市マスコットキャラクター『ワラビー』」（42.7%）、「機まつり」（34.4%）、「成人式発祥の地」（28.6%）となっています。

蕨市が日本一小さなまちであることが半数以上に周知されており、さらに、「ワラビー」やイベントについても 30～40%に周知されています。

3. あなたにとっての蕨とは？

問4 あなたは、蕨市に「自分たちのまち」としての愛着を感じていますか。（○印は1つ）

n=227



蕨市への愛着については、「感じている」が 18.9%、「感じていない」が 29.1%となっています。また、「わからない」が 51.1%と半数近くを占めています。

回答者のうち市内居住者は 4.8%のみであることから、市外から通学する高校生の中にも、蕨市に愛着を感じている高校生が 10%以上いることが読み取れます。

4. 自由意見（蕨の未来にひとこと）

問5 蕨市の未来のまちづくりについて、ご意見やご提案をご自由にお書きください。

高校生意識調査の回答者 227 人のうち、66 人（29.1%）から、延べ 79 件の意見をいただきました。

